

平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通
福岡司教館
兼編集人 深堀敏
電話 092-522-5139
振替口座 福岡42981
定価 一部 20円

共同訳聖書作成
資金募集
一、募金額 五百万円
一、募金方法 一口五百円
一、送り先 本誌編集部
寄付者 一万円(深堀 純)
五円(松村 義雄)



新年にあたって

福岡司教
ベトロ 平田 三郎

福岡教区の司祭・修道者・信徒のみなさんに神の御子の降誕と新年のおよろこびを申しあげます。

三年半まえに始まった一九七五聖年は、クリスマス聖夜にローマでそうごんに閉幕いたしました。聖年が発表された当初は、その意味がよくつかめなくて教皇さまの呼びかけは冷やかに受けとめられた感じがりました。しかし教会全体の反応は変化はめざましく、私たちの教区でも聖年への関心は急速にたかまってまいりました。聖年が祝われていたこの二年数カ月のあいだ、福岡、北九州、熊本、佐賀の四地区でそれぞれ聖年大会のミサと集会が持たれましたが、今になってそれを振り返ってみますと、これらの大会を機会に信者のみなさんの霊的向上がはつきり表われたことに気づくのです。ミサや祈り、黙想や聖書への愛、こういつた信仰生活を支える基盤がすつきりと根を下ろしはじめたと感じるのであります。それは聖年のお恵みであり、祝福でありました。聖年は外的な盛儀に終らず信仰復興の時となりました。私はこのことを深く神に感謝いたしたいと存じます。

聖年が幕を閉じたばかりの今、福岡教区はまた新しい記念の年を迎えようとしています。それは教区創立五十年の年です。この教区が誕生したのは一九二七年(昭和二年)で、明年一九七七年で五十年になります。この記念すべき年を真に意義あるものとするため本年からみなで心の準備を始めていくよう希望いたします。過ぎ去った年月を見直すのもよいことですが、これから先きどのように神のお望みになつた教区造りをすべきか、みんな、一緒に立案し道筋を探していきたいと思います。みなさんのいっそうの協力をお願いいたします。

一九七六年元旦

新年おめでとうございます

福岡教区聖職者一同

平田三郎司教
深堀仙右衛門司教
福岡地区

司教館 川口 康頼、ガイヤール
大分町教会 青木 保
浄水通 山田 成章
西新 平田 勇
茶山 伊東 誠二
東田島 マホーニ
高宮 ハトリック
美野島 ルカ
大楠 伊藤 隆
吉塚 シュルツ
箱崎 平田 寛
老司 ベリボー
光ヶ丘 デイキン
古賀 乾 盛夫
二日市 山崎 均
小郡 浦口 正喜
今村 永永 一
本郷 永永 武男
久留米 牧山 重光
吉野 三村 邦明
大牟田 堤 敏雄
馬渡島 堤 敏雄
太神学院 山内 清美
山内 清海

ラベル、ツルデル、イエール
野原 清、高木善行
小神学校 畠山 七郎
泰星高校 山頭原太郎
聖パウロ修道院 松本 忠信
黙想の家 赤波江謙一
共同訳聖書 パウロ
北九州地区 内山 恵介
日置孝三郎
門司港 ベルトラン
門司 小倉 巴斯チ
湯川 浦俊雄、ベリヨン、西田邦洋
戸畑 平田 敬
若松 デンヤン
天神町 ボーネ
八王寺 モーゼ
ドルエ、ボンヌカス
黒崎 徳山 登
水巻 キニユー
直方 ベルトラン
飯塚 鵜野 泰年
田川 バスカレル
新田原 牧山 藤房
行橋 山川 辰幸
新田原 岩永 義人
天使の聖母修院 ラクレア
新田原病院 ボア

佐賀地区
唐津 サルビ
呼子 サルディ
武雄 マクリン
伊万里 ベンツオ
多々 アレグニ
佐賀 ルッチ
佐賀 ガサルディ
鳥栖 デイベッロ
鳥栖 ビアッチニ
聖母騎士修院 オシヨルニ
トラピスチヌ修院 ガブリエル
熊本地区
荒尾 ドイル
玉名 グリーン
手取 コーフィールド
グリフィン、コリー、オア
ライエン、オッキヤロル、
P・コア
健軍 ノーリス
帯山 フラハチ
島崎 深堀 敏
菊池 オサリバン
八代 リンチ
八代 オマホニ
人吉 カロル
水俣 ホーガン
本渡 マッコネル
大江 ケルソ
崎津 マックナリ
マリスト高校 S・コア
マッククラ
キルケニー、中川フアンシス、
泉 類治
少年の町 ペラス
聖母修院 デイバイン
在ローマ パチフィコ
中浜 一男



安藤建設

九州支店

福岡市中央区大名1丁目8番10号
TEL 741-8031

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有) シオタ事務機・(株) 日本幼児社

福岡市南区大楠2丁目23-15(西田ビル2F)

TEL 521-5327

TEL 522-0988

カトリック共助組合とは

信者同志の助け合い

私たちに三万円、五万円、あるいは十万円といったお金は、ごく身近な金額ですが、時としてその程度のお金が大変自由になることがあります。そしてその程度のお金ですと、却って都合にくいものです。そのようなとき共助組合を考えてみて下さい。

教会という共同体の理想は、みな信仰の面ばかりでなく衣食住の面にいたるまで助け合う家族のよつものなものであるとす。キリストの精神をより理解して、使徒時代の信者の集りと同じように、みな兄弟の心で一致し、お互いの幸いのために協力してきたいのです。

私たちは現在社会・家庭生活を営んでいる以上、お金は必要です。そのお金が不如意(ふによう)なため、家庭内で夫婦げんかにまで発展する場合もあります。また急病人が出たとか、子どもが入院して予定以上の出費がかかったり、給料日までに生活費が足りなくて頭の痛いこともあります。このようなお金は銀行や会社から借りにくいものです。またそんな制度を誰でも利用できるわけがありません。結局は親戚や友人に頼むとか、最悪のときには金融業者や質屋で高い利息を覚悟して都合する破目になります。こんなとき

きに「共助組合」が役に立つのです。

共助組合があれば、緊急のときにいつでも、わずかな手数料、かんたんな手続きでお金を借りることができます。「共助組合」とは小教区の信者たちが出資を出し合って、それを資本にして必要にせまれている組合員にお金を貸すことによって、お互いに助け合うことをめざしている金融互助の協同組合です。

むかしから教会とは「信仰と永遠の運命にかかわることについて指導を与えるところ」であること、せまき考えられていたが、今では人間のなまの生活の全般にわたって助け合う生活の全般的共同性とみなされるようになりまし。主イエスが子どもの持つていた五つのパンと二匹の魚を分けて五千人の群衆をいやされた奇跡は有名ですが、あの子どもが自分の食べものをみな分け合おうとしなかつたらどうなっていたでしょう。私たちが信者として今日大切なのは自分の霊的力だけでなく、生活に必要なものを出し合っていることではないでしょうか。これは何よりも具体的な信者の証しとなります。

共助組合の仕組み

今から百数十年前、ドイツは極度の赤貧に見舞われ、国民は塗炭の苦しみを味わっていました。ある田舎町の町長であった人が、これに救済手段を試みたのですが、結局金持ちの慈善にすぎないことをし、貧しい者同志が力を出して助け合うことこそ、真の解決であることに気づきました。この経験をもとに、利益のためでも慈善のためでもなく、相互扶助をめざした共助組合がつくられました。

ための協力の投資であることを、よく理解していなければならぬと思います。

共助組合は、組合員の人格を保証して貸付け、日常の経済問題を解決しようとする。組合員は出資金に關係なく、貸付の最高限度額まで借りることもできます。手数料は、未返済額に対して月一分以下で、家計に無理のないように分割払いで返済されます。共助組合が信利のためでなく、組合員へのサービスを目的としていることが、貸付の方法によく表われています。

共助組合は教会の中に銀行をひらくことではありません。また貸付の便宜のために設けられる制度でもなく、組合員の自主的な協力によって発展し、運営される運動的性格をもつ愛の組織です。その主体は司祭もなければ教会役員でもなく、組合員自身です。

疑問に答える

このような金融上の組織を教会内部に持ち込むことについて、いろいろ不安を感じる人がいるでしょう。そのいくつかについて考えてみます。

①まず第一に、返済がむづかしい原因にならないか、また返済ができなくなったら、その負債はどうなるか、返済中に病気とか事故で死んだらその負債は家族が払うのか。

このようなことについては誰もががいはん心配するわけで、すでに組合をつくったところでも、この点に不安を感じて結成まで時間がかかった例がありますが、でも出来てしまつたら、それが単なる取越し苦勞にすぎないことがわがりました。共助組合の主旨と精神がわかつてもらえば、返済に対する責任感と相互扶助の精神が高まり、集け付きは防げるのです。

②教会内に金融に明るい人がいないので、運営がうまくできないという心配もありません。もちろん金融の専門家がいれば便利ですが、しかし共助組合の原則をきめた定款で、運営方法を規定した規約に忠実であれば、安全に運営できます。

③共助組合があれば、小教区の中にさらに新しい会が加わり、他の会との間に何かあつたときは起らないだろうと心配する人もいます。共助組合は特定の人のためのものでなく、教会の信者全員のサービスをめざします。信者は個人としてばかりでなく、〇〇会として一票の権利をもつて加入してきますから、その会自体の活動も共助組合の貸付を役立てて活発になってゆく例もあります。小教区内の既設の会や団体とまぎれを起すおそれはありません。

④また共助組合の役員になる人があつたらうかとの懸念ですが、組合の設立にあつた規約の研究や主旨の徹底、みんながやうとする気運をより上げる人が二、三人いれば十分です。そのような人が教会の役員とかさなつても負担にはなりません。設立後は組合員みな責任をもつてやるべきものです。

組合員の協力があれば、仕事は分担され、軽減します。日曜日のミサのあと二時間ぐらい事務所を開くか、また月一、二回にするかはおのずからきまることです。

⑤最後に疑問になるのは、共助組合が自分のところほんとうに必要かどうかということです。職場を通して貸付をうけられる便宜が十分にあつて、共助組合の利用者があつたくないと判断されるならば、大いに疑問です。しかし、日曜のミサにあつてはたまたま信者の姿を見ただけでは、この人たちがどれだけ日常の経済問題に頭を悩ませているかを想像するのは、むづかしいのではないのでしょうか。じつさい組合をつくってみると、これを利用する組合員は年々増加し、貸付は出資総額でも常に出資者数の三割から四割の人が貸付をつけていることが統計上あきらかになっていきます。

〇〇〇

私たちは、教会内での経済的互助活動を真剣に考えていきたいのです。この世の旅路で、靈的にも物質的にも助け合い協力し合つて歩きながら、キリスト共同体としての愛の実践に励んでいきます。これもまた今日の教会がめざしている使徒的活動のひとつであること確信しています。

(野田義之 熊本共助組合理事長)

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306
52-8622

富士タクシー株式会社

熊本市島崎町慈恵病院前

電話 53-4833
55-3622

石のパイオニア

高木石材株式会社

営業種目 {外国産石材輸入加工販売
大理石・御影石・各種石材

〒860熊本市段山本町2-21 TEL 52-2417
工場熊本市花園町41 TEL 56-0170
(夜間) 64-6781

土呂久公害の現地へ

被害者宅でもミサ

北九州カトリック社
トリック社
会館
の一行
（徳山神父
以下六人）
は去る11月
23、24日の
連休を利用
して、土呂
久の重
金属汚染に
苦しむ宮崎
県山奥の
地、土呂久
を訪問し
た。左はそ
のときのル
ボである。

接待をしてもらえる。つるぎさん
宅では徳山神父がこの土呂久の地
で初めてのミサを、鉱毒で亡くな
れた方々および被害者のために
ささげた。また幼少から土呂久に
る数十の病氣と戦ってきた佐藤あ
やさん（未認定）を、高千穂町立
病院に見舞った。右手代りの粗末
な木の杖を持ったあやさんは、鉱
毒の恐ろしさ、悲惨さを一身に背
負っている感じであった。

土呂久松尾鉱山の被害者に対す
る最大の支援者はカトリック教会
である。カリタス・ジャパンも精
神・経済的な援助活動を始め
た。終りなき戦いになるかも知れ
ないが、最後までかれに隣人と
して接し、愛の証しをつづけるこ
とを自分に約束しながら山を降り
た。

司祭叙階銀祝

福岡教区で働く三人の司祭が
叙階25周年をむかえる。門司教会
のラバルト神父、今村教会の永永
武男神父、大名町教会の青木保神
父、1月8日には教区全司祭に



かまされて感謝の共同ミサをささ
げる。

ラバルト神父、一九二六年フラ
ンスのバスビルネ県の生まれ、50

被害者のひとり佐藤あやさん
は、この片眼を失明、残る方も
視力〇・〇三という不自由な体を
ひきずって、土呂久を訪ねる支援
者、検診の医者、弁護士たちへの

永永武男神父、一九一九年生ま
れ、50年12月27日大名町教会で脇
田司教から青木神父と叙階、二日
市主任のあや村教会の助任とし
て、兵役時代からのひどい苦痛に
たえながら司牧にあつてゐる。



れ、50年12月27日司祭叙階後、福
岡小神学校付、56年二日市主任、
58年久留米主任、64年小倉主任、
ことし4月から大名町主任。

唐津・福岡で市民
クリスマス
唐津市のカトリックとプロテス
タント合同の「ミサとクリスマス

の集い」は、12月21日午後2時か
ら、市の文化会館に千六百人以上
の参加でにぎやかにおこなわれ
た。フランスバンド演奏に歌や遊
戯、サルデー神父が扮するサンタ
クロース登場で雰囲気はますます
盛り上がり、全真心のこもったプ
レゼントをもらい、大まきびで
あった。

福岡市の合同市民クリスマスは
12月12日午後6時半から西区藤崎
の勤労青少年文化ホールでひらか
れ、聖書朗読やメッセジ、映画
「プラザ・サン、シスタームン」
を鑑賞した。

案内と集会所
佐賀県久保教会（主任アレク
二神父）に、信徒集会所をかねて
カトリック案内所（約八十一平方
米）が完成した。大通りに面して
商店がありビニールタイル床と八
畳の部屋があるが、三週間足らず
で二百五十人以上の図書利用者が
あった。地域の集会所開放されて
いる。

1日 大名町教会で平和のため
のミサ
8日 教区全司祭新年集會
18日 人吉修道院創立70周年記
念ミサ
25日 松島巡回教会で聖信
◎信徒協
25日 熊本地区信徒協理事會
役員改選（八代で）
◎結婚講座
1月20日から2月6日まで毎週
火、金曜日午後7時、熊本市手取
教会で
福岡市での結婚講座は2月12日
から28日まで毎週木、土曜日、大
名町教会で

地の塩

未信者接触のベテラン

大名町教会の 吉田香代子さん



「信仰の問題は、生きているこ
との苦しみをとおして解決してゆ
かねばならない、そういう意味で
逆境に立てばその逆境が大切と思
うようになった。」

福岡市大名町教会、レジオ・マ
リエの副会長。この人が長崎の純
心短大を卒業して、大名町教会で
受洗したのは一九五九年の三月二
十四日。その翌年レジオに入会、
一年後には会長の椅子に坐り、一
九七〇年辞任するまで続いた。

「熱心な仏教信者の家庭で育つ
たため、はじめはなかなか神の
存在を信することができませんでした。」

そういつ吉田さんをカトリック

へ導いたのは、同級生の山頭信子
さん（現在、長崎純心短期大鹿兒
島修道院シスター）と、浦と教会
主任司祭の中島万利神父だった。

「友人としていけば影響を受
けたのは山頭さんで、中島神父様
に紹介してくれたのも山頭さんで
したが、山頭神父様には大分反発し
ましたが、もつれた糸を解くよう
に導いて頂きました。」

つまり、神父の大きな愛に負け
たのだという。

「一人ばつんとしている人を見
ると、何となく話しかけてみます
が、そんな人は大抵不信者です。」
「コソコソと仕事をするタイプ、
レジオの中ではむしろ地味な存在

であるが、未信者との接触にかけ
てはベテランといわれる。この人
との接触から、洗礼にまで導かれ
た人は、既に数十人に及んでいる
はずである。

「今日のレジオにはもう少し外に
向う姿勢がほしい。個人が環境の
中で布教することも大切ですが、
レジオ自体の活動も大切です。実
際にはむずかしいことですが、共
に働き、強引引っぱつてくれる人
が必要だと思います。」

「こいつのことか言える人だ。
昭和一〇年生まれ。建設会社で
経理事務を担当している。」

× × ×

信託併営

大和銀行

福岡支店

福岡市博多区店屋町6番18号
電話 代表 092 (291) 3231番



Francisco Katayama

TEL 781 - 2729

妙法高麗人参茶・クイーンはこ茶

福岡県小学校北部生活協同組合指定店

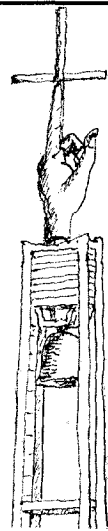
代表者 ペトロ小長光証(株)商店

北九州市八幡西区下上津役団地20-12
TEL 093・612・8671

全国総発売元 河野裕治商店

教

養



教会建設の道は遠かった

切江敏夫

新田原教会建設の道のりは長く峻しかった。昭和54年の書、聖堂建設が話題となったが、信徒にとつては空想論にも思えた。しかし教会建設研究委員会が発足し、聖堂建設の是非をめぐる論議が白熱しました。討論に明け暮れた委員も九カ月の日数を要して、その議論の中から何と生れてこないことをよく知りまた、折ることを忘れていた兄弟は心静かに反省の機会を与えられた。主任司祭を囲み心を合わせ祈りが始まった。委員会の空気は一変した。私心を捨てて無私に投票が行われた。絶対多数で示された道は茨と十字架の道であった。この時兄弟は十字架を担うことを決意したのです。

昭和46年の書には教会建設推進委員会誕生。研究委員会のメンバーは申し合わせたように再任され、新任を含めて54人の構成人員となつた。この大幅な人員は信徒の意見を十分反映させたためのものでは

あわれ人間の決意の空しさ、時間と共に建設意欲はつれ、積立金は次第に低下の線を示した。しかし神は私たちの歩みを見守つて下さった。

48年石油ショック、国内の経済状態は俄かに異状を呈しはじめた。積立は建設費の上昇から見ても無に等しく、建設の道は完全にとぎれたかに思えた。委員会はこの時教会建設を早期に実施することを決議したのである。役員はこの決定を兄弟に訴え、了解を得ることに奔走した。兄弟は賢明で、この大きな十字架をひきよせて担うことを約束したのである。それだけタレントに忠じた十字架架した。誰も自分以外の十字架に干渉しない、自らできる最大の

ものに担われたのです。生活費をきりつめ、その責任額を果すことに決意を新たにしたのです。資金は計画にそつて確実に積み上げられた。しかも大幅な歩みである。物価の上昇は停滞したが、それは不景気の使者でし。

私たちの教会は私たちの手で、お互いに励まし合った兄弟にも疲

共同体一致の破壊を求めて、たけり狂った。誰がその役を演じているか己れ自身にはわからない。すべての兄弟の中にひそむ悪魔を放つために、しばしばサがさきげられた。また一致求めて祭壇をかこみ特別さききげられた。一致のないとて建設はありえないからです。

友よ兄弟よ、いま新田原小教区は勝利の日を迎えた。この喜びはあなたが担った十字架であり、苦しい時に友が支えてくれた愛であり、沈黙の中に陰にかくれて黙々と歩いた兄弟の忍耐である。今私たちはキリスト者の使命を果たすことの喜びを知った。その喜びは永遠に去ることがないであらう。

(新田原建設推進委員長)

全部が泣きあがると、すっかり霜もどけてしまつて、その日もまたたかな一日を迎えるのである。山茶花の雄蕊は鮮やかに広がる特徴があり美しく見えた。鳥肌になるような朝寒も、霜が消えるまでである。

八十島氏の解説は山茶花に対する観察が周知、文章も山茶花に即してきいてある。

私は山茶花も、花の咲くころの季候も好きである。明かな澄んだ空と、身の引きしめるような寒さの中で山茶花は、花の回りだけに明るく陽しさを漂わせよう。身体をちぢめて通りの裏道を歩いて、この引きしめる思いをすることがあった。それほど高い庭木でもないのに、上の方から順々の花を見つけるとなつかしい人にもあつたように嬉しい。そして

山茶花記

俣野 まもる

吉川病院

院長 吉川 東陽

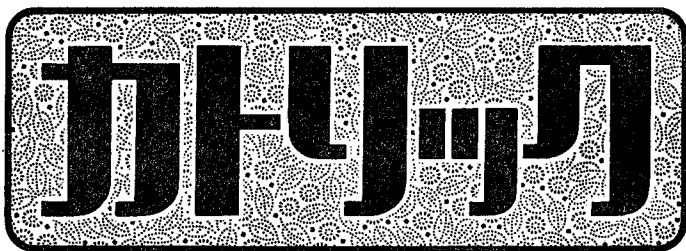
福岡市中央区平尾四角 TEL 521-0568

聖パウロ書院

福岡市中央区大名2-7-3

TEL 741-4588

〈水曜定休〉



平田司教認可
 発行所 福岡市中央区浄水通
 福岡司教館
 兼人 深堀 敏
 編集 電話092-522-5139
 振替口座 福岡42981
 定価 一部 20円

共同訳聖書作成
 資金募集
 一、募金額 五百万円
 一、募金方法 一口五百円
 一、送り先 本誌編集部
 寄付者 一万円(深堀 純)
 五百円(松村 義雄)
 一万円 匿 名

福岡市老司に新聖堂誕生

学校・新住宅地への宣教めざす

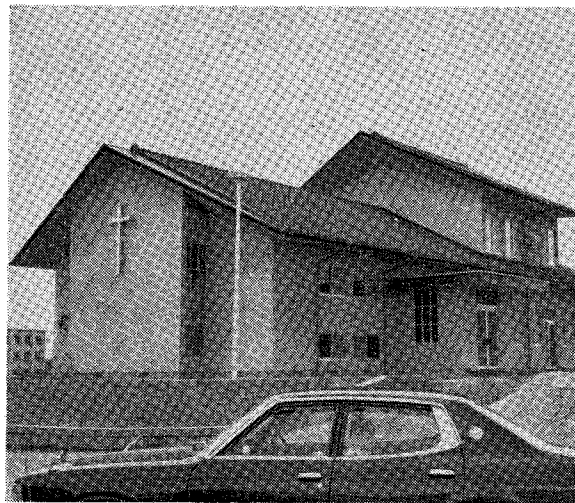
福岡市の南東部、東油山のふもと、南区内にこのほど完成した新聖堂の祝別式は、2月22日午後2時、平田司教司式でおこなわれ、約30人の司祭、信者多数が参列、聖マリアに奉献された。

聖堂は司祭館(2階建)と横つづきで総面積三百平方メートル(97坪)泰星高校旧校舎の材木を活用して美しく仕上げられた。二千平方メートルの敷地はマリアの宣教者ラ

ンシスコ会の経営する海星女子学院の運動場に面し、周囲はこ数年まから住宅地として急速にひらけたところ。

これまで高宮教会に所属した付近の信者約70人はこの新教会に移るが、小教区としての正式設立はまだ。コロンバン外国宣教会のデイクン神父(もと本渡主任)が定めて司教にあらる。

(写真は老司教会)



熊本信徒協理理事会

熊本地区信徒協会は、1月25日八代教会で今年初の理事会をひらき、役員改選、年内活動案を決定した。

会長 高木慶治、副会長 中野尚夫、林篤、萩原保徳、書記 源島栄一、小南康博、会計 池尻英次、監事 高木義郎、財務 高木信治。

今夏8月に少年少女錬成会をひらくほか、要理教師の研修につとめることを決定。

人吉修道院70周年

1月18日人吉市のマリアの宣教者フランシスコ修道院は創立70周年をむかえ、平田司教司式の感謝ミサがさげられた。

同修院は二八九六(明治29)年

街頭募金結果報告

昨年12月福岡・北九州・熊本各地区でおこなった街頭募金の結果および配分先は下記の通り。

福岡 1,724,413円 (小数区をとおして配分351,740円、15施設に1,335,433円、諸経費 37,240円)

北九州 767,673円 (日本カトリック社会福祉協議会および聖小崎育児園など7施設、また交通遺児の会、土呂久公害より守る会に全額を配分)

熊本 900,415円 (諸経費 60,199円を除き 840,216円をアジア救済協会へ)

大牟田教会を表彰

大牟田教会(主任黒川神父)は、過去5年間、教会内外の人たちの理解と協力をえて年末の街頭募金運動に優秀な成績をあげたので、1月25日付で平田司教から表彰状がおくられた。

に始まった人吉教会の宣教を助けるため、フレンゲ神父の招きに応じて明治30年に創立されたもので、最初貧困者の診療、一般婦人の裁縫教室をひらいて地域社会に奉仕した。現在は幼稚園と老人ホームを運営している。院長はシスター橋本郁子。

神学講座終了者

福岡教区神学講座の終了者はつぎのとおり。

第2回 山田絹子(久留米大天使園 第1回 澤場良子、長ハツノ)

初誓願式

師イエズス修道会の福岡修道院で平田司教司式により2月10日3人の初誓願式があった。

赤波江末子(平戸・上神崎)中川美子(宮部・伏見) 谷山晴美(大阪・布施)。

邦人司教養成献金 (1975年)

町通丘新島	43,950	市米田野村	11,000
大浄水	20,496	二久大吉	20,600
光西美野	9,100	郷郡里津	13,100
高宮茶箱大	12,700	本小伊万	1,720
宮塚山崎楠	10,000	唐佐	47,300
島寺町崎倉	25,000	島雄久栖子	8,031
東八天神小	25,000	鹿武多島呼	5,143
門門司港松川	5,877	馬渡	5,000
飯水直田新	4,690	荒人本健	6,000
飯水直田新	5,865	池俣山江津	11,106
飯水直田新	9,100	島尾吉渡軍	1,800
飯水直田新	17,200	島雄久栖子	2,000
飯水直田新	8,000	馬渡	3,005
飯水直田新	18,000	島雄久栖子	2,765
飯水直田新	50,677	馬渡	5,300
飯水直田新	24,700	島尾吉渡軍	5,000
飯水直田新	6,000	島尾吉渡軍	5,000
飯水直田新	27,608	島尾吉渡軍	4,500
飯水直田新	10,900	島尾吉渡軍	8,720
飯水直田新	29,915	島尾吉渡軍	10,000
飯水直田新	9,000	池俣山江津	12,000
飯水直田新	12,845	池俣山江津	4,500
飯水直田新	4,500	池俣山江津	20,000
飯水直田新	3,625	池俣山江津	11,000
飯水直田新	21,000	池俣山江津	55,000
飯水直田新	6,132	崎名取代	28,883
飯水直田新	エズス	崎名取代	9,500
飯水直田新	修道院	崎名取代	30,000
飯水直田新	イ修賀	崎名取代	11,207
飯水直田新	熊古	崎名取代	
合計	797,111円		



安藤建設

九州支店

福岡市中央区大名1丁目8番10号
 TEL 741-8031

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有) シオタ事務機・(株) 日本幼児社

福岡市南区大楠2丁目23-15(西田ビル2F)
 TEL 521-5327 TEL 522-0988

信者おたがいの助け合い

共助組合に見るその実例

文部大臣が教育モットーとして「助け合い」ということを打出す今日、この言葉であるが、私たちカトリック信者の信仰生活の目標、それは真に「助け合い」の意味である。まず父である神が先きに私たちをあらゆる面から助けてくださるという事実、そしてそれをもつて私たち兄弟として愛し合い助け合わねばならないという掟の中に示されている。これは私たちの目上に高く掲げられた理想であるばかりでなく、ひじょうに具体的に実践されるはずのものである。その実例を初代教会の信徒の姿の中に見出すことができる。また使徒パウロはその掟をキリストの神秘体のふかい神学にもとづいてくわしく説明する一方（コリントへの手紙12章）、当時窮乏していたエルサレムの信徒への物質的援助のため、諸教会からの惜しみなき協力をくり返し呼びかけている（16章）。こういう助け合いが私たちの教会、このように行われているか、今月は共助組合の活動の中に見ていきた。

気軽に幅ひろく

山口 忠次

福岡市光ヶ丘教会に共助組合が設立されて2年ほどになります。既設のピンセンソ会、レソ会など活動団体にあたり相互扶助を目的とする団体が加わったわけ、これからは活発な信徒的活動を自覚しています。

設立当時の規模は、組合員60人、出資金27万円、貸付年度額は3万円、貸付手数料月1パーセント（貸付未返済額に對して）。事務所は毎日曜日、9時半のミサ後約1時間ほど開き、男性1人、女性2人の理事が当たります。

現在の運用率、貸付残高/貸本費の目的で貸付をつけ、期限内に

見事に返済しました。

光ヶ丘教会の信徒会、ピンセンソ会も団体名で一組合員として加入し、団体の運営・活動資金に活用しています。

自動車購入や旅行などでお金が必要なきは、一般にはローン制度にたよるのですが、共助組合を利用する人も少なくありません。

貸付限度が昨年5万円になって以来、組合員の利用に大きく貢献しました。

昨年の貸出し件数は30件、総額は百四十二万円、12月末貸付中の金額は92万円です。

貸出しの目的の内訳は、教育9件、医薬費6件、旅行、車検、レジャ等6件、家計（家具、衣類）7件、その他2件で、またスーパー、商店街の大売出しが給料日まのの場合の借用、ボーナスの出席費用の確保など、目的は多種多様です。

貸出し窓口の事務には女性があたつてソフトな心づかいを心がけているが、組合員のみならずも入れ替わり気軽に立ち寄り、眺めたりで少しも遠慮とか暗さは感じられません。

貸出しの運用率が80パーセント以上になることはたびたび、資本金が不足することめすつてあります。そんなときは広報

委員は組合の現況報告の際に増資をよびかけ、協力をねがっています。一口五百円ですから増資もさほど負担になりません。

〇〇〇〇

ほとんどの小教区にもレソ会や強力なアクション団体があつて、おもに精神的活動をおして宣教や霊的向上をめざしていますが、カトリック共助組合は、信徒同志の経済的な助け合いという、ひじょうに具体的な愛の実行をとおして、教会の一致と信仰のあかしをつとめてまいります。それはまたみなが天国に宝をつむぐことにもなる信じています。

（光ヶ丘教会共助組合理事長）

家事資金のゆきづまりに

野田 義之

互助の協同組合である共助組合が、じつじつのよう組合員の生活援助と小教区の共同体づくりに役立つてゐるか、一例を紹介しよう。

Aさんは専業主婦、高2年の男子をかしらに、子ども6人の8人家族です。戸建の借家住まいですが収入は一定でなく、時節によって変動があります。47年、そこから家業資金と教育費の不足を生じることになり、親しい信者さんに相談したところ、つたのですが、何となく気が進まず、とうとう知人や親戚の者に頭

を下げ、無理をおして必要なお金をよつと借りることができました。しかしその人たちに顔を合わせたに返済をせまられ、まったくイヤな思いをしました。

ちょうどそんな時自分の教会に共助組合結成の話がきました。Aさんは早速夫婦して一口ずつ出資して組合員となりました。48年春、ふたたび家業資金が行きつまり、10万円どうしても必要になりました。そこで共助組合から借りられなかつたかと考えたが、何しろ加入して三ヶ月たらずで、出資金だつて夫婦で2千円とい

のでは、とてもそんな多額の金は無理だろうと半ばあきらめていたが、相談だけはしてみようとして役員に話したところ、加入してからの期間や出資高に關係なく、組合員一人につき最高5万円まで借りられ、返済期間は20カ月以内、手数料（利息）は残額に對し一カ月一分であるとの説明を受けました。

予期しない好条件に喜んでAさんは、融資の申込みをしましたが、その時も保証人はいらず、信用証書を書いただけ、しかもフライバーは守つてくれるとのこと、気持ちの負担を感じることはいっさいありませんでした。その後返済に出かけることに他の組合員と生活の苦勞などを話して話し合ふようになり、今までは心にふれ合いを深めてゆき、これが共助組合の根本であることを悟りました。

こうして順調に返済もつづけられました。40年の春の入学時期

に子どもの発病で家庭の出費がかさなり、二ヶ月間返済が滞りました。役員が様子を見にまいりますと、Aさんは家業の商品を売り払つても返済したいと申しました。これに對し役員は「残額が二人で5万円ですから、今までの二カ月分の手数料と今後毎月5百円ずつ手数料を納めてください。家業に必要なものは決して手放さないように」と言い、そして病人がよくなり家業が向上きになるまで、残額の返済は延ばしてもよいとのことでした。

Aさんは「どこにこんな寛大なやさしい扱いをする金融機関があるのでしょうか。これこそ経済的にめくれない庶民への愛の行爲ではないでしょうか」と感激していただきました。そしてAさんは20ヶ月の期限を半年間延ばしてもらつて完納しました。

多くの家庭でそうであろうが、思いがけない出費に際しては、大苦勞することばかりです。そんな場合共助組合は大きな力になります。もちろん信者同志だから助け合いは当たり前だと考えるのは我がままでしょう、世間一般の金融機関より得るから大いに利用しようという考えでは、せつなく共助組合も存在できなくなりますが、共助組合は慈善のためではなく、個人の利益のためでもありません。貧しく苦しい人たちの相互の助け合いのためです。Aさんは、この隣人愛の場がどの小教区にも設立されるならば、どれほど多くの人が信徒助け合いの恩恵にあずかれることでしょうかと語つていま

す。（熊本共助組合理事長）

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306
52-8622

富士タクシー株式会社

熊本市島崎町慈恵病院前

電話 53-4833
55-3622

石のパイオニア 高木石材株式会社

営業種目 {外国産石材輸入加工販売
大理石・御影石・各種石材
〒860熊本市段山本町 2-21 TEL 52-2417
工場熊本市花園町 41 TEL 56-0170
(夜間) 64-6781

佐賀教会にパウロのモザイク

地もと芸術家の合作

佐賀教会の神父からイタリア語を習っている洋画家が、聖人のモザイク像を製作し、昨年末教会の正面外壁に貼りつけを完了し、明るく話題をまわっている。

話題の人は、小城中学校の美術担当平川経高さんで、造形作家舟井一朝さん。

モザイクは佐賀教会の守護の聖人である聖ペトロと聖パウロの二体で、タテメートル九〇センチ、ヨコ六〇センチ。カラータイルをはめ込んで仕上げた精巧なもので、デザインは同教会の助任アルベルト神父と平川教諭によって制作され、モザイクは舟井氏が担当した。聖ペトロ像は聖書と天国の鍵を持ち岩の上に立つた姿、聖パウロは聖書と剣を携え、海の上に立っている。

今村聖母園に

老人訓練室

養老施設今村聖母園（本社福祉法人カトリック福岡教区、理事長平田三郎司教、園長糸永一神父）では、盲目やその他の障害をかかえもつ老人の福祉を向上させるため、訓練室とその訓練にあたる職員、宿舎（昼間だけ）の増築が完成、3月4日11時から落成式をおこなった。この建築には県共同募金会の配慮で、日本自転車振興会から

つた姿で、いずれも象徴的に描かれている。

平川教諭はこのデザインを最も効果的に表現制作する作家を苦心して探し、新進造形作家として活躍に新天地を開いている舟井一朝氏に白羽の矢を立て、この計画を相談に行ったところ、報酬を度外視して制作を引き受けてくれた。それまで互に面識はなかったというが、教会を中心に三人が一体となり、三月月近、準備期間と、幾度も打ち合わせをかわされながら伊合作で、ようやく完成にこぎつけたもの。

佐賀教会は、市内繁華街に面しているため、見馴れた人々、見馴れていない人々、足をとめて見入っている。この作品に足をとめて見入っている。

多額の補助、またリハビリ設備の購入には中央競馬社会福祉財団と九州馬主協会から補助を受け、これらの助成に在園者はじめ職員・関係者一同感謝している。

北九州問題研究会
ことしの活動方針
(1) 土呂久・松尾敏弘・松尾敏之助の支援。昨年12月訴訟にみまきった土呂久の被害者には、「被害者を守る会」を通して、また松尾敏弘の被害者には、北九州安全センターと共に支援の輪をひろげる。

第10回福岡結婚講座は2月12日から28日まであった。参加者20人、両市とも来秋次回講座を企画している。

ライル神父は熊本県の水俣、八代、崎津の3教会で、教外者も否め、「夫婦の集い」を指導した。

催しと会合

3月のスケジュール

◎平田司教
7日 九州地区女子修道会総長および管区長会議に出席（福岡雙葉学園）

14日 唐津教会盛信
16日 福岡大伸学院で叙階式（助祭、教区宣教師、教会奉仕者）午前10時

20日 佐賀仙司司教祝聖式参列
28日 黒崎援助修道院で終生誓願式（午後1時）

◎黙想の家
9日 福岡地区外人宣教師集会
13日・14日 新田原教会青年と福岡地区青年の合同黙想会
17日・18日 西南学院大学教師の聖書研究

19日・20日 海星女子学院生徒の黙想会
20日・21日 カテキスタ黙想会
23日・31日 幼きイエス会修道女の黙想会
31日・2日 北九州地区中学生の黙想会
◎要理教師研究会
20日 熊本地区の子どもの要理教師のための、熊本手取教会、9時16時
◎高校生黙想会
21日・23日 大分・瀧辺師



地の塩

信仰とは喜びです

行橋教会 追立季治さん

『正式に要理を受けたのは昭和二十四年、安川電機に入社してからです。会社のカトリック研究会で鍛われたのがあったと思うんですが、とくに友原歩さんにはお世話になりました。楽しませながら引っぱって行くと、いまこの人の偉さを感じています。』

『昨年、熊本のCLC大会に参加しましたが、どうしても裸の目分をさしたことができません。』
『信託とは喜びです。』
『そして二十年間の苦しみ、信仰から、ようやく脱けだすことができました。』
『昭和四年生まれ。家庭には三子三女と五人の子女がいる。現在行橋教会の教会委員。』

『正式に要理を受けたのは昭和二十四年、安川電機に入社してからです。会社のカトリック研究会で鍛われたのがあったと思うんですが、とくに友原歩さんにはお世話になりました。楽しませながら引っぱって行くと、いまこの人の偉さを感じています。』

『信託とは喜びです。』
『そして二十年間の苦しみ、信仰から、ようやく脱けだすことができました。』
『昭和四年生まれ。家庭には三子三女と五人の子女がいる。現在行橋教会の教会委員。』

信託併営

大和銀行

福岡支店

福岡市博多区店屋町6番18号
電話 代表 092 (291) 3231番

片山無線

Francisco Katayama
TEL 781-2729

妙法高麗人参茶・クイーンはこ茶

福岡県小学校北部生活協同組合指定店

代表者 ペトロ小長光証(株)商店

北九州市八幡西区下上津役団地20-12
TEL 093・612・8671

全国総発売元 河野裕治商店

聖なるものを求めて

藤 木 禮 子

十字架の聖パウロ(受難修道士、創立者)の誕生三周年を記念して結成された聖年巡礼団に加わって、ローマに向け羽田を立つたのはクリスマス直前の12月23日であった。私たちの引率者はワオド神父様で、大阪の信徒協の方々とお流したので総勢21人のグループになった。

ローマに到着すると、四つの巡礼指定パトリカ、聖ペトロ、聖パウロ、洗者ヨハネ、聖マリヤに参詣した。それぞれに「聖なる扉」があつて聖年とに開かれるが、もちろん聖ペトロのそれがいちばん有名である。私たちも祈りをとなえながら、もつとも閉じられるはずのこの扉をおつて中に入った。各国からの巡礼の群れが行き交つそのあつたしきによそに、大きな柱のかけに頭をよせて静かにひざまずき祈つてゐる人、告解場のまぎれをうけてゐる信者たちの数けんな姿が見られた。

24日の真夜中、聖扉が閉じられたあと、これはまったく初めてのことであったが、聖ペトロ大聖堂の前の広場で教皇さま司式のミサがあり、私たち日本からの巡礼団は、祭壇からとても近いところに席を与えられたので、教皇さまのお姿をよく拝見することができた。これまたミサのたびごとに奉



献文で私たちの教父パウロ六世といふことを耳にしても、何か遠いところのこのように聞き流していたのが、今おそは近々ミサにあずかることで、キリストさまの代理者、そして全教会との一体感がじかに肌伝わつてゐるのをおぼえた。またミサの聖書朗読は朗読者の国のことばでなされ、共同祈願も同様であつたが、ラテン語の祈りをきき、合唱隊と群衆が交唱するグレゴリオ聖歌を久しぶりについたながら、もつな

が心にふみかき、今さらのようになカトリック教会の唯一性と歴史の長さを感じさせられた。カタコンブは静かだった。そのむかしにせまりくる殉教を準備とてあつた信者たちのことがうかがわれ、もし私が同じ状況にいまおかれたら、果たしてあの人たちのように信仰を生き抜くことができるのであつたと、考えますにはおれなかつた。でも信仰の試験といふ点から見れば、自由の空気を吸つてゐる現代の私たちにも、同じ殉教の心構へは必要ではないか、血を流すという要素をなけれ、自己おひ欲望との戦いは死をかけたの戦いに違ひない……。カタコンブから出るともう外は暗かつた。

この聖年のあいだ、どれほど多くの信者がローマを始め聖地の巡礼に出かけたのであつた。そして日本からの巡礼団の多くが観光旅行業者の世話をつけているから仕方ないことであるが、巡礼と観光のバランスをどうとに困難を感じたことである。祈りと心をめざしての巡礼と銘打つていても、いざ現地に着て祈りにあつての時間が短かく、ミサさえ急がされる有様。繰て殺人的なスケジュールに追いまくられるのは辛かつた。

柳川の昼鼠

野田 宇太郎

随筆
北原白秋が大昭和新聞の求めに応じて、ドルニエ・メルクル旅客機による福岡県太刀洗飛行場から大阪までの差機飛行をするために、九州柳川に滞留したのは昭和三年七月であつた。処女詩集『邪宗門を明治四十二年(一九〇九年)春に出版してからほぼ二十年ぶりのことである。そのときは熊本県主を都蘭の母の実家をはじめ、故郷沖ノ端(現在は柳川市)などを再度にわたつて経巡り、詩情も大いに動いたとみえ長歌十七、短歌二百五十三首をつくり、『郷土飛翔記』としてまとめた。七月二十日に再び沖ノ端に帰つて、幼友達などと共に柳川の城下まで小舟に揺られていったときの歌に次のような二首が含まれている。

冬から春へ

保野 衛

山蔽ひ降りくる雪は道の辺の太き巖の上にしき降る
山峯は吹雪となりつ泥濘に音底もりバス出てゆく
暖かなり冬逝かむとし庭隈に紅の山茶花散り溜りけり
山の背に横なびる夕雲の茜つる、時長きかな
山の背の薄れてゆく雲に向かへば今日の志なかりき

我つひに帰り来けり傘下や揺る水照の影はありつつ
しつかさは殿のお倉の昼鼠よりとのぼりまた消ぬかに
わたくは柳川にゆき、沖の端の白秋生家附近を訪れるたびに、いつも心をひかれるのは昔の柳川藩主立花家の白い海軍壁の傘下の水影である。柳川は沖の端に限りず白秋の抒情小曲集『思い出』によつて知られた水郷で、水路は市街から田園へ、昔のまに今も縦横に走つてゐる。戦後の観光流行で、水郷柳川が有名になればなるほど水は汚されてゆくばかりだが、この『殿のお倉』の下あたりの流れだけは、いつも澄み切つて美しい。
白壁の影が澄み切つた水に映り、水の反射が壁を這つてゐる。白秋はその歌に『昼鼠とは十格に水陽の影をいふ』と註をつけてゐる。昼鼠の影を追つてゐると、旅に疲れたわたしの心もいつしかなごみ、その安らぎの中に、詩白秋の童心にかへつた姿が浮び出てくるのである。
沖の端の水路は『殿のお倉』に『昼鼠を走らせると、その前の石橋を滑り、丁字形にまっすぐに廃市のような町中を走つて『思ひ出』の序文『わが生ひ立ち』に書かれたなつかしい水天宮の下を通る。かつては油屋とか古問屋とも呼ばれて沖ノ端に旧家を誇つた北原酒造所、白秋生家跡はすぐその近くである。』(『文学の故郷』)

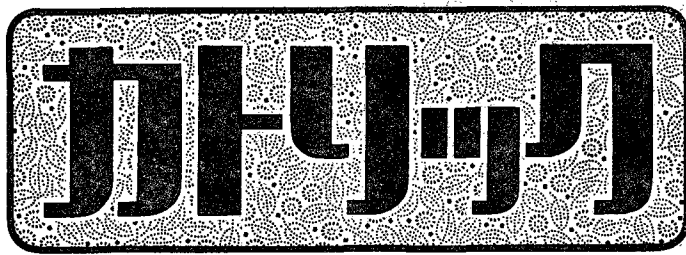
吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四角 TEL 521-0568

ハウス・キーパー至急求む

年令 30歳~50歳位の女子の方各種保険制度及退職金制度あり
ご希望の方は下記へ履歴書をお送りください
〒860 熊本市上通町3-34
聖コロンバン会 熊本地区本部



平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通
福岡司教館
発行兼 深堀 敏
編集 電話092-522-5139
振替口座 福岡42981
定価 一部 20円

共同訳聖書作成
資金募集
一、募金額 五百万円
一、募金方法 一口五百円
一、送り先 本誌編集部
寄付者 一万円 深堀 剛
一万三千八百円 女子パウロ

このたび発表された昭和50年度
教勢によると、カトリック全
人口(聖職者、修道士、神学生、
居士不明ながら)に記載され、
居所不明ながら名簿に記載さ
れている信徒をふく
むは、二万五千
九百三十二人。
このうち聖職者
は百十三人、教区
大神学生十人、同
小神学生十五人、
修道士五百二十七
人、居士不明の信
徒は千七百十五人
に上る。

昭和50年度

福岡教区教勢

大入・幼児を含
わけての受洗者は
五百六十四人、教
区外からの転入者
は五百九十四人、
教区外への転出者
は六百九十四人。

「聖書に親しむ」
本年度広報の日テー
マ
教区広報室(室長深堀敏伸)

宣教師兼任職・道向初幸(長崎)
児島 获喜代治(広島)
沢野耕司(広島)

竹森神学生(大江)
助祭に叙階
3月16日午前10時から福岡大神
学院で平田司教司式により、左の
諸氏の叙階式がおこなわれた。
助祭職 村川昌彦(長崎) 竹森
勇(福岡) 諸岡清美(長崎)
教会奉仕職 深堀勝一、津崎俊
(福岡) 中野裕明、東条一浩
宣教師兼任職・道向初幸(長崎)

教会	項目	洗 礼		求道者	信 者 数	
		幼児	大人		1975	1974
福岡地区	茶大二箱東光本今浄古久馬美西小大高吉	4	3	1	419	427
	名目 田ヶ 水 留渡野 牟	22	5	18	1,358	1,358
	山田市崎島丘郷村通賀米島島新郡楠田宮野塚	8	0	1	283	256
		1	0	3	85	85
		7	9	12	373	351
		17	6	7	552	546
		7	0	0	654	654
		13	3	54	1,231	1,235
		7	3	176	196	196
		2	3	299	256	256
佐賀地区	伊唐鹿佐武多鳥呼	10	5	0	146	145
	里津島賀雄久栖子	0	2	7	280	282
		6	0	0	86	86
		1	9	31	571	528
		1	2	5	115	130
		7	3	103	103	100
		5	4	2	181	148
		0	0	0	437	429
	計	34	25	48	1,919	1,846
	王 寺塚倉崎巷司港方原川町畑松川橋	3	11	5	426	240
北九州地区	八飯小黒水門門直新田天戸若湯行	4	3	0	189	174
		23	10	102	2,398	2,400
		12	16	10	1,014	928
		5	2	6	536	519
		4	0	1	446	455
		3	1	2	172	165
		0	7	1	193	193
		34	10	4	1,584	1,559
		0	1	3	170	170
	計	137	73	206	10,098	10,016
熊本地区	荒人本健菊水帯大崎島玉手八	3	3	5	71	61
		6	0	2	206	247
		3	3	3	203	204
		10	4	3	363	409
		3	5	8	342	336
		0	0	2	148	161
		6	1	8	300	286
		5	2	2	511	514
		4	7	0	333	352
	計	64	40	76	4,130	4,164
合 計		366	198	494	25,268	25,046

「聖書に親しむ」
本年度広報の日テー
マ
教区広報室(室長深堀敏伸)

宣教師兼任職・道向初幸(長崎)
児島 获喜代治(広島)
沢野耕司(広島)

宣教師兼任職・道向初幸(長崎)
児島 获喜代治(広島)
沢野耕司(広島)

神学講座開講

昭和51年前期教区神学講座は4
月20日開講する。毎週火曜日午後
3時半から6時20分まで、大町町
え方(イエス師)15日教会の一致
約30人が参加した。

宣教師兼任職・道向初幸(長崎)
児島 获喜代治(広島)
沢野耕司(広島)

宣教師兼任職・道向初幸(長崎)
児島 获喜代治(広島)
沢野耕司(広島)

は、本年度の広報の日(5月30日) 教会で、終講は6月29日、申込は
のテーマを「聖書に親しむ」と 福岡市中央区浄水通38、山田成章
し、教会・学校を中心に運動を展 神父あて。会費三、八五〇円。講
開することを決定した。キリスト 義および講師は次のとおり。
者が典礼・聖理教育の場をはじめ 4月20日現代社会における福音
信仰生活そのものを神の「ことば」 宣教師 神学的考察(山内清海師)
によって深く育てる一方、聖書を福 27日同上 霊生学的考察(同師)
音宣教師の生きた道員とする「こ 5月4日カトリック教会と社会改
そ「広報」の第一の姿である」と考 革(同師) 11日キリスト教倫理を
える。5月上旬にはがスターや広 樹立する九つの命題(ラベル師)
告用チラシを送る予定。

3月7日大町教会で福岡地区
12教会から選出された委員による
カトリック納骨堂(和田墓地をふ
くむ)管理委員会をひらき、第一
期役員を選出した。任期2年。
会長吉田正司(浄水通) 副会長
会計水田三木雄(大名) 書記清水
義一(美野島)の諸氏。前会長自
良直氏は顧問。

熊本でカテキスタ研修会
三月二十日春分の日、熊本市手
取教会で熊本地区カテキスタの研
修会があり、各教会での子供聖理
教育の問題点を話し合った。指導
は光ヶ丘教会の角田品次郎さん、

四旬節愛の献金運動に
協力しましょう

全国の心身障害者のため
目標額 三、〇〇〇万円

福岡納骨堂管理
委改選

運動についての神学的考察(高木
善行師) 22日同上、29日信徒の祭
司職と司祭の祭司職(高木善行師)



安藤建設

九州支店

福岡市中央区大名1丁目8番10号
TEL 741-8031

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有) シオタ事務機・(株) 日本幼児社

福岡市南区大楠2丁目23-15(西田ビル2F)

TEL 521-5327

TEL 522-0988

夫婦の扶け合い

ふたりのかかわりを深め ゆたかな人間性めざす

神に祝福されて結ばれた夫婦の生活は、相互の意識的な扶け合いの努力なしには存続しない。しかしじつさいには人間性を豊かにする深いかかわりにまで達しない夫婦はいかに多いことか。「結婚準備講座」のほかに「夫婦の出会い練成会」を日本各地で推進しているライル神父に、その運動の意義を述べてもらった。

夫婦としてのかわり

物がゆたかななるにつれて、なしくずしに失われてきた精神的なゆたかさ、心と心の暖かい交流。浪波少年院の尾原泰英院長は青少年非行指導の三十年間をふり返ってこう述べている。

「昭和30年を境にそれ以前は生活の支えを失った少年たちの物質的貧しさ故の盗み、傷害事件がほとんどであったのが、それ以後は精神的な貧しさからの非行に変わっている。家庭内の問題がすべての青少年非行の奥底にある」(P.H. 一九七五年10月号)。

子どもたちに物やお金はいくらでも与えることは出来ても、父親らしいこと母親らしいことはしてあげられない精神的貧困。それは父・母である以前の夫として妻と

神に祝福されて結ばれた夫婦の生活は、相互の意識的な扶け合いの努力なしには存続しない。しかしじつさいには人間性を豊かにする深いかかわりにまで達しない夫婦はいかに多いことか。「結婚準備講座」のほかに「夫婦の出会い練成会」を日本各地で推進しているライル神父に、その運動の意義を述べてもらった。

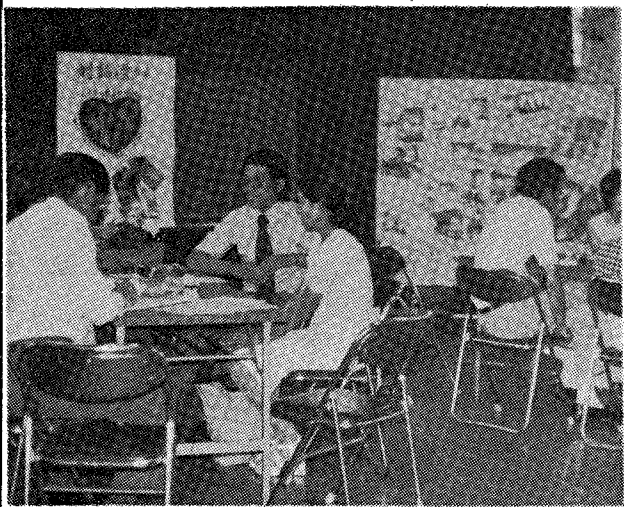
夫婦の深いかわりかかわる扶け合い、許し合いの愛の姿の中にこそ、神の慈恵がいかんにかわりの恵みが生き生きと息づく。それはまた教会のあるべき姿、世の光地の塩として世に現れるはずのキリスト者の生き方の素地をかくんでいる。

「よりしあわせな結婚を旨とする結婚講座」

「夫婦の出会い練成会」

に教会が力を注ぎ始めたのも、このよつな「時のしるし」によるものである。

多くの家庭に見られる夫婦、親子間の浅いかかわり、物質尊重からくる精神のひずみは、生命軽視の風潮をも生み、殺人、自殺、心中(とくに親子心中が目立つ)の地獄絵巻をくり広げる。ちなみに自殺を例にとっても、昨年の統計は年間約二万人で、この五年間毎年一千人ずつの増加を見ていると



「神の理想は、扶け手として神が与えてくださった。あなた(信者)もあつた(なかる)こと」との出会いを大切に、互いに協力し合うなかで徐々に実現されていく。

この協力の根底では、ちょうど地下資源エネルギーのように私たちの人間性の奥がいかんにかかわる湧き上つてくるフイリング(感覚、情緒、気分、感情)が重要な役割を果たす。私たちは毎日いろいろな出会いを経験している。この人あの人との出会い、自然界との出会い、社会との出会いがあつて、これらの出会いからさまざまな刺激をつけていく。このことをよく意識すると同時に、各目的のフイリングを存分に發揮して日々の出会いのなかからあるものを、自分との真実のかかわりとして深めていくとき、私たちは人間としての完成に大きく前進できるのではなからうか。

夫婦も最初の出会いを、深いかかわりに育て上げていくにフイリングの果たす力を見逃してはならない。私たちは知性偏重の教育(制度)の被害者なのだ。だから知性意の三能力のバランスのとれた再教育と生き方実践によって本来あるべき人間らしさを創造しなければならぬ。そのためには各目的のフイリングを生かして大切にするのが先決である。教会で行う結婚講座、夫婦の出会い練成会では婚約者同志および夫婦の出会いを、各目的のフイリングの容認と分か合いによって深め、人間性のゆたかさ導こうとする。

こういふ真実のかかわりに進む夫婦の暖かい交流と対話の中で、子どもたちもこはで教えられる以上、両親の生き方から神の恵みと人間としての喜びを感じるようになる。

福音書をひらくと、主イエスが人々との出会いに際してフイリングを大切に、それを素直に現わしながらそれぞれの出会いを深めていかれたことがわかる。旅につかれて泉のそばに坐つたイエスは、初対面のサマリヤの婦人に水を訴えて水を求めになり、そこから永遠に流れることのない自分の生命の水へとかの女を

導いていかれた(ヨハ4・6-42)。またラザロの死を悲しんで涙を流し、マルタとマリヤを力づよく慰めながら、二人を自分の復活の秘義にまで導かれた(ヨハ11・1-44)。初代教会の信徒たちも貧しさのなかで人間的交流を深めるなかで信仰の証しをあらわしていく。「かれらは心を一つにし、しよびと真心をもって食事をつとめた。かれらは神を賛美し、すべての人の人望をうけた」(使2・46-47)。

世にあかしたる家庭

夫婦はお互いのフイリングを認め合うことから、自分たちのかわりを深めていくのであるが、それに伴ってゆるしあふ心、正直さ、尊敬心、いたわりといった人間生活に欠くことのできない要素も育まれてくる。このような夫婦の誠実な生き方に包まれて育つ子どもたちも、人間にこつとも基本的なものをのびのびと身につける。

夫婦の出会い練成会に出席したある夫婦は、つぎのような感想をもらしている。

夫婦のかかわり方が子どもにひよように大きな影響をおよぼすと、フイリングの重要性を実感した。

子ども教育にあたる上で、夫婦が互いのフイリングを養つことが先決であることを反省させられた。家庭教育の大切さを痛感している。

(ライル神父、神奈川県中郡大磯町東町カトリック教会内)

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2/68

電話 52-3306
52-8622

富士タクシー株式会社

熊本市島崎町慈恵病院前

電話 53-4833
55-3622

石のパイオニア 高木石材株式会社

営業種目 {外国産石材輸入加工販売
大理石・御影石・各種石材
〒860熊本市段山本町 2-21 電話 52-2417
工場熊本市花園町41 TEL 56-0170
(夜間) 64-6781

熊本少年の町、天使園に合併

ベラス神父の愛情いつまでも

この四月、熊本奥菊池郡西合志町須屋の「熊本少年の町」(ベラス神父園長)は、熊本市大江町渡鹿の「天使園」(シスター岩永園長)と合併、「熊本天使園」として新しく出発する。

少年の町は30年3月設立、4月4日開園、コロンバン外宣会のベラス神父が戦争中からの古い木造兵舎をなんとか改造して、戦災の犠牲となった子ども達を収容した。最初は32人だったが設立当時から神父と善業を共にしてきた嘉松清事務局長により、子ども達には木工、溶接を中心とした職業別と落成式があった。

小倉幼稚園完成

昨年9月から全面改築を行っていた小倉カトリック幼稚園(ベラス神父園長、園児三百三十人)が完成、2月29日平田司教による祝祭式と落成式があった。

会合と催し

4月のスケジュール

- 3日 平田司教
- 3日 泰星高校入学式
- 4日 大江教会聖信
- 6日 聖心のワルズワ修道院で誓願式
- 11日 東田島教会黙想指導
- 13日 パリ外国宣教会総長来訪
- 15日 聖香油祝別のミサ(全教区司祭参加、浄土通教会、11時)
- 18日 荒尾教会聖信

児童福祉献金 (1月25日)

会町通丘新島	55,400	川橋原津里	5,430	熊本聖心	10,000
名水ケ	13,624	田行新唐伊万	8,726	熊本福	10,000
光西野	11,430	賀島雄久栖	24,345	熊本黒崎	10,000
美野島	13,125	子島尾名取	6,000	熊本黒崎	3,000
高宮塚山崎楠	15,000	呼馬荒玉手	10,000	熊本黒崎	10,000
吉茶箱大	78,745	島健帶菊八	20,000	熊本黒崎	10,000
東田島	16,338	吉保江津島	1,300	熊本黒崎	10,000
古二小久留米	6,600	人水大崎能古	10,000	熊本黒崎	10,000
今本大古門司	6,690	伊万里トラ	2,966	熊本黒崎	10,000
小倉川畑松	6,052	大濠聖母訪問	5,000	熊本黒崎	10,000
寺町崎卷塚	19,475	熊本信愛	6,400	熊本黒崎	10,000
八天黒水飯	3,421		6,500	熊本黒崎	10,000
	8,000		6,600	熊本黒崎	10,000
	5,441		7,500	熊本黒崎	10,000
	20,050		19,311	熊本黒崎	10,000
	35,000		25,300	熊本黒崎	10,000
	8,484		9,000	熊本黒崎	10,000
	8,600		9,070	熊本黒崎	10,000
	1,360		6,000	熊本黒崎	10,000
	12,740		10,400	熊本黒崎	10,000
	13,120		3,900	熊本黒崎	10,000
	41,767		22,570	熊本黒崎	10,000
	33,611		45,500	熊本黒崎	10,000
	22,145		2,500	熊本黒崎	10,000
	7,080			熊本黒崎	10,000
	20,100			熊本黒崎	10,000
	8,000			熊本黒崎	10,000
	21,000			熊本黒崎	10,000
	53,887			熊本黒崎	10,000
	14,650			熊本黒崎	10,000



地の塩

祈りあってこそ活動も

熊本信徒協会長 高木慶治さん

「小教区の人的自立と経済的自立、それが信徒協会の責任者として私が強調したいことです。人的自立とは司祭・修道者の召命を促進すること、経済的自立とはいうまでもなく全信者が自分たちの教会を外からの援助にたよらず、自分の力を出しきって維持していくことです。この二つが確立しない限り日本の教会はいつまでも幼年期を脱却できないですね」。

新しく熊本地区の信徒使徒職協議会の会長に選ばれた高木慶治さん(52歳、父親の慶一さんの後をうけて熊本市内の石神山の石材採掘の会社を経営している。ガッチリした体格、重厚な話しぶり)が、生れながらにして信仰の恵み

「私の大きな喜びは最近になってCLC(キリスト教生活共同体)運動を知ったことです。今やよく私は信仰上の個人主義を離れて共同体への奉仕にめざめることができました。私はこれまで見ていたのではありません。福岡大神の高木善行神父は弟。妹3人は修道女。」

× × ×

信託併営

大和銀行

福岡支店

福岡市博多区店屋町6番18号

電話 代表 092 (291) 3231番

片山無線

Francisco Katayama

TEL 781 - 2729

妙法高麗人参茶・クイーンはこ茶

福岡県小学校北部生活協同組合指定店

代表者 ベトロ小長光証(あき)商店

北九州市八幡西区下上津役団地20-12

TEL 093・612・8671

全国総発売元 河野裕治商店

25日 鳥栖教会聖信、福岡地区信徒協同司祭団との対話

29日 聖母カタキスタ会員来訪

◎黙想の家

1日〜2日 北九州地区中学生黙想会

5日〜6日 福岡大学聖書研究

13日 福岡地区外人司祭集会

25日 福岡地区信徒協同集会

27日〜29日 聖公会祈りの集い

◎青年黙想会

9日〜11日 熊本市内合同青年会、手取教会信徒会館、泉神子指導

◎殉教祭

4日 熊本市花園山の加賀山マリア墓前、11時

クルシヨ開催予告

男女合同クルシヨ(信徒続成会は、5月2日(日)より7時から5日(水)まで、福岡黙想の家でひらかれる。参加費5千円(宿泊費その他を含む)。申込書は教会、修道院に送られたり。申込先 118筑紫野市太主二市二五六の三 米澤潔あて。

CLC九州地区会議

CLC(キリスト教生活共同体)の九州地区代表者会議は、3月20日と21日熊本市手取教会でひらかれ、地元のほか行橋、佐賀、宮崎、大分の諸教会のメンバー、東京のりバス神父、坂本事務局長ら23人が参加した。各地での集会状況の報告があったが、去る11月の九州大会で得た体験をこのように現地で生かすかの困難とこれから地味な努力をつけようとの熱意もつがわれた。



拝んだら、如何なる罪人といえ、

ある時、藩から直接小川内村に

佐賀のキリシタン悲話

脊振山中に伝わる 尼御前様のこと

牧山満安

寛永の末期、一六四〇年ころ、長崎から一人の美しい尼僧が東郷村の小川内に住みついた。一時は神社の境内や人家の軒下等を借りて居住していたが、二、三年後、尼御前様を取り調べることは出来

屋へ布令が来た。それは、今後尼御前との交際は絶対まかりならぬ。物品、食事を与えた者は重罪に処すとの事に、部落民一同評議の結果、尼御前様を筑前の国へ所替えすることに定め、因果を含めてある秘密に移した。それを知らぬ五ヶ山村の庄屋が腹を立て、また追いつ返すといつことを何回か繰返していた。そのころ尼御前様の年齢はすでに六十の坂を越え老尼になっていた。身には破れ衣をまとい食は飢え、部落民からは邪魔者扱いにされ、まさに天涯孤獨の住む所もない有様であった。それから二年後の二月、異教徒の取り締まりが益々厳しくなり、宗門人別改めのため、部落民一人ひとりを取調べ、尼御前様も呼び出し、宗門を証明したが、何んとも問われずも答えない、止むなく最後には証拠改めとなり、役人が荒々しく

沈丁花と思い出

森雅生

先日、用件があつて田舎のある家をたずねた。門をくぐると、プンと花の匂いが鼻をついた。沈丁花だと思つて生垣の中を覗くと、はたして沈丁花で、丈の低い木に白い花がびっしりついていた。

沈丁花は、五百年ぐつ前に中国から渡来した花で、沈香と千子の香気を併せ持っているといわれ、甘くなまめいた、上品な香りがする。

沈丁の匂いをきくと思ひだす人があるが、残念ながらそれは女性に多い。沈丁花が芳

ではない。子どものころ親しかった男の友人である。私の家はK市にあつて、隣りは佐賀県出身の米屋さんであつた。主人は日露戦争に現役で出征したといふ、眼の鋭い人で、子どもの私にはなじむことができなかったが、この人の二男の寅夫さんとは仲が良かった。寅夫さんは気がだてが優しく、学校でも出来るので、私の母など、私を叱るときには、必ず寅夫さんを引合いに出したものである。

寅夫さんは胸を患つて、中学校を卒業する前に死した。寅夫さんが死んだのは夏であつたが、死亡の前日、夜更けに外で涼んでいたら、寅夫さんの病室のあたりから、尾を引いて、西の空へ消えていった火のかたまりを見た。あとでそれを人魂と気がついたが、恐ろしいといふより、寅夫さんの死を想して、悲しみに胸のふさがる思いがした。

寅夫さんの家は墓が精米所になつていて、私の家の裏口から、共同で使つていた井戸端を通り、その前へ行くことができた。精米所の入口には、いつも二、三俵の米俵が積んであり、そのそばには、年中鉢植の沈丁が置いてあつた。私と寅夫さんは、よく米俵に腰を下ろして話をしたが、季節になると、ほりをかぶつた沈丁花が芳

歌日記

俣野衛

枯れ苔をくぐりゆく細き流れをば遠賀川と思ひ寂しむ
遠賀川越えつつ恋はし遠き日の石炭舟また船頭たちの唄
石炭舟通ひし遠き日のことも枯れ苔に鳴る風も寂しき
鰻梅の花咲く下へ寄りて鰻め味越えたいはいたく疲れぬ
今日の旅終つてとして鰻梅の強き香りの花びしくもあるか

寅夫さんは、私が一つ年上の香を放ち、その匂いは強く印象に残つてゐる。

私がこの沈丁花を短歌に詠んだのは、高等小学校の一年生のとき、その頃投稿していた、「日本少年雑誌」に、若山牧水けりの流麗な短歌を発表していたが、いま思うと、短歌には秀れた才能を持っていた人で、長生きしておれば、この朝沈丁の花冷たく匂へり」というその歌を、新聞の新年文芸に投稿したのは、同じ年の十二月であつた。

少年雑誌に通用する歌を、大人の歌壇で試したいと考えたのだが、これは新年文芸の佳作一席に入選した。このとき誰よりも喜んでくれたのは寅夫さんで、掲載紙を持つて駆けつけてくれた寅夫さんの私よりも嬉しそうに見えた顔は、いまも私の中に生きてゐる。

福岡高校生会練成

福岡地区カトリック高校生会は3月21日から23日まで2日間、高宮教会で大部分の薄田神父の指導をうけたが練成はげんだ。メンバーは「信じる、こころ」参加者16人、聖書の黙想、グループ研究、一分間スピーチなどの試みもあり、高校生としての信仰態度に新しい光をとまることができた5月にも練成会をひらく予定。

吉川病院

院長 吉川東陽

福岡市中央区平尾四角 TEL 521-0568

土地と住いのコンサルタント

(有)若葉不動産

福岡県筑紫野市本町西録二日市駅前
代表者 アツシジ・フランシスコ
松本友則 09292④5833夜②7476

カトリック

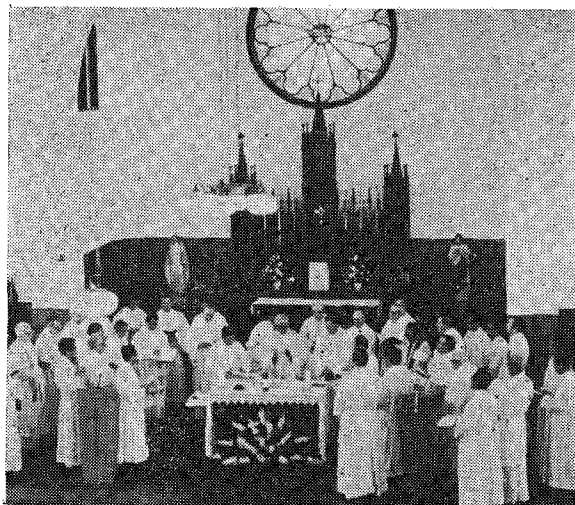
平田司教認可
發行所 福岡市中央区浄水通
福岡司教館
發行兼 深堀 敏
編集人 電話092-522-5139
振替口座 福岡42981
定価 一部 20円

共同訳聖書作成
資 金 募 集
一、募金額 五百万円
一、募金方法 一口五百円
一、送り先 本誌編集部

教会にもつと司祭・修道者を

— 世界召命の日にあたり —

福岡司教 平田 郎



パウロ六世教皇が「世界召命の日」を制定されて、こゝしは十三年になります。主の復活の第2主日(5月9日)がそれにあたります。

教皇の指摘なされたとおり、現代社会は感覚でふれつる以外のものは何も求めず、人間が造りだしたものにしか価値を認めず、固いからの中に閉ちこもつています。このからを打ち破つて、もう一度神の世界を見せ、それにあがれる社会に立ち返らせることが、教会の使命なのです。現代社会は多くの要を生み出しているといへ、決して絶望の状態にあるわけではありません。泥沼のようにな勢無気になりきつゝに耐えられず、そこから一刻も早く抜け出て人間らしい生き方を考え、まことに救いを念願している人は多いののです。莫然とながら神を求める人々を「キリストの弟子にし、救いのよきこびを与えること、これこそ教会の福音宣教のわざなのです。使徒をはじめ司教、司祭は教会のこの尊い使命のために神から召された者です。これら聖職者は生

渾を神主リスト・教会にささげつくし、救いをこの世に伝える者です。祈りの人であり大司祭キリストの代理者、十字架の神秘を生きる人、よい牧者として人々を「この牧場」にみちびく者です。教会は聖職者の他にまた修道者と呼ばれる人々たちによって福音の光を暗黒の世に輝かせます。キリストに召されて神の国の精神を文字どおりに生きようとする人々から成る者です。修道生活とは祈りと犠牲、愛の実践を第一にめざす人々の共同生活です。

司祭人事

カトリック青年労働者連盟（**JOC**）の福岡地区連会の指導司祭に西田邦洋神父が任命された。

して、積極的に行動しなければなりません。

召命は私たち全員の祈りに対する神のお恵みであります。また同時に私たちのあいだから生まれ出るものでもあります。教区ではみなさんのお祈りにより、こゝし大神学生の数は十人になり、お恵みがあれば来年から新しい司祭がみません。

生まれます。十年ぶりのことです。小神学生も十九人になりました。この喜びの中でみなさんにもつひとつ協力ねがいたいのは、神学生養成に必要な経費の負担です。ます。(写真は聖香油のミサ、4月15日聖主曜日、浄水通教会で)

「聖書に親しむ」をテーマに

ことしの広報の日運動

福岡教区広報室は、こころの広報の日（5月30日）のテーマを「聖書に親しむ」と決定。5月はじめから教会・学校などでキャンペーンをおこなう。

もたちに声を出して聖書をよく習慣をつけさせよう。…

TV「心のともしび」放送網ひろがる

放送網ひろがる

公會議以後、ようやくカトリック信者のあいだにも聖書への関心が深まっている。典礼の刷新がその第一の原因である。ところが、一般日本人の聖書ブームの現象も見逃せない理由の一つかもしれない。しかしカトリック信者の聖書にたいする態度は、まだはれものにはさわるような、きわめて消極的なものである。プロテスタントの人たちのそれと比べて余りにも冷淡なわれわれの姿勢は、一日も早く改善されなければならぬ。

電波を媒体とする宣教活動をおこなっているYBU（善き牧者連連会）の四月からテレビ番組「心のとこしび」を、これまでの17局から31局にふやし、完全に日本の国全体をカバーする放送網をととのえ、放送することになった。またラジオ系も「心のとこしび」「太陽のほほえみ」も同様に、日本のほとんど全体をカバーする放送網をのんびりしている。福音教区間でのテレビ「心のとこしび」放送網はつぎのとおり

聖書はむかしという先入見り。テレビ熊本、チャンネル41、
を捨て、聖書を飾りものとして、
なく、いつでも手のとどく所にお
こう。みことばの分かち合い、や研
究などをもつと推進しよう。子ど
ろ放送は十時45分。
再放送は十時10時45分。
十時7時45分、福岡放送、
十時15分、再放送は火曜6時30
分。テレビ長崎、7、日曜8時、
再放送は十時45分。

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有) シオタ事務機・(株) 日本幼育社

福岡市南区大楠 2 丁目 23-15 (西田ビル 2 F)
TEL 521-5327 TEL 522-0988



安藤建設

九州支店

福岡市中央区大名1丁目8番10号
TEL 741-8031

これまでのレジオ・これからのレジオ 使徒職に献身する人を発掘しよう

レジオの精神

レジオ・マリエが九州の地に発足したのは、昭和24年長崎においてであったが、同年佐賀にも熊本からきていた司祭によつて始められた。それは次第に福岡、熊本、鹿児島へと全九州にひろがり、一方、東京、大阪にもレジオは生まれ、現在北は函館から南は沖縄までの各地で信仰生活の核となり、地味ながらも力づよく活動している。

いつまでもなレジオ・マリエの第一の目的は会員の成聖で、人間のよきから一歩一歩解放されて、自由に神に近づける人になること。そしてこの目的達成のため聖母マリアを模範として祈りと活動を続ける。

「人を訪ねては、自らの至らなさを知り、励ましをかける」。

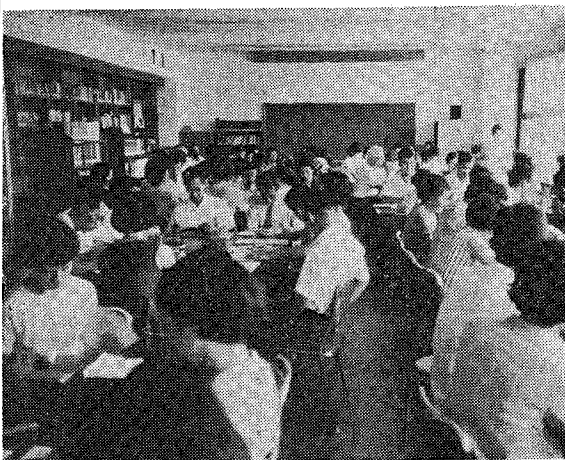
「神はこれを通して私を聖化してくださる」。こんな確信がキリストの福音を伝えるという動きの原動力となる。

今まで、レジオはレジオなりにまとまって、訪問なり教理学習の手伝いとか、教会行事への奉仕などを行ってきたが、なぜか、レジオ会員以外の人に、ある種の疎外感を生み出していることは否めな

使徒職訓練の場

いふ。しかしレジオは、他の使徒職活動と対立するはずのものではないし、またそうあつてはならない。

使徒職の実行にあつては信徒ひとり一人、それぞれのタレントを生かすには、多様なアクションの場があつてよいわけであるが、それに先立つて、使徒職実践の基本をよく学ぶ必要がある。この基本的な訓練の場としてレジオはまさにうつつつけのものではないか。



これからのレジオの姿を求めて

毎週一回の定例の集会は、きまいたルールで進行する。集会には一時間半という時間的制約がある。会員の発言もよくまとめて簡潔にし、古参会員の経験や、十分気をつかった活動内容の報告から新会員は使徒職とはどのようなものかを、知らず知らずのうちに理解していく。司祭の霊的講話アロク手寸、がそれをいさう深める。

会員相互の、そして会員でない他の信徒への、さらに教会外のだれどもキリスト教的な愛で交わっていくように努め、集会で、訪問先で相手の人の喜びを喜び、とし、その苦悩を苦悩としながら、さらにこの人たちに自分は何ができるかをさがし、この体験をおして愛の実践を身につけていくことができる。このような体験は、他のカトリック・アクションの場でも大いに生かされるであらう。

レジオ会員がどのような活動的仕事に従事するかについては、『レジオ・マリエ入門』は言うのべている。(45ページ以下)「教会を中心とした仕事、おこなふ仕事は、日曜学校、小教区内を中心としたもの。教理指導、病院訪問、家庭訪問、求道者の世話、リーフレットの配布など。」

新しく飛躍するために

レジオ会員はこれまでつづけてきた活動を、これからはいさう熱心に行っていくであらう。役員、の研修、信仰をふかめるための懇話会も大切にしていく反面、賛助会員からの霊的援助を期待している。

現在レジオ・マリエとしてよく考へねばならない点を二つ三つあけてみたい。その第一は、教会が望んでいることについて、レジオがどう答えていくかである。

レジオは、教区の司教と小教区司祭がレジオの仕事として小さくし、と判断し、教会にとって有益であると考え、教会に一切の社会奉仕とカトリック活動に従事すること。そしてこの奉仕は、聖母が御子の十字架のもとにまで従われたよう

レジオ活動の場

仕事

労働を共にする職場の人々の中にあつて、いつもキリストの精神で接し、またそれらのよき友となることと友のつちに求道者を見出し、公教整理のグループにまで発展するよう努力する。

三、家庭を中心とした仕事
日本においては、自分の家庭や隣近所の人々への布教は、たいへん困難で慎重を要すると考えられるが「近きより遠きへ及ぼす」という諺のとおり、住んでいる周りの人々への働きかけをもっと積極的にとり上げるべきだ。困難も多いがチャンスもあるから。

二、職場を中心とした

労働を共にする職場の人々の中にあつて、いつもキリストの精神で接し、またそれらのよき友となることと友のつちに求道者を見出し、公教整理のグループにまで発展するよう努力する。

レジオの仕事に関しては、消極的、受動的姿勢でなく、神からの仕事として自主的にとり組まなければならない。

第二は、どんな苦勞にも耐えて使徒職に従っていく人々を、発掘していく努力の不足である。

レジオは、このような献身的な人が、教会の中に少なからずいることを知っている。にもかかわらず、そのような人々を呼び集めることに精進できなかった事実を、責められることである。その点レジオ

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306
52-8622

富士タクシー株式会社

熊本市島崎町慈恵病院前

電話 53-4833
55-3622

石のパイオニア 高木石材株式会社

営業種目 {外国産石材輸入加工販売
大理石・御影石・各種石材
〒860熊本市段山本町2-21TEL52-2417
工場熊本市花園町41 TEL56-0170
(夜間) 64-6781

(熊本クリア会長
徳永八郎)

神学校後援会費報告

昭和50年度の後援会費を報告いたします。みなさまの御協力に感謝申し上げます。
教区会計 川口神父

教会名	受入金額	教会名	受入金額
大名町	266,910	門司港	15,000
浄水通	101,800	湯川	29,415
箱崎	42,800	戸畑	374,850
西新島	117,770	若松	80,000
美野島	22,900	天神町	48,000
高宮	189,750	黒崎	126,000
二日留	110,000	八王寺	31,000
米田	162,000	水巻	37,600
大傘	63,000	田川	24,500
吉野	69,300	新原	180,000
今村	312,240	行橋	40,000
本郷	137,450	手取	90,000
小郡	55,400	荒尾	13,000
馬渡島	21,000	吉渡	92,800
佐賀津	53,000	本渡	36,000
唐津	45,000	水渡	80,200
伊万里	50,000	保江津	49,450
鳥栖	31,650	大崎	48,000
武雄	13,000	島崎	176,840
鹿島	10,000	玉名池	27,845
多門	8,000	計	46,500
司	69,550		3,779,520



福岡教区青年連盟では、5月2日、3日の両日、福岡市泰星高校で青年大会を開催する。

今回の大会テーマは「出会い」で、神・教会・社会での出会いと交流によって相互理解をふかめ、キリストの福音を生きる共同体をつくることをめざす。教区に青年連盟が結成されて数年になるが、いまでは教区内のほとんどもすべて

出会いをめざして青年大会

教区レベルの連帯結束のとき

の小学校の青年信徒が、同連盟とならなかのかわりを持ち、昨年10月から事務局を佐賀教区内において、信仰の理解と成長、福音的証しにむかって一致した行動をめざし始めている。

同連盟は、各小教区の青年の活動を地区レベルの連帯へ、さらに教区レベルの連帯へと高めていくため結成され、年4回の役員集会と年1回の青年大会を企画する。

この大会は鹿児島教区の郡山健太郎神父（鴨池教区）が指導にあたり、2日午前10時から3日午後3時まで約百人の青年が参加する予定。

福岡小神新入7人

福岡小神学校（福岡市中央区浄土）に、それに折りから黙想指導で来熊中の大分教区平山司教に

加賀山マリア殉教頭彰ミサ

熊本市の西、花岡山中腹にある加賀山マリアの殉教碑の前で、4月11日頭彰ミサがあった。

午前11時、深堀司教とオサリバン神父、それに折りから黙想指導で来熊中の大分教区平山司教に

水通38、畠山七郎校長）に今春入学生は七人、氏名、出身教会はつぎのとおり。

高校 白根聖天（天神町）
中学 井手口満（吉塚）、切江敏治、古木稔、北川卓也（新田）
（高松教区坂出）
高校生は泰星高校に、中学生は平尾中学に通学する。



【地の塩】

いまの信者には団結がない

伊万里教会信徒協会長 尾下守さん

『現在、職場で、いちばん頭を痛めているのは、スト中に仲間から圧力を加えられることです。』
大正十四年生まれ。伊万里教会の信徒協会長、佐賀地区信徒協の副会長を兼務している。

国鉄伊万里機関区勤務の自動車運転手、同盟系統の組合員。総評委員会組合のストには参加しない。スト中は総評会の組合員に就業を阻止され、ようやく汽車に乗っても、終点に着くと待ち構えてた組合員につきまわるといふ。

『国鉄のストは違法行為です。人間は法がないと完全な生活はできない。法をこわくことはキリスに信仰の姿勢はまひびしい。』
『最近、物質的な考え方が教

催しと会合

5月のスケジュール

◎平田司教

2日 教区青年大会ミサ

5日 クルシリョミサ

23日 高宮教会創立25周年記念ミサ

25日-29日 日本司教協議会定例総会

◎黙想の家

2日-5日 教区男女合同クルシリョ（信徒養成会）

8日-9日 福岡太正聖書研究

11日 福岡地区外人司祭集会

15日-16日 福岡大学聖書研究
29日-30日 よきサマリア人修道会研修会
◎青年大会
2日-3日 福岡教区青年連盟主催、泰星高校
◎合同運動会
9日 熊本地区、熊本大使園グラウンド、雨天順延

訂正 先月号の児童福祉献金表に一部誤りがありましたので、おわびして訂正します。
本渡教会二万円、菊池教会二万六千二百五十円、高宮カトリック幼稚園五万一千五百四十五円。

信託 併 営
大 和 銀 行
福 岡 支 店

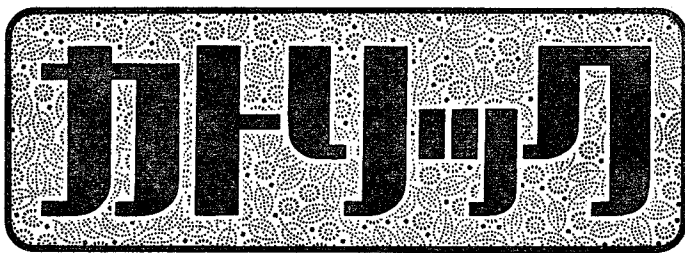
福岡市博多区店屋町6番18号
電話 代表 092 (291) 3231番

片山無線

Francisco Katayama
TEL 781 - 2729

妙法高麗人参茶・クイーンはこ茶

福岡県小学校北部生活協同組合指定店
代表者 ベトロ小長光証(***商店)
北九州市八幡西区下上津役団地20-12
TEL 093・612・8671
全国総発売元 河野裕治商店



平田 司教 認可
発行所 福岡市中央区浄水通
福岡司教館
兼人 深堀 敏
編集 電話092-522-5139
振替口座 福岡42981
定価 一部 20円

共同訳聖書作成
資金募集
一、募金額 五百万円
一、募金方法 一口五百円
一、送り先 本誌編集部

明年(七九)教区創立五十周年

司教座聖堂の新築も企画

福岡教区は、明一九七七年に創立五十周年(金祝)をむかえる。個人の人生における同じく、教区共同体にとっても五十年はひとつの大きな節目であり、ふり返えつて過去の歩みを見直すことは、単なる懐古趣味ではなく、将来にむかふための飛躍台となるであろう。

記念行事の具体的なプランは未定であるが、教区あげての祝典は来年秋になる模様。なお平田司教は「この絶好の機会に、全教区をあげて大名町司教座聖堂とカトリック・センター建設にのり出す気運をもちあげることを希望している」と、同教区は、昨年の新幹線乗り入れ、地下鉄工事の着工などで大きく変わっている福岡市の中心街にあるが、約四十年前からの建物は傷みがはげしいうえ、周囲の景観

福岡教区誕生のころ

日本のカトリック教会は一八四六年以来、リ外国宣教会司教が宣教と司牧にあたってきたが、昭和二年、鹿児島、沖縄両県はフランススコ修道会(カナダ管区)に、また長崎県は邦人司教の教区となつて初代教区長に早坂久之助司教が任命された。さらに同年七月十六日付けで、福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎の五県が福岡教区として引きつづきバリエ宣教会にゆだねられた。しかし大分と宮崎両県はつ

ぎの年にサレジオ修道会に委託された。

福岡教区の初代教区長チリ司教は十二月十一日補教で叙階、翌年一月十六日に大名町教区で聖座式をおこない、市内荒戸町に司教館をおいた。しかし一年半後の昭和五年五月十日久留米の病院で死去した。しかし一年半後の昭和五年五月十日久留米の病院で死去した。

修道士会は幼きイエズス会が熊本と久留米で、シャルトルの聖パウロ会が八代で、マリアの宣教師フランシスコ会が桂崎と人吉で、それぞれ教育や社会事業をおこなつていた。(広報)

高宮教会創立25年

ソラノ記念碑の除幕も

福岡市南区高宮カトリック教会創立二十五周年記念式は、五月二十三日午前九時半から行われた。式には平田司教はじめルベルト日本管区長(フランススコ会フルタ管区)、ヒラリオもと主任神父(現在札幌教区滝川主任)も招かれ、感謝のミサと、また教区関係の右側に建てられた初代主任、故ソラノ・デンケル神父の記念碑の除幕式が、付け作られたレリーフで、50センチ×30センチ、台高一メートル。高宮教会は昭和25年まずフランシスコ会修道院を設置、翌年五月

22人前後で、ほかに新田原のトラピスト修道院の司教が3人いた。小教区というよりも、日曜日に信者が集まる正式の場所として、福岡県内では門司、小倉、新田原、八幡、福岡(大名町)、久留米、大牟田、今村の8カ所、佐賀県では佐賀、唐津、呼子、馬渡、松島の5カ所、熊本県では熊本(手取)、鹿島、八代、人吉、崎津、大江の6カ所、以上19カ所であった。

福岡教区三県の信者人口は約七千九百人であった。

修道士会は幼きイエズス会が熊本と久留米で、シャルトルの聖パウロ会が八代で、マリアの宣教師フランシスコ会が桂崎と人吉で、それぞれ教育や社会事業をおこなつていた。(広報)

平田正喜神父

銀祝

小郡教会主任平田正喜神父は、五月二十四日司教叙階25周年を迎えた。平田神父は大正10年1月、福岡



県三井郡大刀洗町の生まれ、福岡小神学校を経て福岡大神学院を卒業、昭和26年大名町教区で叙階、同教会1年、馬渡島教会で1年5カ月助任のあと、28年9月から34年12月まで地行教会主任、つづいて50年4月までの15年半大名町教会主任、現在は小郡教会主任。ながらく全国信徒使徒職会議の教区代表、レジオ福岡セナトスとピンセンシオ会の教区総指導司教であった。

お茶による

黙想会

佐賀で初めての試み

佐賀教会主任方サルディ神父

では、去る5月9日、黙想会にお茶をとり入れた新しい集いが行われた。アルベルト助任神父の指導で信者有志男女約三十人が参加

会場は畳の間を持つ武雄教会、聖堂が即ち、茶室となった。はじめに茶の由来と、茶の湯とキリシタンの歴史的なかわりについて説明を聞いたあと、六段の琴の調べが、茶室に響きわたる中、静かなムードが盛り上がる中、聖書朗読、聖歌に続き、茶室の作法もゆかしくお茶のお点前があり、三客よりたて出しにつづる。司教の説教、共同祈願のあと、思い思いの決意と希望が述べられた。初めての試みであったが、参加者はみんな、見事に融合したお茶と黙想会の成功を喜びあつてた。

クルシリヨに38人

第15回福岡教区男女合同クルシリヨ(信徒練成会)は、5月2日から5日まで三泊三日、福岡黙想の家でおこなわれた。せつかくの連休をききしめての参加で、松尾練成長のリードにも力があり、38人の新しい使徒が誕生した。参加者の内訳は、大神学生5、聖母訪問会修女1、新田原10、戸畑7、若松1、行橋1、小郡3、今村4、久留米3、門司1、高宮2、

司教座聖堂建設バザー

大名町教会では、司教座聖堂とカトリック・センター建設への熱意をまず自分たちの間から高めようと、青年信徒を中心に全信者に協力を呼びかけて、4月25日バザーを開催、六十万円の純益はあけた。

香典返しを建設資金

大名町教会の田川美登子さんは亡夫の香典返しとして、20万円を司教座聖堂建設のために寄付した。

吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四角 TEL 521-0568

土地と住いのコンサルタント

(有) 若葉不動産

福岡県筑紫野市本町西鉄二日市駅前

代表者 アツシジ・フランシスコ

松本 友則 09292④5833夜⑦7476

私は聖書をこう学んでいる

福岡教区では、去る5月30日の「広報の日」のテーマに「聖書を読んで信仰を育てよう」をとり、まず信者のあいだで神のことばに親しみをもち、女子聖パウロ修道会の協力で聖書の普及に力をいれた。

聖書朗読はミサをはじめ典礼の場で重要な役割を持つが、それに与る私たちが、十分に神のことばに親しむには、個人でもグループでも日常的によく聖書を黙想し研究して、なれ親しんでいる必要があることは言うまでもない。私たちは聖書をどう学んでいるのか、その体験を四人の信者に語ってもらった。

(広報室)

「天国ゆきの切符」

切江 敏夫

新田原小教区ではいま「聖書に親しむ運動」を推進しています。

昨年秋、長年と組んできた聖堂建設の事業が終わり、それを感謝して特別のミサがさげられたとき、主任神父様は「真の教会建設はこれからです」とおっしゃりながら、何かを暗示するかのようになり、役員一人ひとりに聖書を手渡されました。

そのときある人が「天国ゆきの切符ですね」と口をすぼませ、それを聞いてみながドツと笑いました。しかしスツリとおもひ聖書を手にしたのを契機に、その中に綴られた神のまこと、信仰の目を向けはじめたとき、「天国ゆきの切符」と言った誰かの一言が、まさに言い得て妙であった、改めて感ずるようになった。

それは聖書によって神のみ旨を知り、キリスト者の使命を教えられるからです。

聖書研究会で

村松 リン

私が、聖書のことばを身近に感じようと思ったのは、「聖書と典礼」のパンフレットが、教会に置かれるようになってからのような気がします。それまでは、「ミサで書簡や福音が読まれても、ただ聞き流すだけで、すぐに忘れてしまっていました。もちろん聖書は一冊購入して、わが家の本棚に置いてはありましたが、飾りものに過ぎませんでした。目でもって聖書を読むことが出来たのが、この「聖書と典礼」でした。

それから一歩進んで、福音を自分の生活の中に取り入れるためには、日曜日ごとにミサにあづかるだけでは、だめだといふことを知り、一週一回の聖書研究会に参加するようになってからわかりました。ミサ中は「みなさんね……」と聞こえてはいますが、いざ日常生活で何か事につづかると、福音は消し飛んでしまつて、自分本位の考えのみで処理してしまひ、落胆したり、悩んだりしてしまひます。そして反省がないままに一週間たつてしまひます。自分の生活の中に、福音をどのように取り入

れたらよいのかさへ、わかりませんでした。

研究会に参加するようになって、いろいろ身近な問題を福音に照らして考えるようになってから、少しずつ福音が私の生活の中に入つて来ていることを強く感じています。

わが家の子供達にも、それぞれ福音を親しむ時間を持つように気を配るようになりました。主人も時々ではあるが、私は別の聖書研究会に出席しています。そしてお互いに勉強して来たことを話し合つていっています。

最近よく私を聖書に近づけたことが二つあります。一つはクルシヨに参加したこと、もう一つは曾野綾子著「私の聖書」を読んだことです。(戸畑教会)

聖書は読める

中野 尚夫

「CIC」(キリスト教生活共同体)は、兄弟愛に結ばれた信徒が、各人の生活を共にして、互に助け合つて生きていくことばに照らして、生きている、と云つていけるが、そういうお前は聖書を読んでいるのか、どんな風に読んでいるのかと問いつめられ、おっかなびっくり、重い筆をうっていき。

CICグループの定期集會は、聖書を中心に、メンバーが互に心を配り、自分の生活の中での出来事、悩み、苦しみ、喜び、人との係わり合いなどについて語り合ひ、キリストによって一

体に結ばれた兄弟愛を持つところから出発します。「互に愛し合ひなさい」と言われた私たちが、一緒に喜び、一緒に悲しみ、堅く結ばれた兄弟となる努力こそ、聖書をひもとく人、聖書を理解する人の第一歩だと思つていきます。

こんな集會は、誰よりも先づみこばにきく心が必要です。この心掛けがなければ、聖書に満たされることなく、聖書を手にながら、世俗的話し合いの会になってしまう。黙想を軽視する集會は、いつでもこの危険にさらされています。

聖書研究会についてですが、私最近よく私を聖書に近づけたことが二つあります。一つはクルシヨに参加したこと、もう一つは曾野綾子著「私の聖書」を読んだことです。(戸畑教会)

声を出して読む

深堀 志奈子

女ばかり四人の子室に恵まれた私は、自家営業(食肉業)をやつておられますので、家事とお店の仕事に追われ、腰をおろしてつづきくいとまもない毎日です。長女は海星小学校三年生、次女は二年生、三女は光の園保育園の四才児組、四女は一年児組に通つております。

幸い学校では毎週二時間の宗教道徳の授業がありますし、教会の日曜学校でも聖書の勉強があります。この春の休み中の黙想会にもよく参加しました。ただ家庭では学校の宿題やおけいこのために、子ども達も聖書を手にとり、ゆっくり話さずという時間は持てません。

ですから夕食後のひと時だけはテレビをきめて、皆そろつてその日のことを話し合ひ、お祈りをす

もその時その時で、出席させて載っています。講師によって学ぶところも違いますが、聖書を読む指針と、聖書に対する理解力を使うために、いろいろな機会を利用して、良い講師について学ぶことは大切なことだと思つていきます。

家々孫(中学生)の子供用聖書に加わる日課も楽しいことです。最後に、CIC東京事務局が発行している「毎日の黙想のハンドブック」(月刊一年分、五〇〇円)は、私にとって、仕事に追われて倒れるように眠る夜でも、聖書を読んだという申訳にも役立っています。(健康教会)

るようにつとめています。またなんとか子ども達を聖書に近づかせようと考えて、子ども同士の「聖書物語」を買い与えています。気がむけば自分で開いて何ページでも読んでいますが、まったく読まない日もありません。まだまだ理解が浅く「よくわからない」とは言いますが、声を出して聖書を読むようにさせておりましたので、また字の読めない下の子どもにも入り、自然と神さまのみことばになじんでくるようです。

私自身信仰つすい平凡な母親ですが、子どもたちと一緒に聖書をひもといて神さまの愛の深さを味わいながら、心から祈る習慣を作つていきたいと思つています。近ごろ七十八歳の祖母も受洗のお恵みを受けたきました。わが家はこれで全員八人、みな神の子どもになりました。感謝の気持ちでいっぱいです。(光丘教会)

信託併営

大和銀行

福岡支店

福岡市博多区店屋町6番18号

電話 代表 092 (291) 3231番

片山無線

Francisco Katayama

TEL 781 - 2729

妙法高麗人参茶・クイーンはこ茶

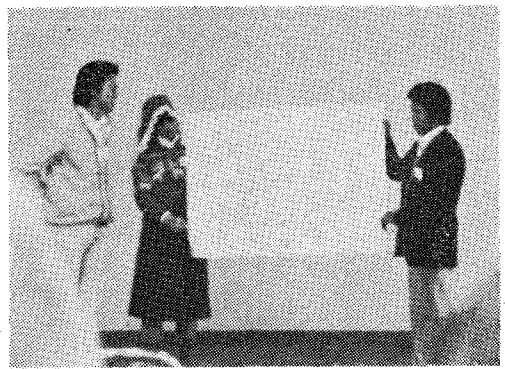
福岡県小学校北部生活協同組合指定店

代表者 ペトロ小長光証(***商店)

北九州市八幡西区下上津役団地20-12

TEL 093・612・8671

全国総発売元 河野裕治商店

福音に生きる共同体へ
出会いをテーマに青年大会

「出会い」をテーマに福岡教区青年連盟主催によるカトリック青年大会が5月2日3日の四日、福岡市の泰皇高校でひらかれた。出会いと交流によって、相互理解を深め、キリストの福音に生きる共同体を作ることをめざしたもので、福岡、北九州、佐賀の各地の青年五十五人が参加、MBW(キリスト共同体連成会)の郡山健次郎神父(鹿児島)、シスター斎藤(東京)、シスター神山(広島)の指導を受けた。伊藤隆神父ら地区指導司祭7人も青年たちと交って参加した。

同連盟は青年の連絡協議機関であるが、青年がキリストの福音、希望と喜びのおしえを分かち合う者となるため、出会いと交流によって各人の可能性をひき出す共同体をつつとつと結成されたもの。これまでもグループで黙想会や研修会をおこなってきたが、

これを初めて大会開催にぎつてた。大会はこぼの祭儀のあと参加者が六つのグループに分かれ、まず自分の現在の興味、悩み、喜び、将来への希望などをカードに記入してKJ法でまとめ、グループごとに発表、つぎに「神の計画」についての講話をもとに、自分たちのいまの生き方が、キリストにおいて全人類が一つの家族になるという神の計画にそっているかを反省した。

第2日は、これからの青年活動をもとに具体化するかにについて討議し、次のようにまとめた。

①これからの青年活動は、あらねばならぬかを見定め、その中からできることがらを積極的にこなしていく。

②青年会が教会に生きるために活動のレベルをいかに高くかを考えて、マンネリ化をなす。

③福音のメカネをかけて生活するために聖書に親しみ、自分の心を聞き、若さを自分だけのものにせず他の人にふけていく。

④「出会い」を青年活動に生かすために、対話が気かたにできる場づくりをする。

⑤キリストの共同体としての青年会をつくり、教会内外の青年に布教を心がける一方、子どもの要理指導や福祉事業への奉仕を実践する。

⑥共同体意識や自覚をふかめるため、機会あることに練成会をおこなう。

大会の終りに平田司教と4人の司祭による派遣のミサがあり、そのミサの中で平田司教は、キリストの生涯は出会いの連続であった。キリストにならって青年が神と人との出会いの場となるようにと激励した。

参加者一同はこれに深い感銘をうけ、希望に燃えて次のような大会宣言をおこなった。「①私たちはキリスト者としての自覚を深め、キリストの手足となって働き、キリストの足跡をたどることをめざす。②私たちは教会青年の連帯を強く、青年の立場で信仰を伝えよう。」

参加者はこの大会で共同体意識にめざめ、互いが兄弟姉妹であることを改めて感じ、秋の練成会の再会を期して散会した。

6月のスケジュール

◎平田司教

会合と催し

6月のスケジュール

◎平田司教

1日 福岡地区司祭月例集会
2日-3日 聖職者・神学校司教委員会
6日 小倉教会聖信
8日 高宮カトリック幼稚園祝別落成式(10時)
9日 司祭候補者認可式(福岡大主教院)
11日-12日 九州地区カトリック学校理事・校長会議(熊本)
13日 黒崎教会聖信
17日 福岡地区カトリック婦人の集い
20日 若松教会聖信
27日 戸畑教会聖信
29日 司教聖書の祝日(全教区司祭参加)

30日 男子聖パウロ修道院聖信
◎黙想の家
3日-4日 西南学院大学生の集い
5日-6日 バプチスト教会信徒祈りの会
8日 福岡地区外人司祭集会
12日-13日 明治学園高等学校生徒黙想会
17日 福岡地区カトリック婦人の集い黙想会
◎九州地区学校理事・校長会議
11日-13日 日本カトリック学校連合会主催、熊本県生年金館◎大主教生練成会
29日-30日 福岡市国民宿舎千石荘

熊本合同運動会
熊本地区教会合同運動会は、5月9日四合志町の熊本大使園(もと少年の町)グラウンドでにぎやかに行われた。
雨つぎの連休とうって交って、雲ひとつない好天のもと緑色の会場に集った約五百人の信者が、野外ミサ、国旗教皇旗掲揚のあと、バルサ大作戦、綱引き、モデル競争、対抗リレーで熱戦をくりひろげ、島崎教会が優勝杯を獲得した。



地 壇
もっと地域社会とのかかわりを...
天草三教会委員長 萩原 保徳さん

「天草の崎津、大江、本渡3教会は合同活動の打ち合わせや行事の調整、それに親睦をかねて年3回、教会委員の会合をひらいていいます。これまでも恒例の天草殉教祭や聖年大会、聖体行列など、一教会の行事としてでなく、3教会が力を合わせてやるようにしています。」
6年前から天草地区教会委員会長をつとめる萩原保徳さん、大正14年生まれ、51歳。現在は本渡市内に近しい新和立大宮地小の教師で、教職歴31年のベテラン教師。昭和33年に同じく小学校教師であった今は、きょうとさんお嬢さんから家に出かけていってミサがある。

天草下島でも崎津、大江の教会は、明治初年以來の古い伝統をもつ、いわゆるキリシタン部落で、教会という信者たちの生活の真中にドッカーリ腰をおろしている。本渡市は四百年前とはともかく、戦後はじめて福音の声を聞いたところ。二百人の信者のうち古い信者は五指にみたない。しかも市内よりも大矢野、上島各各地に散在している。こういって遠く離れたところに目をむけるのは司祭ばかりでなく、萩原さん行動力のある信徒の大事な仕事。
『日曜日といつてもサにこれがない人が多いので、神父様のほうから家に出かけていってミサがある。』

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2/68

電話 52-3306
52-8622

富士タクシー株式会社

熊本市島崎町慈恵病院前

電話 53-4833
55-3622

石のパイオニア
高木石材株式会社

営業種目 外国産石材輸入加工販売
(大理石・御影石・各種石材)
〒860熊本市段山本町2-21 52-2417
工場熊本市花園町41 TEL56-0170
(夜間) 64-6781

阿蘇で想う

佐無田 斌



領家義夫

D神父様へ、
阿蘇にも遅ればせながら初夏がやってきました。仙酔峡はミヤマキリシマが今花咲かり、うす紫の花が埋まっています。阿蘇の春は遅く、まだあわたしく過ぎて行きます。桜、桃、モクレンに似た清楚な白い花を咲かせるコブシ、そしてツツジ。その間に五岳のすそ野は、野焼きの煙がたなびき、霧のほつかりに、萌黄の新芽が上に伸びて行きます。
阿蘇谷は、標高五百メートルのカルデラの中にあるだけに、農季節も平地とだいぶ違います。晩霜が五月中旬まで心配され、茶摘もまだです。しかし一方ではもう田植のさかり、この便りがつづろは、ほとんどすすんでいるでしょう。秋に稲のとり入れが終わると、平地ではすく跡に牧草や麦、野菜などが作られますが、阿蘇では、大部分の農地が黒土とした火山灰土の裸地のまま残り、冬から迎春までつづります。

でも、特に農家には、よそにないような、きびしい自然の負い目を担わされているわけです。一見ゆたかな阿蘇谷にも、農家の人びとの苦しい営みがあることを、しみじみと覚える昨今です。
当地に移ってきてから、今までの大きく変わった生活に「日曜日」があります。ここには信者の集る教会はありません。この広い阿蘇谷に信徒は数人と聞いていますし、あちこちに散らばっているのでも、互いに顔を合わせることもありません。主日のミサにあずかるには、熊本まで出かけなければなりません。また職務柄、日曜出勤のことも多く、教会館でもまじりません。人吉にいたころは、家族そろって欠かすことのない日曜でしたが、
阿蘇に赴任して間もなく、あたたかい生活がつづき、何となく月に一回位のミサにあずかっていた。しかし、やがて心にホッカリ穴のあいたような感じをもつようになり、神父様が

「ミサや聖体拝領にあずかれないことに堪えるのも、大きな犠牲ですよ」とおっしゃったことを思い浮かべたのもそのころです。一方、今までの祈りや、その他の生活を含めて、習慣的に情性で過してきたものではなかったかと反省させられました。
職責上のごて思ひ悩むこと、大きく重荷を感じることも多くなつて、心の平安と勇気がいかに必要かを改めて思つたようになり、いつか「主よ、私に主によって平安を、正義を行つた勇気を、人を愛する心を育ててください」と語りかけるやうになりました。祈りは決してミサに替るものではありませんが、今日まで「祈り」によって勇氣を付け、苦悩の中からも明るく希望が開けてきました。いつも主がそばにおられる、そのような実感をいただくこともたびたびです。ミサに行けなくても、今まで以上に、日曜日の喜しを大切に

死の苦悶のなかで

橋本 幸子

私の姉は、昨年12月かねて療養中の病気が急に悪化して意識不明となり、医師の診断では一週間の生命だと宣告されました。
何の準備もないまま死を迎えようとしていた姉の意識を思つて、胸がしめつけられる思いでしたが、今はもう声をかけるすべもなく、ただ神に祈り、聖母の保護をおねがいするだけでした。主任神父様は教会の

にし、毎日の祈りを大切にしたいと思ひます。
それからもう一つ、十二年間のレジオナリエの活動、なかんづく家庭訪問で、人それぞれに、口に出せない心の痛み、苦しみがあることを肌で察することができましたが、いま同和教育をおしめすために、大へん役立っていることをお知らせしておきたいと存じます。学校の生徒たちにも、神の前に立つたとき、何が入としての真の値打ちであるかを覚悟せたいと願っています。
夜も深く、ミサ筆をおきますとまならない便りになってしまいました。涼しい夏のこの地にぜひおたすねいただき、神父様がさけてくださる家庭ミサにあずかることを楽しみにしています。では今日はこれです。(五月二十一日記) (さむた・あきつ 熊本県立阿蘇農業高校校長)

したが、神さまの試練はきびしく、苦痛は昼も夜もつづることにありませんでした。苦しみは耐え、それに打ち勝つことによつて永遠の幸せが与えられるとは申せ、苦しむためにのみ、生きながらえているかに見える姉の姿に接しては、私も神さまのお望みならは召しになつてもいいから、どうかこの苦しみから姉を救つてくださうと、必死に祈らざるを得ませんでした。
病める者の常でしうが、夜になると症状はかならず悪化します。悪魔の誘惑はくり返え病人をさいなみます。「こんなに苦しくては折れない」と泣き叫ぶ姉のために、じつと多くの方々が代つて祈つてくださいました。絶望と孤独、苦しみと恐怖、この長い暗黒の日が四月もつづきました。
キリストさまの御受難記念日を迎え、復活祭には聖体を拝領しましたが、そのころから姉の魂は目に見えて安らいていきました。聖金曜日の一週間目、その日を持っていたかのように、姉の症状は急変し、神父様はじめ多くの信者さんたちの祈りに守られながら、安らかに永遠の眠りにつきました。もう苦しみも表れず、ひとりびとりにお礼をべ「イエススさまのおそばには行きます」と申すだけでした。死に時刻は午後二時

30分、主が十字架の苦しみで耐えておられた時刻です。
目をとおつたほどの激痛に耐えなければならなかったとはいえ、姉はそれによって自分の罪をつぐない、神さまへの希望を強め、永遠の国に導いていただくことができたのです。私はこの数カ月、姉の最後の戦いを共に戦つたなかで、聖母マリアの取次ぎを求め祈る私たちの祈りは、かならず聞き入れられることを、あらためて知ることができました。(今村教会)

忘れ得ぬことは「田のくくりを見て仕事をするな」
田植えのころが近づくと、母がくくりにしていた言葉思い出すのである。働き者だった母はこの教訓を生涯に留めて根気のいる仕事にもよく耐えていた様に思う。田のくくりを見て……とは田植を始めようとする前に、はるか後の田のくくり(あぜ)を眺めやつて、こんなにくくりにする仕事はとても自分には出来ないといつて出たくなる気持ちに戒め、手元から一本一本着実に植えてゆけばいつの間にか済んでしまつたものだといつことであつた。忙しい毎日の仕事の合間に、郷土史研究のうすたかい資料を整理しながら、私は忘れ得ぬ母の言葉を思い、心の支えとしている。(馬渡一夫)

歌日記

俣野 衛

足止めけふ再びの藤の花寄せむ思ひも淡々とて藤浪の薄むさき花揺れて砂清き境内に人の影見す射そめし朝の光に見つづく久留米つじの白くくれる朝々に見る塀上の久留米つじ紅かがより悲しきまでに

建築設計監理

教会・修道院・学校・幼稚園・他

営建築設計事務所

所長 菅 種雄

福岡市中央区警固3-11-14

TEL 092-741-8852

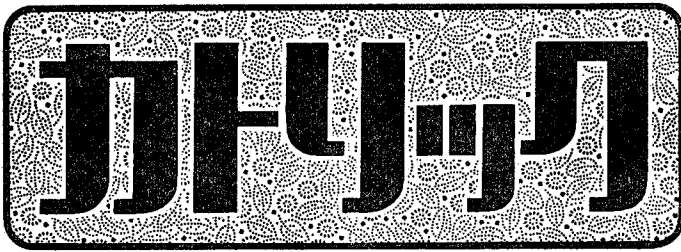
事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有) シオタ事務機・(株) 日本幼児社

福岡市南区大楠2丁目23-15 (西田ビル2F)

TEL 521-5327

TEL 522-0988



平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通
福岡司教館
発行兼編集 深堀 敏
電話 092-522-5139
電報 福岡42981
定価 一部 20円

共同訳聖書作成
資金募集
一、募金額 五百万円
一、募金方法 一口五百円
一、送り先 本誌編集部
寄付者一万円 鈴木孝子

これからの布教をどうするか

司祭と信徒の懇談会で研究

福岡教区信徒協のメンバーと司祭との懇談会が4月25日午後、福岡教区の家であった。平田司教のほか司祭10人、信徒は坂田会長ら60人で、①これからの布教の方法について司祭は信徒協に何を望むか、②青少年の育成をどう進めるか、③離れた信徒への働きかけをどうするか、の三点について、参加者が三グループに分かれて討議した。

この懇談会は、信徒協が司祭と一致して働くため、円滑な意志疎通をはかろうと企画されたもので、二回目の試み。①については信徒の相互一致、教理の研究、活動組織への参加によって布教活動への基礎づくりをすることが必要であり、外にむかひの姿勢の一つの方法として、地域の行

事に進んで加わることで一般社会にとけ込む努力が指摘された。②のテーマでは、リーダー格の養成が必要であるが、すでに発足している高校生生徒会や青年会に対する働きかけが不足している、子ども達の練成の場をもっとやわらしたい、教えられる信仰から考えを信仰へと育てるべきである、などの意見が活発に出された。③の問題に対しては、司祭よりも信徒自身が呼びかけや訪問にあたるのがよいが、逆効果にならないため、各人の事前調査が望ましい、個人で働きかけるほかに隣組(班)で責任をもって行うのもよい、などの声があった。

おわりに家庭集会や方について、光ヶ丘など三教会の事例が紹介され、平田司教が「教区創立五十周年をひかえ、福音宣教の大使命に全信徒が一丸となって尽力する決意を固めよう」と激励のこたばを述べた。

町を通じて聖体行列

熊本島崎教会で

聖体の秘跡にたいする感謝と礼拝を表現する聖体行列が、六月一日熊本市の島崎教会で、島崎修道院のあいだで挙行された。午後二時梅雨の晴れ間をぬけて、約二百人の信徒の行列に守られた聖体は教会から道路に出て待降院と聖母老人ホーム前の仮祭壇に運ばれた。その間聖体賛歌とロザリオの祈りが静かな町並みに流れた。

CLCで通勤黙想会 イグナチオ霊操で10日間

生々とした信仰生活の体験を分かち合うことで、信仰者の共同体をつくるというCLC(キリスト教生活共同体)熊本支部(事務局責任者・高木光行さん)では、東京からフェルナンデス神父を迎え、イグナチオ霊操による信徒向け黙想会をおこなっている。

この黙想会は6月25日から7月11日まで、日曜日は午後、平日は夜、時間をあけて第10黙想まで実施するもので、「通勤黙想会」ともいえる新しい試みである。全日程無欠席参加を条件としているが、青年、主婦をふくめ約三十人が参加している。会場は大江町渡鹿の幼きエラス修道院。

全国広報委員会

6月8日、9日の両日、全国広報委員会の春期例会が東京中央協議会であり、委員長永司教、各教区広報担当司祭二十五人が出席。第1日は各種報告、講演「外信面にあられたカトリック情報」を聞き第2日は上智大のデラベラ神父の講演をもとにマス・メディアの「受け手」の問題を研究した。福岡教区からは深堀神父が出席。

婦人の祈りの集いに

福岡地区の73人
福岡地区婦人の集いは、6月17日午前10時から午後3時半まで、福岡教区の家であった。昼食後の懇談、司祭たちとの親睦座談会をはさんで、内山神父の講話「進歩するカトリック婦人」、平田司教

小中学生の夏期練成など決定

熊本地区信徒協理事會

熊本地区信徒協理事會は、27人教のミサがある。が顔をそろえ、6月20日正午から手取教会でひらかれた。ミサ、中食のあと討議につづり、つぎの諸事項を決定した。

①毎年夏の少年少女(小学5年から中学3年)練成会は、こころは8月3日から5日まで(少女)と5日から7日まで(少年)に分けて菊池少年自然の家で実施する。定員少女六十五人、少年四十五人。指導は少女の部は伊藤隆神文、少年の部は古田泰人神父。参加費三千円。8月5日には平田司

②小中学生の要理教育を高めるには、現場の教師の質の向上が先決であるので、手始めに熊本市内の教師による研修会を毎月開く。もし必要ならばテキストの選定も研究する。③最近青年会の活動が低調であるので、各教会ごとに青年たちの名簿を作成し、相互の連絡を密にする。

④阿蘇郡小国町殉教遺跡の地調査を人吉教会の長浜庄吉氏に依頼する。

⑤神学生養成の援助費(一粒会の名で集めている中)は必要額の半分にも満たない状態であるから、信徒にいつぞう熱心に呼びかけて増額をはかる。

⑥こころ1月の開催につき第2回結婚講座を、10月1日から3週間、火、金曜日に開く。指導はフイル神父。

⑦次回理事會は9月26日菊池教会におこなう。

明治学園音楽会

戸畑明治学園(シスター沢妙校長)では、恒例の音楽会を6月19日午後4時から本校講堂で開催した。第一部では小中高それぞれのエレクトーン、ピアノ演奏、女声合唱、第二部では日本で生まれた音楽を中心に合唱、ピアノ連弾、独唱、小中別々の吹奏楽などが発表された。

祭、坂田信徒協会長も列席した。

山元真神学生の 着衣・認可式

福岡大神学院神学科一年山元真さん(新田原教会出身)の、スータン着衣式ならびに助祭・司祭候補者認可式は、6月9日平田司教司式でおこなわれた。

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有)シオタ事務機・(株)日本幼育社

福岡市南区大楠2丁目23-15(西田ビル2F)
TEL 521-5327 TEL 522-0988

土地と住いのコンサルタント

(有)若葉不動産

福岡県筑紫野市本町西鉄二日市駅前
代表者 アツシジ・フランシスコ
松本 友則 09292(4)5833夜②7476

テレビとつき合う私と子ども

このほど東京で全国広報委員会(一面参照)があり、その席上、マス・メディアの受け手の問題が討議された。どんな情報メディアを通して提供されるかは「送り手」の問題ですが、それを受けとめる側の訓練と賢明さが要求されます。とくに受け手が未成年、子どもの場合です。いまテレビに関していくつかの体験を述べてもらい参考に供します。

番組を学習に

村上あい子

最近のカトリック新聞の報道により、東京大司教区では広報の月の集いで「宣教の大きな手段としての広報の意義」が討議され、また「受け手の意見を送り手に反映させる市民運動を起す努力をしよう」などの発言があった。そうであるが、私は十五年前、つぎのような方法でNHK婦人学校を利用し、グループで学び、その学習の数々を生かして町の公民館活動に実行いたしました。

そのころNHKラジオ婦人学校という番組があり、私が教会の中や校区の人々と作った小さなグループで、この番組がとり上げた問題について、学習や話し合いをするをやってみました。NHKは私どもの学習の発言を録音して、全国に放送したこともありまして、

いました。会費は公民館で計上、希望者全員が自由に好きな学校を勉強できるのです。また毎月一回は各番組から合同に会合して建設的な意見を町当局へも出し、こうして町の行政にも参加できまして、ある年の十二月には教会の神父様に来ていただいて、クリスマスについての正しい認識を語り合ったり、ある有志に呼びかけて聖書研究会をわが家で開くこともありました。(光ヶ丘教会)

私は厳しすぎるのか

上村 直子

わが家には中三と中一の息子がいる。二人とも学校から早く帰宅すると必ずテレビで漫画をみる。「マシンハヤブサ」、「タイムボカン」等々。中三はさすがに三十分くらいで引き上げるが、弟のほうは六時半までかわい顔してみている。帰宅のおそい時は、食事をしながらNHK番組を一時見たりする。食卓のときはテレビを消していたのに、最近またみながりて来た夫人の番組で、子供はもうテレビの前座ってはいけないうちに今は今しなればならぬい別のことがあつたのではか、話し合った。次男が六年の時学校でテレビの調査があつた。「僕が一番テレビをみる時間が少ない、母親がきびしいすぎるのだ、子供を信用してないのだ」と言い出した。テレビにかきずき何事にも母親の意見を押しつけ、子供の気持ちを汲んでくれない、分りつたしななのだと言つた。この子の言ひに私も一理あり、帰宅の遅い主人にいわせて私の判断でやつてきたので

節度を守らせて

中島 幸男

今日、異常なまでに発達したマス・コミが、とくに幼い子ども達にどのような深い影響をおよぼしているのか、その実態を断定することはできないが、何か空恐しいものを感じさせられる。わが家の小学三年の娘と四歳の息子が、いまテレビをどのように見ているかを述べてみます。

まず息子は五時半に始まる「トムとジェリー」「休さん」の「マシンガン」など空想科学活劇ものに夢中になり、途中夕食をはきかき七時半まで、日曜日は「UFOグレンジャー」はこれのお気に入り、一つ、私もまたそれと一緒に見るが、目をまんまるして得意顔で物語の解説をしてくれる。しかし自分の好きな番組があるから、私としてもいろいろ考えた結果、その時から次男にテレビの選択をすべて任せてみることにした。

日曜の夜は八時「風と雲と虹と」を家族でみる。子供二人の会話をきいていて現代の子の考え方もわかる。私の見せたいと思う番組には子供の興味をすく、残念に思う。中学生時代は対象が全く異なるからであつたか、これまでチャンネル権を主張していた次男もテレビの前に座る時間はだんだん少なくなるようである。

(島崎教会)

子供と団交も

庭木 利夫

とにかく情報はなんの時代です。ラジオにしろテレビにしろ、悪作の多い番組の中から、何を選ばずかが問題だと思ひます。わが家には小五の娘と小四の二男がいますが、黙つていて宿題も放つて夢中で見入つてしまつて辞められません。従つて朝、番組と時間帯を調べ、きょうは「これ」と「あれ」親父推選を赤印で指定しておき、余分は見せないことにしています。しかしなかなか折り合ひのつかないことが多く、子供達との団交も随分骨が折れます。テレビのそばに日本と世界地図を張つておけば、土地感について社会の勉強にもなり便利です。

一つしたやりとりの中で、子供たちが、本当に自分に必要な番組を、自主的に選んでくれる日を心から期待しています。

(鹿島教会)

信託併営
大和銀行
福岡支店

福岡市博多区店屋町6番18号
電話 代表 092 (291) 3231番

片山無線

Francisco Katayama
TEL 781 - 2729

妙法高麗人参茶・クイーンはこ茶

福岡県小学校北部生活協同組合指定店
代表者 ペトロ小長光証(●●●)商店
北九州市八幡西区下上津役団地20-12
TEL 093・612・8671
全国総発売元 河野裕治商店

新しい建物で充実した教育

新校舎二棟

大牟田明光学園

学園創立二十五周年記念事業として昨秋着工した大牟田明光学園(カトリック修道会シスター山崎三ミヨ校長)の校舎新築工事が4月末完成、平田司教によつて祝別された。施工は清水建設福岡支店。こゝに出来上つたのは中学の普通教室9の南校舎と特別教室4をふくむ管理棟、いずれも三階建て、二百平方メートル、総費一億円。在校生は中高併せて九百人。また今秋11月の、創立記念行事の一つとして、団伊玖磨氏指揮による九州交響楽団の演奏会を、大牟田市市民会館で開催する予定である。

希望の体育館完成

八代白百合学園

創立以来七十六年の長い伝統をもつ八代白百合学園(シヤトルの聖パウロ修道会、シスター武内マシ校長)に体育館新築工事が完成し、6月22日午前10時から平田司教による祝別式、ついで落成式があった。

野中建築が設計。鴻池組が施工したもので総面積三千三百五平方メートル、バスケット2面、バレー3面、バドミントン6面のコートに十分な体育場のほか、舞台、卓球室に十分なスペースが設けられている。生徒数は高校生六百八、すぐ隣りが地元教会と市役所で、この日の祝典に

は市長も出席して祝辞をのべた。

新園舎で元気に

高宮幼稚園

福岡市の高宮カトリック幼稚園(園長堤要吉神父)では、去る12月末から全園舎の新築に着手していたが、5月15日完成、6月8日午前11時から平田司教の手で祝別式、ついで落成式があった。同幼稚園はもとマリア幼稚園の名でマリアの宣教師フランシスコた。

信仰の励みに踏み絵復元

佐賀の牧山・舟両氏

郷土キリシタン史の研究に情熱をもち、佐賀教会の牧山満安さんは、禁教時代、隠れキリシタン探索に使用された踏み絵の復元を思い立ち、このほど同じ地元の造形美術家の、舟一朝さんの腕を見込んで依頼、二人の苦勞が実つてついに作品が生まれ、太陽を背に頭上に七星をめぐらした「無原罪の聖母像」「いはば冠をかざせられたキリスト像」「ドミニコにロザリオを親授する聖母子像」の三種で、実に基に復元されている。いずれもタテ二四センチ、ヨコ一〇センチの写真製。チークの板にはめこんであり、壁にかけることができ、「踏み絵はキリシタン信徒の

共産党と教会

社研セミナー開催

毎年夏におこなうカトリック社会問題研究所の「社研セミナー」は、「共産党と教会」をテーマに、8月20、21、22日の三日間、横浜中華学院で開かれる。同研究所はカトリック社会観の研究、実践の母胎で、九州では北九州、福岡をはじめ数支部があり、土谷久松氏の公害問題と取り組んでいる。こゝにはよく共産

党の世界的な進出に注目、講演を中心に活動報告や討論をおこなう。福岡教区からも十数人が参加する。希望者は誰でも申込みことができる。

催しと会合

7・8月のスケジュール
◎平田司教
7月4日 健康教養会
8日 全国カトリック保育者協議会福岡大会
11日 福岡教区修道女連盟総会
18日 今村教会納骨堂祝別式
8月5日 熊本地区青少年女練成会ミサ



「人の命を預かるという仕事に生きがいを感じ、看護婦を選びました」。答へてから、つづつ、つづらな瞳を輝かす。

「こゝし二十二年。四十六年に姉さんと二人で受洗した。いつも微笑を絶やさない田嶋さん、あれから好意を持たれて、真の正面から相手を見つめ、透き通る声でゆつくり話す。これは、この人の性格の一面であらう。冷静で、物おじしな、度胸と組織力とさわやかな弁舌は、青年男子も一目置いている。福岡教区青年連盟の中でもその人望は高く評価さ

地の塩

育てることに喜びを感じる

佐賀教会青年会長 岡 正子さん

「人の命を預かるという仕事に生きがいを感じ、看護婦を選びました」。答へてから、つづつ、つづらな瞳を輝かす。

「こゝし二十二年。四十六年に姉さんと二人で受洗した。いつも微笑を絶やさない田嶋さん、あれから好意を持たれて、真の正面から相手を見つめ、透き通る声でゆつくり話す。これは、この人の性格の一面であらう。冷静で、物おじしな、度胸と組織力とさわやかな弁舌は、青年男子も一目置いている。福岡教区青年連盟の中でもその人望は高く評価さ

8月2日・4日 エキュメニカル・インスティテュートの集い
5日・6日 生命の尊厳をめぐる討論研究会、講師マックハーデン神父(英語)
7日・8日 周船寺日基教会信徒の集い
18日・21日 カルメル第三会黙想会
22日・30日 幼きイエス修道会黙想会
◎熊本地区青少年女練成会
8月3日・15日(少女)伊藤隆神父指導
5日・7日(少年)古田泰人神父指導、いずれも菊池市少年自然の家。

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306
52-8622

暑中御見舞申しあげます

勝手ながら 8月15日より22日まで一週間ほど休ませていただきます

福岡市中央区大名2-7-3

聖パウロ書院

(毎週水曜日一定休日) 電話 741-4588

石のパイオニア

高木石材株式会社

営業種目 {外国産石材輸入加工販売
大理石・御影石・各種石材

〒860熊本市段山本町2-21 TEL 52-2417

工場熊本市花園町41 TEL 56-0170
(夜間) 64-6781

上手で、お坊さんの代役もつとま
る程であった。その父が榎田さん
と、もつ二人西田という伝道婦さ
んの熱心な導きでついに、当時
「ヤソ教」正恩みくらわれていたカ
トリックに改宗したのである。私
自身の洗礼は十九歳の時で、父は
もつ少し遅れた。やはり長年大切
にしてきた經典と仏壇を手離すの
に、人知れぬ決断が要求されたこ
とと思ふ。

榎田さんは手取教会の洗礼簿に
よると一八八二（明治十五）年の

女傑榎田夕丰さん

榎田まきさんが五月二十七日、人吉市の聖心老人ホームで亡くなられた。九十四歳であった。入棺に立会われた井八重さんのお話としては、死顔はまさに「聖女の相」、神々しく、まことに美しかった由。

五十年の長いあいだ熊本・手取教会の伝道婦として献身された榎田さんの葬儀は、二十九日午前七時、さくら六月一日手取教会で午前十一時から盛大にとりおこなわれた。榎田さんには大恩を感じていて、多くの信者が最後の訣別

道の第一線に立つようになる。
 コール神父のあとが深堀諒郎。
 そしてボア、マルタン、ボンヌカ
 ズ、平田惣五、郎神父らとつづく
 が、戦後数年たつてコロバン外
 國宣教会の司祭たちが手取を中心
 に活動されるまでの五十年、樫田
 さんは時には司祭の右腕となり、
 時には縁の下の力持ちとして伝道
 事業を支えていった。

私は樫田さんという人は女傑で
 あったと思う。あるいは猛猫とい
 つてもいいかも知れない。なにしろ

自 木 紀 至

ほとり発な少女だったのだらう。片言ながらフランス語を話しているのを聞いた人もいる。

コール神父が熊本県下の布教に着手して、市内に（今の手取教会の場所であつたか）教会の看板を掲げたのは明治二十二年、楳田さんはやがて二十

生まれて、十二歳の時、コール神父から受洗してゐる。靈名ペロニオ。それが人言であつたか八代であつたか分らない。熊本でなかつたところだけは確かで、一百分がいつか「私」當時汽車がなかつたので、人力車に乗せられて熊本にやつて来た。コール神父が私を天使園のシスターに預けて、手芸などを習わせてくれた」と話しておられたからである。

ある美容師

太田洋

友人に奨められて井上和子さんに会ったのは、ぼつぼつ桜もほころびよつかという三月の下旬のことであつた。井上さんは美容師というより、福岡市内に三つの美容室を持つ、井上和子美容室の経営者である。

友人は「變つた美容師さんがいるが、会つて見ないか」と言つて誘つてくれたのだが、会つてみると、まだ三十歳にも充たないかと、思われる美しい人で、友人の言葉から想像していたイメーシとは全く違つていた。

井上さんは、

『私の店は人の相互扶助に重点を置き、客・従業員・経営者のつながりを大切に、三者が幸せに

するところだ。こゝ私たちの信仰の常識では置りえないほゞケタ外れの信仰人だったのである。この人となしでも、緒に暮したこのおる人は皆、口をきかなくて言つた。櫻田さんは日が照つて雨が降つて人のために家を出ない日は一日もなかった。病人昇舞、貧困者の援助、路傍の赤ん坊に洗礼をさすげのため、櫻田さんがこつてさすづけた洗礼は数百人を下らぬと言われている。

歌
日
記
侯
野
衛

対馬の旅より

争ひの聲に目覺めぬ巖原に宿りし六月一日未明に
峡の道曲りまがりて行くハズに猛き緑の蝸るうとまし
海山に狭まれし土地平めて牛飼ふ七十余歳の老が
俄か雨海の方より晴れゆきて向う山原に嘯りの声
俄か雨晴れたる沖の曇りより海越へてくる風のすがしき

野という所生まれた。早く父母を失ない、お爺さんとお婆さんに育てられ、高校二年のとき中退して、美容院の徒弟になった。しばらくはクリームも買えない状態で、オーバーを賣つのに三年もかかったそうだ。

『はい。』という人がいるが、現代の世相をつぶさに見ると、私などにも、ほんとうなるものかかたしと危惧されるものがある。

こんな世の中で、たとえそれが営業に關係があつとも、井上さんのような考えを持つ人は貴重な

「この苦勞の中から、相互扶助という発想が生まれるが、井上さんの胸の中には、さらに『美空室』に徒弟として入つてくる女性には親がいないとか、家が貧しいとか、不幸境遇に痛めつけられた者が多い。そんな女性たちに優れた技術を仕込んで、一人前の美容師に育てあげ、一人でも多く幸せにしてやりたい。』と、いつ願いが秘められてゐるのだあ。

私は、現代のむずかしい社会を、従業員、顧客とともに生き抜こうとしている井上さんの姿に、きびしいものを感ぜて胸を打たれた。私はまたあわせて、神の愛を口にし、集まる二一応立派なことをいうけれど、実際には何もしようもないカトリックの信者に思ひを致してみる。私はそういう信

井上さんの店は天神・祖原、西
 新の三カ所にあるが、そこでは井
 上さんに言てられた人たちが、す
 でに六十数人も働いてる。

最近はその考え方が全く変つ
 て、自分のこと以外には関心を持
 たない人が多くなつた。目の前に
 老人が立つてゐるのに、ふんぞり
 かへつて新聞を読んでゐる紳士は
 運動の電車でさぐに見かけるとこ
 るである。私の友人に『日本はこ
 んなことをしている』とびびるので

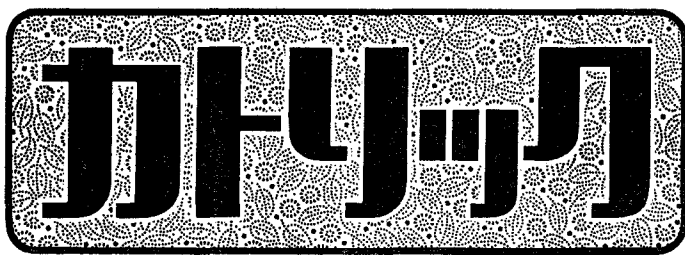
者の姿に、怒りよりむしろ哀しみ
 を感じるものであるが、井上さん
 の企業精神と実行力の中には、私
 たちカトリック信者が、現代に何
 をしなければならぬか、そのヒ
 ントと方法の、素朴な原型が隠さ
 れてゐるよさに思ふてならぬので
 ある。

(おおた・よつ『大名町教会』)

× × ×

建築設計監理
教会・修道院・学校・幼稚園・他
菅建築設計事務所
所長 菅 種雄
福岡市中央区警固 3-11-14
TEL 092・741・8852

吉川病院
院長 吉川 東陽
福岡市中央区平尾四角 TEL 521-0568



平田司教認可
發行所 福岡市中央区浄水通
福岡司教館
發行兼 深堀 敏
編集人 電話092-522-5139
振替口座 福岡42981
定価 一部 20円

共同訳聖書作成
資 金 募 集

一、募金額 五百万円
一、募金方法 一口五百円
一、送り先 本誌編集部

米建国を祝つて国際聖体大会

熊本から白木、石井さんら参加

「国際連合大会はアメリカ建国二百周年祭に合わせてフィラデルフィア市で開催された。人類の一致と愛のきずなである聖体の秘跡のもとに全世界から信者たちが集まって祝われるこの大会に、日本からはカトリック新聞社が組織した巡礼団約五十人が参加した。

至さん、丹井八重さん、同ヤスさん、三人が参加したが、大会の印象を、こもごも次のように語った。

「私たちは日程の終りのほうの聖体行列と閉会式のミサに与かりましたが、会場には二十万人以上の人がいたそうです。フォード大統領のあいさつがあったときは全

白柳誠一東京司教を団長とする一行は、8月4日東京を出発、5日から8日までの4日間、同地に滞在、そのあとアメリカ人最初の聖人として昨年列聖された聖女シスターゆかりのエミツバークに巡礼し、ボストン、ニューヨーク、ロスアンゼルス、サンフランシスコなどを歴訪して帰国した。福岡教区からは熊本市の白木紀一司教が、

愚慮わず立ち上って喝采しました。日の丸の小旗を持っていますと、見知らぬ人が近づいて握手を求められ、ミサの平和のあいさつの時にはみなが一つであることを痛感しました。ロスアンゼルスでは病身の奥様をつれて参加なさった山田進輔という方が白柳大司教さまから受洗なさいました。それも感激の場面でした。」

二日市教会創立

25周年をむかえる

福岡県大宰府町の二日市教会、
(主任浦口均神父)では、8月15
日聖母被昇天の大祝日に平田司教
を招いて創立25周年記念ミサをお
こない、感謝のうちに新しい前進
を誓い合った。

二日市教会は昭和26年1月、現在の西鉄二日市駅に接した八百坪の土地に、幼稚園兼用の聖堂の建設をはじめ、7月8日献堂された。前年に聖母の被昇天の教義宣

教会活動が思うにまかせず、しかも都市計画で敷地がいっそう窮屈になるなどの理由で教区移転がきまり、49年4月史跡として有名な覆寺に近い太宰府町御国野の現在

地に幼稚園が移転、ついで5月29日に新教会の落成と祝別式をおこなった。信者数は二百八十三人（昨年12月末現在、園児数二百十五人。なおこの機会に教会にチャイムが取り付けられ、毎日四回美しい音鳥をひびかせている。

福岡と熊本で結婚

講座（愛の学校）

結婚シーズを前に福岡市と熊本市で、幸福な家庭をめざす若い人たちを対象に「結婚講座」が開

神学講座はじまる

本年度教区神学講座第二学期は
9月21日から毎火曜日、12月14日

本市に手取教会
でも出席できる。

熊本市は9月24日から10月12日
まで、火・金曜の6日間、二人の
対話を育てる」「夫婦愛を育てる」
新婚時代」「家庭経済」「妊娠と
出産」などのプログラムが予定さ
れている。こんどで第二回目。

共助組合練成会

教区信徒使徒職協議会では日本共助組合連合会西九州地区協議会と共催で、共助組合についての續成会をひらく。

会場、下関市丸山町、上智大学
社会経済研究所下関労働教育セン

各教会の信徒会役員、その他活動団体の代表者、司祭の参加が、よく望まれている。

	聖ベトロ金	金	金	聖ベトロ金	金	金
	獻	金	金	獻	金	金
大名町	42,015	41,500	湯川	28,997	37,199	
浄水通	22,506	24,900	戸畑	38,615	26,610	
箱崎島	3,000	5,000	若松	8,000	8,000	
東田島	10,000	10,000	八王寺	5,800	6,900	
西新塚	12,000	11,200	天神町	8,000	8,000	
吉家	8,215	6,536	黒水崎	16,600	23,500	
大楠山	7,285	6,876	直轄方	8,000	5,915	
茶力丘	6,239	8,250	飯坂	1,975	4,000	
美野島	17,615	10,590	直田	8,000	7,500	
高宮司	10,000	10,000	田川	4,060	3,330	
老留賀	31,000		行橋	10,318	11,122	
古賀	6,000	6,000	新田原	23,000	34,950	
米賀	6,346	9,187	荒尾	5,000	5,500	
久留米	10,000	9,000	玉名	8,500	11,000	
吉野	21,000	20,400	手取	25,747	45,500	
今野	1,810	3,470	島崎	18,000	39,600	
小郡	64,000	70,000	軍山	10,000	10,000	
大郷	4,000	8,215	池代	16,000	10,000	
牟田	14,657	16,870	八人	16,500	12,000	
馬渡島	8,000	9,000	代吉	10,000	8,965	
呼佐	8,000	9,200	水人	11,000	9,850	
伊賀	4,800	5,850	本水	8,350	3,825	
武里	10,000	10,000	大渡	8,300	6,871	
雄栖	5,000	3,000	江津	11,100	20,000	
鹿島		5,000	崎	15,050	25,500	
多島	3,450	9,120	大江修院	3,000		
唐島	1,000	1,000	熊本信愛	10,000		
門津	3,080	3,825	琵琶崎	10,000		
司港	6,000		八代	100,000		
門小	8,665	6,200				
倉	20,000	15,000				
	61,765	48,481	計	885,360	789,307	

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有)シオタ事務機・(株)日本幼育社

福岡市南区大楠 2 丁目 23-15 (西田ビル 2F)
TEL 521-5327 TEL 522-0988

土地と住いのコンサルタント

(有) 若葉不動産

福岡県筑紫野市本町西鉄二日市駅前
代表者 アツシジ・フランシスコ
松本 友則 09292④5833夜②7476

カトリック社研はなぜ生まれ、なにをしているか

水波 朗

(一)

人間は社会的動物である、といわれる。「人間の社会性」ということは、中学校でも高等学校でも繰返し教えられる、これを知らない日本人は、今日だれもないだろう。そしてカトリック信者は、実はだれにもまして身をもつてこのことを知ってきた。人間は社会的本性のものである、信仰生活の面でもかならず共同生活をしなければならず、信徒の共同体的

今年の社研ミニナー

第13回カトリック社研夏のセミナーは、8月20日から3日間横浜で開かれ、全国から二百三十人が、北九州社研からは神父三人、信徒十二人が参加した。このセミナーは「共産党と教会」で最近の情勢を反映してか例年をしのぐ盛況であった。共同通信社の酒井新二氏のヨーロッパと日本の共産党など二つの講演があり、十の分科会で討議をつづけた。最後にムルク神父(指導司祭)が「共産党が世界中で力を伸ばしているが、それにはカトリックも一部加担しているのではないか。われわれが正しい社会政策と取組まず、真剣に活動しない生ぬるさが反キリスト教的力をはびこせる原因の一つである」とのべた。

交わり(コンミニオン)、これこそ教会生活そのものである。しかもプロテスタントにもましてカトリックは、この共同の教会生活、それも人間の分業的本性に根ざした組織された位階秩序のある宗教の共同生活を、強調してきた。

またカトリックは今日まで、家庭生活を強調してきた。例えばキリスト教的世界観に立つ西ドイツの政党、キリスト教民主同盟、戦後いちはやく政権を握った時に、わざわざ「家庭省」という一つの省をさへ設けて、「この社会生活の基礎単位」の強化をはかった。ところが人間の社会的本性、分業的本性が、家庭生活と教会生活の面だけ現れる、と考えるのは不合理である。人間の社会性は人間の存在のきわめて深いところ根ざすのだから、良いことも悪いことも、家庭の外でも、教会の外でも、およそ人間のすることなすことは、社会的・共同的でないものはない。悪いこと言ったが、窃盗、不良仲間、大に他は階級を奪取する一階級、他国民を屈服する一国民など、悪いことも大に集団に行われるものである。まして経済的・社会的・国際的な人間の健全な社会生活を可能にしている人間の日常の正常な

営みは、徹底して共同に行われてきたし、今日も行われている。またそのさい、教会のなかで教会的統治が教会法という「制度的なもの」を媒介して行われるように、教会の外でも、経済的、社会的、法律的、政治的な大に複雑多様な無数の制度の下で、人は生きていく。しかもこれらの「制度的なもの」が、人間の秩序ある社会生活を築くもすれば、又それら制度の硬化や機能麻痺によって「社会問題」の主要な原因ともなる。教会生活・家庭生活にしても、こうした教会外、家庭外の社会生活から孤立してあるわけでない。

『鉱害被害者を守る』

北九州社研の活動

北九州社研が発足したのは昭和47年11月。北九州市黒崎教会の徳山神父、同市の信徒数人が選挙郡岡垣町の射撃場撤去を求める市民運動に同調して、カトリックの立場から何をすべきかに着目したとまである。

現在月一回の例会に出席するメンバーは平均十五人。主婦、教師、医師、自営業などさまざまな職業人で平均年齢は二十歳を越える。月例会は現代世界憲章の継続研究から始まるが、いわゆる理論研究

とは、今日われわれ信者が身にしみて感じているところである。

(二)

カトリック社会問題研究所が十一年以上前に東京に誕生して、今日では全国各地に数ヶ所の支部をもつ組織となったのは、よく考えれば、教会内、家庭内の生活とてわれわれ信徒が体験してよく知っていた人間の社会性の自覚の拡大に基いたものではない。

今日では完全の意味での教会生活、家庭生活もないのである。しかし言うからといって、信仰生活が教会の共同生活や教会外での信徒の社会生活に尽きることはいわねば、もちろんなく、天主唯一一人の心砂漠のなかで、面ペルソナと面とを向い合せてみる窮極の信仰生活を援ける助的な、補完的な共同生活であり、教会生活であり、家庭

がおもなプログラムではない。むしろ具体的な実践活動を通じて押し進めていく中でカトリックの社会理論を深め、信徒使徒職の一環として福音のあかしを行う道を探している。

これまでに同社研が取り組んだのは、上にのべた岡垣町射撃場撤去運動で、同町の婦人会が起し「射撃場から子どもを守る会」への側面協力。その活動の成果は翌年の社研夏のセミナーでとり上げられ反響を呼んだ。つぎはカネモリ油症患者の訴訟を援助するもので、リトル派信者の紙野柳蔵さんが訴訟原告団から下りて、ひと

生活でそれはあつたが、たまたました共同体的な信仰生活のあり方が日々変化して、昔のままでは行えない、という意識である。カトリック社会問題研究所は、今日二つの方向で仕事をしている。一つは理論的なものであり、もう一つは実践的なものである。社会問題のつぎへの歩みは、に、「制度的なもの」の系図にその多くの原因をもっている。例えば、今日の資本主義の経済体制は、共産主義の経済体制もそうだが、それなりのしかたで多くの社会的禍根を惹きおこす原因となっている。しかしこうしたことを正確に知り、社会問題解決の具体策をもつには、どれほど人が熱心な信仰を抱いていても、それだけでは足りない。こうした体制の、一般的には経済的・法律的・政治的な「制度的なもの」の機構とその固有の運動法則とを知っていないならばならない。そうしたこと

りて行政・企業に対して人権擁護を訴えようと、カネモリ倉庫の正門前で3年8ヶ月座りこみをしたとき同氏は強力に支持した。現在は、宮崎市に生まれた「土呂久、松尾敏吉被害者を守る会」の北九州支部を反鉱害センター(八幡西区のリトル教会内)に結成し、その運動に積極的に協力している。

土呂久、松尾の被害者救済は生熊来吉氏が宮崎在任中から推進したもので、同氏の福岡転出に伴い北九州社研が引きついた。カリタス・ジャパンはこれに二百萬円の支援金を委託している。

がでるのには長年の訓練によって研究方法を身につけた社会科学の専門家だけである。そこで研究所はそうした専門家を集めながら、カトリックの信仰や倫理の立場からみて、どこに社会問題があり、どこにそれを解決する具体的方策があるかを研究している。またこの研究成果を一人でも多くの人たちにわかち、一緒に問題を考え理解しようとしている。「社会関係と人間」という機関誌を年五回発行してすでに72号におよんでいる。各地の支部、(福岡では福岡支部と北九州支部)で研究集会や講演会を、また年に一度「社研セミナー」という全国集会をもつのは、この努力の一環である。

しかし研究だけでは足りない。研究した成果は現実を生かされるべきで、小さなわれわれの能力でできるかぎりでの実践が伴わねばならない。そうした趣旨から、研究所はある程度実践活動にかかわっている。宮崎の土呂久、松尾の被害者援護の活動が今全国の規模の輪を拡げているのは、われわれ研究所の仲間一人、生熊来吉氏の献身的な発掘活動とそれを受けて立ち、いち早く支援に乗り出した宮崎教会の信徒をはじめとする全国の多くの信徒の支持があったればこそ、この事実もともとカトリックに無縁であつた被害者やその家族に感銘を与えている。また、われが北九州支部は岡垣射撃場の住民運動に有意義な参加をした。

福岡教会の皆さんが、祈りと理解をともなう、カトリック社会問題研究所の活動を見守って下さり、進んで行なうことを希望する。

(九大法学部教授)

信託 併 営
大 和 銀 行
福岡支店

福岡市博多区店屋町6番18号
電話 代表 092 (291) 3231番

片山無線

Francisco Katayama
TEL 781 - 2729

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾 光 敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23
TEL 771 - 3657

晴れの熊日賞に輝く

もと熊本少年の町園長ベラス神父

「熊本少年の町」(以下略)として導いてくださった。4月に熊本天使園に合併した。ベラス神父は昭和30年に「熊本の町」を創設し、二百七十一人の子を育て、社会のために自らの身をさげた。

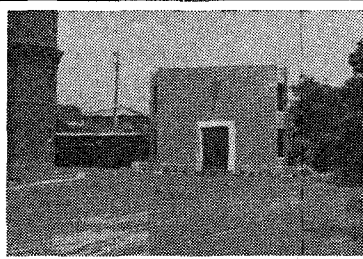
ベラス神父は昭和30年に「熊本の町」を創設し、二百七十一人の子を育て、社会のために自らの身をさげた。北九州市八幡西区本城の養護施設「聖小崎育児園」(木藤幸子園長)が創立三十周年を記念して、8月21日(土)に「熊本の町」を創設した。戦後間もないころに育ち、戦後に集立った卒園者五十人が全国各地から集まり、旧交を暖め、思い出話に花を咲かせた。これには創立者のドルエ神父、前理事長バスケル神父も顔をみせ、前園長の故ルエ神父の七回忌のミサもさげられた。過去三十年間の卒園者は四百人。

天草崎津で聖体行列

船の安全と大漁を祈願する聖体行列が天草下島の崎津カトリック教会で、8月15日午前10時から行われた。この聖体行列は昭和25年から毎年一回、聖體降臨の日に行われていたが、9年前から聖母被昇天の祝日に催された。地元の十字堂を先頭に保衛園児、地元の信者がたつ。行列の中央はマリア像をかか、若者、最後に聖体を奉持するコア神父、賛美歌をうたいながら行列は崎津漁協横橋

今村教会に納骨堂完成

福岡県三井郡の今村教会(系永一神父)の敷地内、正面向って右側に納骨堂が完成、7月18日ミサにつき平田司教による祝別式が



あつた。納骨堂は二階になっており、総面積は約七十一平方メートル。経費千四百六十万円、樹数は二百五十。内部中央に復活のキリスト像が安置され、非常に明るい感じがする。同教会には信者用墓地があり土葬の習慣が守られてきたが、十分な広さがなかったため納骨堂建設にふみ切った。

季刊創造

9月に創刊号

日本のカトリックとプロテスタントの有名作家、文化人による新しい総合文芸雑誌が9月1日に発売される。B5判変型、約二百五十ページ、九百八十円。年四回で発行は聖文舎。編集長は武田友寿で、選読欄、田中澄江、矢代静一らのカトリック作家が編集顧問に名を列ねている。聖パウロ書院や一般書店でも購入できる。

催しと会合

- 9月のスケジュール
- ◎平田司教 4日 聖心のワルセラ修道会創立四百周年および同会福岡修道院設立二十五周年記念式
- ◎黙想の家 11日 大町教会青年懇話会
- ◎バプティスト教会 22日 23日 大町教会青年懇話会
- ◎バプティスト教会 26日 29日 コロンバン司祭
- ◎ベルナルド守山寛一さん 7月5日午後10時45分、北九州市門司区柳町の自宅で老衰のため死去、九十二歳、7日午後1時半から同教会で深堀司教、甥の山田勇師らの共同司式で葬儀が行われた。明治初期、津和野で信仰を守りぬいた守山三郎氏の次男で「旅の話」をもっとも忠実に語りついでいた。

地の塩

レジオのきびしさにひかれる

熊本クリア会長 徳永八郎さん

「レジオマリエは創立以来のきびしさを守りつづけることで、その本領を発揮しています。これがあってこそ使徒の養成ができるのです。」

こう語る徳永八郎さん、山口県宇部市の出身、四十二歳。レジオの熊本クリア会長として二年、北九州大時代の昭和三十一年小倉教会で受洗、聖書研究に専らついていたが、二年ほど留米信愛女学院で英語を教え、現在は八代白百合学園で教鞭をとっている。

「私が八代に来てレジオを知ったときの印象は、きびしきで、たゞの印象にとどまらず、厳格な。毎週の例会も時間の厳守、真剣な祈り、きびしい報告、

「人々のため教会のためにみんな私にそれを感じました。」と、一緒に働くことで、自分の信仰が深められたと思えます。」と告白している。

レジオはPR不足を解消しなければならぬ。信徒使徒職の経験を生かすためにもレジオはもっと全国的教会にひろがり、公認前の信徒使徒職活動の拡大(二つ)となった。いまは表も裏も減員数は減っているが、レジオが信徒活動に与えた影響は決して消えてはいない。

かつて会員であった人たちはレジオから受けた養成、信仰生活のしつけとも言うものを今もなお生かしている。自宅、薬局を営む妻の治子さんもその一人。治子さんは熊本クリアの書記であった。

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52-3306
52-8622

体の中から美しく……
天然オイル・自然食品
ローヤルゼリー

十粒 ナチュラル

(店) 熊本市下通1丁目4-8
TEL 54-9161
(自) 熊本市東子飼3-5
TEL 43-4043

石のパイオニア

高木石材株式会社

営業種目 {外国産石材輸入加工販売
大理石・御影石・各種石材
〒860熊本市段山本町2-21 TEL 52-2417
工場熊本市花園町41 TEL 56-0170
(夜間) 64-6781

聖フランシスコと祈り

シスター 新井

アシジの聖フランシスコは、教会史上もっとも真彩を放つ聖者として広く知られている。この10月4日はその誕生七百五十年にあたり、その生涯が新たなクローニアッブされている。

祈りとは神の前に黙し、心を洗め、神に引かれるままに自分をまかせることである。

私たちの会員が師父と呼んでいるアシジの聖フランシスコは神の呼び声に目ざめて回心し、その後はいつも神のみ声に耳を傾けながら祈りに没頭していた。かれは主イエスの清貧と謙遜にならうことを理想としたが、そのきびしい徹底した修道生活についてこれない者もあり、やがて多くの兄弟たちは聖人とは違った道を進もうと、かれから離脱していった。それは聖人が回心以來はじめて味った悲しい出来事であった。

フランシスコはの時、山中の隠遁所にひとり引きこもり、食べることも飲むこともせず、苦悩の中を祈りつづけた。「おお神よ、永遠に在しますお方、あなたの道をこの私に教えてください」。ただ神のみ心になつたため、何をなすべからぬを問いつづけた。

神にも見捨てられたかのように、また兄弟たちの中で異邦人の

ように見られ、しかも離れていく兄弟たちへの思いは深まるばかり。落胆と孤憤に打ちひしがれながらもかれは問題の解決を愛のうちに見出した。神のみを求めつづける。

長い苦悩、そして忍耐がけい祈りのあと、かれはついに平安と喜びに到達する。「神がおられる、これで充分なのだ」と。そしてかれはまたこう祈る。「神よ、神よ、あなたは保護者、あなたは守り手であられる。支え手であり、大いなる、ほめたとうべきお方、あなたは私を満たしてください。アーメン、アレルヤ」。

またある時、ひとりの兄弟が迷いに落ちこみ、フランシスコや他の兄弟に反発していた。聖人はいつもこのように膝まづき、「主なる神よ、私はかれにとつて耐え難い存在になつてしまいました。あなたは私の友を私から引き離してしまわれた。ああ主よ、私の祈りを聞いてください。私に従う者が暗闇の中を歩まないために、かれらのゆえに私をあれこれと苦しめてください」。

やがてこの兄弟が光を受け、魂の平安を見出したと知られるや、フランシスコは喜びの余とび上つて「神は賛美されまうと」

のパンしか持ち帰らなかった時に、も、かれはいつも同じように神を賛美し歌いつづける。

聖フランシスコの祈りには、兄弟に送った「神の賛歌」や自然界にみえる神の力を賛える「太陽の歌」、多くの人に親しまれている「平和の祈り」があるが、これにとつては苦しみも喜びも、すべてが神に心を向かわせるもので

アシジの聖フランシスコの精神によつて創立された会には、男子修道会（第一会）、その弟子聖女クララの創立した女子修道会（第二会）、そしてその他の修道会および俗世間のなかについて、彼らと同じような生活をしたと望む人たちの会、すなわち第三会がある。

この第三会創設のきっかけとなったのは、イタリアのトスカナ地方で、聖人と青年時代の友人であったルケシオという一人に出会ったことからはじまる。この人はけちで有名であったが、聖人の言行に深く感じて、地上の財産に対する執着を捨て去り、貧者に対して天愛と慈善につとめた。その上妻のボナ・ドナは聖人に向つて、自分たちの身にふさわしい生活の規則を授けてくれるように願った。聖人はこの夫妻の要請に答えて、既婚者たちにも世俗について福音的勸告に従い、完徳に達する方法を考へ、褐色の質素な服と二条の組とを与え、これを身につけて聖人が口授した規則を守るよう命じた。

これが第三会の起源で、指導ルケシオは最初の第三会員であった。

歌日記

侯野 衛

梅雨の雨止み（香れゆく川の岸花あじさの紫の芽ゆき空と海交る渾りつわりきて波砕け散るわが立つ岩に雲低くけは散るる貴賓臣岸あへて登りき四十年前（雲仙一首）谷城ひ動きくる霧たちまに山ほつし咲く斜面をぞぞ

であった。また有名ダンテやミケランジェロもつづである。

第三会といつても二種類あつて、マリアの宣教師フランシスコ修道女会のように学校や病院ではたらく修道会もあるが、ここに言及するのは在俗の第三会のことである。福岡では高宮教会に第三会があり、現在ルカ神父の指導の下に会員二十三名、毎月第三日曜の午後二時からミサ、説教があり、今はずっと黙想の仕方について種々の観点からお話を伺つてゐる。会員はスカラリオ（署いとき）は金属製の、キリストかマリアか

「マルタ」に

託す母の願い

セミの声にとりまかれた佐賀教会で。去る八月一日、日曜日のミサの途中、マルタの聖母で幼児洗礼が行われた。

フランシスコ第三会のこと

堂々催された時、自らの聖堂に行き次のように言われた。「愛ある子よ、私はここに集つた聖フランシスコの平和の軍団に俗第三会に属する人々に心からお祝いのことを申し上げます。『私はあなたがたの兄弟ヨゼフです』（創世記45）と叫びながら私は喜びを禁じません。私も十四歳の若い頃から第三会員です。』

日本においても、第三会の歴史は教会の歴史とともに古く、二十

フランシスコのメタイに代えることが許される」と紐を絶えず身につけ、毎日主務文、天使祝詞、栄讃を十二回となすか、または聖務日課となす。月に一度の集會に出席する。その精神としては完全な福音的生活の実行に福音宣布を目標としているが、清貧を成すの土台として、その姉妹ともいふべきものが従順と謙遜である。

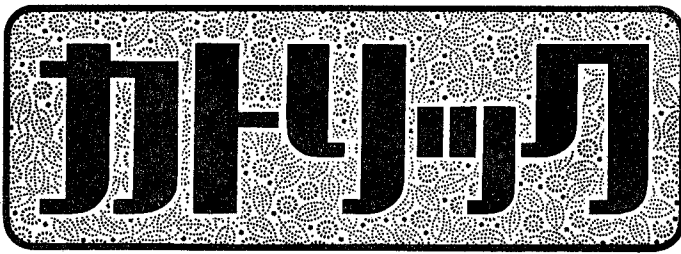
従順については、神の代理者やこの世の権威者に服従し、謙遜については、みずからを小さき兄弟

吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四角 TEL 521-0568

建築設計監理
教会・修道院・学校・幼稚園・他
菅建築設計事務所
所長 菅 種雄
福岡市中央区警固3-11-14
TEL 092-741-8852



平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通
福岡司教館
兼 深堀 敏
編集 電話092-522-5139
振替口座 福岡42981
定価 一部 20円

共同訳聖書作成
資金報告
昭和四十七年五月より昭和五十一年九月現在までの共同訳聖書作成資金として、この編集部を通じてエクメニスム委員会に送付した金額は、三六一・八〇〇円です。今後とも皆さまの協力を願います。(編集部)

近く「ゆるしの秘跡」

新儀式書公布

七秘跡の典礼文国語化と順応終る

これまで「告解」の名で親しまれてきた秘跡が、「ゆるしの秘跡」という名称のもとに改訂され、新しい姿で公布されようとしている。司教協議会のなかの典礼司教委員会の発表では、日本語の改訂儀式書、信徒用の手引書の印刷、ゆるしの秘跡定句(司祭がとなえるゆるしのこぼ)にたいするローマ聖省の承認を待つ、この11月末、待降節の第一主日から全国で実施できる見込みである。第二バチカン公会議の典礼憲章に従い、ミサ式からはじまって諸秘跡や儀式の日本語による新儀式書がつぎつぎ実施されてきたが、七秘跡の典礼文および式次第の刷新は今回の「ゆるしの秘跡」で完結する。

ゆるしの秘跡の刷新

この秘跡の本質は、神が教会を仲立ちとして回心する信者の罪をゆるすことにある。この本質を守りながら教会はどのようにゆるしの秘跡の典礼を刷新したのであろうか、そのおもな点をあげると、

① 神のよみかけを強調

この秘跡はまず回心へと信者をうながす。回心(時として改心)とは心と生活全体が神に向き直るという意味である。キリストは福音宣教のはじめから神に立ち帰るとよみかへる人々に呼びかけられた。それに答える人間の側からの態度表明が洗心で、そのあとで罪をおかした神から離れた者がまた神に心を向けゆるしを願う場が「ゆるしの秘跡」である。したがって神からの呼びかけを真剣に受けとめることが先決であり、今回の刷新は回心をなす神のこぼが重要な役割を演じる。

② 回心は三位一体の神のめぐみ

回心は神に立ち帰ることであるが、それは父である神のあわれみ、御子キリストの死と復活の神秘、そして聖霊の働きである。三位一体の神が私たちを(自分のもとに引き寄せ、神のいのちを注いでくださる)、罪をゆるさる神と和解できるのである。

③ 教会との和解

この秘跡(私たちは神に受け入れられると同時に、教会とも和解する。罪は神への侮辱であり、そして教会を傷つけるものである。神秘体に属する私たちは善を行うにつけて、罪をおかすにつけて他の兄弟たちとの連帯を無視できない。

儀式の簡素化

今回の刷新のもつひとつの特徴は、従来の式に比べて簡素になっている点である。

創立四百年、宣教五十年

そして来日二十五年

聖心のウルスラ修道会三重の祝い

聖心のウルスラ福岡修道院(福岡市南区大字塩原)で、9月4日午前10時30分同会の創立四百年、外国宣教五十年、来日二十五年の三重の記念典礼がおこなわれた。感謝ミサは平田司教、大分教区の平山司教、深堀司教のほか十一人の司祭、さきげられ、ベラウイ・ティ総長の代理、ボンバート現管区長、タボ二日本初代管区長ら

のほか、市内の各修道院のシスター、会員の両親、園児の父兄ら多数が出席して、神の導きと恩恵の援助に感謝の祈りをささげた。ウルスラ修道会は一五七五年イタリアのパルマ市でマクダレナ・モリナリ修女によって創立され、貧しい子ども達の養育に献身、また一方社会に大きな影響をもつ貴族の子どもの教育にも当たっている。

司祭のもとに進み出た信者は、①初めに神への信頼をつなぐこととは、のあとに聖書の一節を聞く。②罪を告白し、助言をうけて、償いを与えられる。③信者は神にゆるしを求める祈り(従来の痛海の祈りに相当する)をとなえる。④司祭は信者の頭の上に手をのべて、ゆるしのこぼをとなえる。秘跡の中心をなすこのゆるしのこぼはつぎのとおり。全能の神、あわれみ深い父は、御子キリストの死と復活によって世を(自分に立ち帰らせ、罪のゆるしのために)聖霊をそがれました。教会の奉仕のつとめを通して、神がゆるしと平和をあなたに与えてくださいますように。わたしは父と子と聖霊のみ名によつて、あなたの罪をゆるします。

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有) シオタ事務機・(株) 日本幼児社

福岡市南区大楠2丁目23-15(西田ビル2F)
TEL 521-5327 TEL 522-0988

土地と住いのコンサルタント

(有) 若葉不動産

福岡県筑紫野市本町西鉄二日市駅前
代表者 アツシジ・フランシスコ
松本 友則 0929245833夜07476

育てたい愛の活動団体 聖ビンセンシオ・ア・パウロ会

聖ビンセンシオ・ア・パウロ会（SVP）の第十三回日本全国総会が、「私たちのこれからの働き 福音化について」をテーマに、8月21日から3日間大阪市のなにわ会館で開かれ、福岡中央理事会からも山田耕司さんら数人が参加して活動報告と研究討論をおこなった。

ビンセンシオ会はフランスの二信徒、パリ大学の教授オザナムによって創立された愛と慈善の組織団体で、すでに百年以上前から信徒の使徒活動として世界的なひろがりでも大きな貢献を果たしている。福岡教区では戦後に創設されて、学生や青年層にその献身的愛の実行をおして福音の精神の養成の効果をあげた。ある時期には会員も数十人に達したが、現在は三十人を切るという状況である。しかし地味ながらも永続的な活動によって社会の中に福音のめくみを浸透させている。教区内のいくつかの協議会の具体的な働きを紹介しよう。協議会とはこの組織の単位団体で、小教区や学校に生まれた団体がそれに相当する。

人から顔をそむけず

手取協議会

毎日曜日ミサのおく、十二時半から十二時半まで、オフライン・神父を囲んで集る常連会員は、男子三人女子二人の計五人。随時参加する会員もあるし、対象家庭の誰彼も同じ会員として参加する。で、五、六人からときには七、八人への集りとなる。楽しい中食のあとが訪問。むづかしい事情に出合ったら、週日に会員の誰かが処理する。

数ヶ月前から、カネキスタのシスターが普通の会員として、信徒と少しも隔りのない常連になつて、訪問活動の先頭に立ち、集会毎の報告では、深い谷間に思

いがけず見つける花のような嬉しい便りが聞かれることもある。最近のことを拾って見ると……

- 一、永年教会を離れていた老人が、入院先で秘蔵を受けているようになった。
- 一、浮浪者のための部屋を借りることに成功した。
- 一、未洗者の婦人が、死亡の一週間前に、はつきりした意識の時に、洗礼を受けた。
- 一、ある病院を訪問したら、目の病人の他に教会と連絡のない信者がいた。
- 一、一番嬉しかったのは……放浪癖のある浮浪者が、長崎で交通事故に遭って、頭に応急手当のままで本家の私たちを頼って来てくれて、入院させることが出来たこと。

会員は二人でも

久留米協議会

久留米協議会は昭和23年阿武保邸先生を中心に組織されたカトリック学生連盟を母体として発足した。これまで井手（一郎）、今村、篠崎氏が会長をつとめてきたが、あの昭和28年の久留米大水害に際しての会員の活躍ぶりは、今でも語り草になっている。しかし生活が豊かになると人はみな多忙になるのか、あればと盛んだった当地のSVPも現在では

会員一人にすぎず、灯を消さないだけの細々とした活動である。常時心がけているのは入院患者の見舞い、家庭にいる老人、病人の援助で、主任司祭の手足をたすむように努めている。私どもの手のたたりぬときは好意のある方々に協力してもらい、なるべく手を抜かないようにしている。

「復活祭やクリスマスのことには、教会の信者さんからの献金や見舞品をたくさんいただけるのでいくつかの施設や行きつけの家庭に贈ることが出来る。もちろん普通のときは見舞品を持参できなくても、訪問回数をふし、話し相手になって力をつけるようにしている。

どんな事態にも 対応できるよう

光ヶ丘協議会

SVP光ヶ丘協議会の設立は昭和44年12月、本年5月中旬現在までの例数数は二百七十九回。会員は男子八人、女子六人、この他に寄付会員が二十六人。毎月第二日曜日の10時から12時まで例会を開き、会員の聖化をめざして共同体を作り、どんな事態にも対応できる心構えの訓練をめざしている。

訪問活動としては定期的なものも現在は少ないが会員の身よりの老人、病人の世話、とくに身よりのない人の世話は続いている。緊急入院を要する人の場合、医師会員が九大付属病院に入院させたことがあり、当医師がついて面倒を見、必要に応じて他の会員が援助している。

また派出看護婦である会員は、世話をしている病人が生活保護、医療保護の受給者であれば、なかなか身寄りの助けが得られないので、代って奉仕しているが、会員自身が多忙すぎるので会の方から必要な衣類などを届けている。ある会員は結婚の世話をしてい。ある一組は夫婦とも身体障害

年間を通して 充実した活動

明光学園協議会

SVP明光学園協議会は、現在職員一人、高校生（女子）九人で構成され、本年度は会長以外はみな未洗者である。学校内ではクラブ活動のひとつになっている。

定期的活動としては、①毎土曜日の午後、学園から徒歩で三十分の所にある銀水園の重症心身障害児施設で、飲食物の授与、おむつの交換、運動の補助などの奉仕。②長期療養者や、両親が養育した家庭の訪問。③高校生の月謝援助などである。もう十五年間も連続訪問している家庭があり、すっかり気持ちが通じている。銀水園へは、学校の行事がないかぎり休まず、嬉々として通い、現場の職員方から指導をうけながら、病人たちに姉のような愛情を注いでいる。

毎週一回例会をもち、協議、洗濯、つづいて、ベルマークや古切手の整理などをする。不定期活動としては、全校生や職員から寄託される中古衣類（新

者、しかも教会から遠方に居住しているの、常に電話で交わりを保ち、信仰的なふんいきを伝えるように努めている。なお過去に訪問していた人が亡くなったとき、遺骨を引きとり教会の納骨堂のSVP所有の場所に安置して祈りをつづけている。そのケースはすでに三人ある。

品間様の物も多いを、年に三十四回ずつ、インドおよびフィリッピン、インドネシア、山奥の貧困者へ、現地のカノッサ修道院を通して贈っている。

年三回の学校休暇中には大洗町の清心愛園へ訪問し、また大牟田市内の精華施設あけぼの学園、りんどう学園にベルマークや中古運動靴、衣類などを贈る。10月の赤い羽根、12月のクリスマス助け合い街頭募金運動を、一般生徒の応援をうけて実施。また大牟田市役所から大量に寄託される古切手を分類し、アイルランドに送って換金し、それをアフリカの困窮者に送っている。

活動資金は、定期的には生徒の中食弁当の依託販売の利益（一円ずつ）や会員の献金で、臨時には一年一回の校内慈善パーティーの利益、廃品回収、卒業会員の寄付などである。このように全校生徒、職員、修道院の理解と協力が大きく、SVP会員はその手足となって働いている状況である。悩みは会員として訓練された時点で卒業してしまつた。

信託併営
大和銀行
福岡支店

福岡市博多区店屋町6番18号
電話 代表 092 (291) 3231番

片山無線

Francisco Katayama
TEL 781 - 2729

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23
TEL 771 - 3657

大牟田明光学園創立25周年

カノッサ修道会経営の女子校

大牟田明光学園(大牟田市倉永シスター山崎トミヨ校長)は、創立二十五周年をむかえ、11月1日から種々の祝典をおこなう。まず1日は外部からの招待者、生徒と父兄が出席し、記念式典があり、式後新校舎を披露する。3日と4日は学園祭。12月11日は大牟田市民会館で九響巡回演奏会をひらく。団伊玖磨氏指揮による九響のシンフォニー演奏のほか、九響のオーケストラで、十九回卒業生の橋爪多志さん(東京芸大ピアノ科四年在学)のピアノ演奏などもあつた。



山崎トミヨ校長

イタリアに本部をもつカノッサ修道会のシスター数人が深堀司教の招聘で来日し、有明海に臨むこの地で創立したもので、本館一階建てが竣工して高校と中学が学校法人として認可された。同4月に第一回入学式があり、初代校長にテレジナ・フランゲリ修女が就任。つづいて講堂と校舎の増築をすめ、創立十周年に際して体育館と三階建て特別教室を、また今回の記念事業として中学校、南校舎を三階建てを完成した。

山崎校長は創立記念にあたり、教育環境の整備もさることながら、人づくりの教育にいつそう真剣に取り組むと、強い決意をのべている。国内の姉妹校は鹿児島県大口市の明光学園、外国には四巨六十校以上あるが、英国ロンドンのマーテル・ディ・スクールへの短期留学制度があり、今年春も四人が出かけている。また外国人留学生も毎年数人ずつ受け入れている。校長以下専任教諭は四十四人、生徒数は九百人、(写真は明光学園本館)

中浜神父帰国

セン・スルピス会の中浜一男神父は昭和47年9月から聖会法の研究のためのローマに留学中であつたが、去る8月に帰国、9月から福岡大主教区教授として神学生の養成にあたる。

福岡大神で召命の集い

福岡大神学院では、11月3日午前9時20分から午後3時まで、対象は小学生高学年、中学生、高校生男子。父兄も参加できる。スライド上映、召命祈願ミサ、レクリエーション、話し合い、父兄のための講演など。

会合と催し

10月のスケジュール

◎平田司教
4日・6日 福岡教区修道女連盟(福岡市遠洋荘)に出席

11日・16日 教区邦人司教懇談会

17日 本渡教会総会

24日 大牟田教会総会

◎黙想の家
11日・16日 教区邦人司教懇談会(クラウス神父指導)

18日 バプティスト教会宣教師の集い

18日・23日 大分地区サレジオ会社司教懇談会

20日 日基督教団船寺教会婦人の黙想(内山神父指導)

23日・24日 宇都宮教会婦人の黙想

28日 福岡地区カトリック婦人の集い黙想会

◎レジオマリエ

9日・11日 熊本クリアの黙想会、阿蘇ルーテル山荘、伊藤隆神父指導

◎共助組合結成会
9日・10日 下関市の上智大社会経済研究所下関労働教育センターで、福岡教区信徒協と共助組合連合会との共催

◎CLC九州大会
9日・11日 別府市明聖学園でリバス神父指導

熊本天使園に里帰りの家

熊本奥菊池郡西合志町の「熊本天使園」(幼きイエス公衆衛生シスター松永恵子園長)に、園出身者たちが「里帰り」する際の宿泊施設が落成した。木造モルタル平屋建て約二百五十平方メートル。七部屋で一番広いのは十七畳食堂・浴室のほか茶室もある。二十一年間に集立つていった百七十八人が家族連れで里帰りして気がなぐ泊れる。

地の塩

模範生タイプの紳士

大名町教会教会委員 大谷真造さん

がある。

現在三菱電機長崎営業所の課長をアーマに、見る、判断する実行する、ということを教育された。職場でキリストの教えについて話したり、同僚を教会に導いたりしたのもこの頃です。

『週に一回、たとえば環境問題やアーマに、見る、判断する実行する、ということを教育された。職場でキリストの教えについて話したり、同僚を教会に導いたりしたのもこの頃です。』

『活動らしい活動のできた時機で、あの頃がいちばん充実していた。』

『活動らしい活動のできた時機で、あの頃がいちばん充実していた。』

『活動らしい活動のできた時機で、あの頃がいちばん充実していた。』

『活動らしい活動のできた時機で、あの頃がいちばん充実していた。』

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306
52-8622

体の中から美しく……
天然オリブ油・自然食品
ローヤルゼリー

十粒 ナチュラル

(店) 熊本市下通1丁目4-8
TEL 54-9161
(自) 熊本市東子銅3-5
TEL 43-4043

石のパイオニア 高木石材株式会社

営業種目 {外国産石材輸入加工販売
大理石・御影石・各種石材
〒860熊本市段山本町2-21 TEL 52-2417
工場熊本市花園町41 TEL 56-0170
(夜間) 64-6781

フランススコ会と日本の教会

伊藤 隆

現在、日本各地で千百人以上の外国人カトリック宣教師が布教のために活動している。私たちは生まれ故郷を捨てて異国の人のために命を懸けて、献身している人たちの姿に頭が下がるばかりである。

これはアシジのフランススコの婦人七百五十年にあたるが、この聖人は外国宣教師を愛する業として非常に熱心に推進し、かれのおかげで中世以降布教は教会の公けの事業となった。したがって今日でも聖人の心を受けつづけるフランススコ会修道者は布教に特別な熱意をそそぐのである。

フランススコ会（正式には小き兄弟会）とは、フランススコ会コンベンツアル会、カフチン会という第一会、それに第二会のアトメント会をさむ総称であるが、ここでは資料の都合上最初にあげたフランススコ会日本の教会とのかかわりを述べることにする。

フランススコ会の日本布教は遠く豊臣秀吉の時代からであるが、この時代のことはいろいろ本も出版され、読んでいる人も多いと思ふので、それらに譲るとして、日本再布教の明治以後のことから始めようとする。フランススコ会が再渡来したのはついに明治40年

のことである。

日露戦争が終ったころ日本教会は四つの司教区に分割され、パリ外国宣教師会が全部を引きうけていたが、司教不足と広い布教範囲で悩んでいた仙台教区のペルリオス司教は、北海道一円の布教に従事してくれる宣教師を求めて、一



高宮教会のフランススコ像（木彫）

九〇五年（明治38年）ローマに旅台をもちつて寒い所に暮らした。同司教から相談を受けたフランススコ会総長アイオニオ・シユール神父は、三人の司教を派遣することを承諾し、司教の希望どおりよりあそふ外国語教授としてキノルド神父（ドイツ語教授、フルダ管区、のちに札幌教区の初代司教）とベルタン神父（フランス語教授の二人が一九〇七年一月に来日した。同年春には英語教授としてカナダ人司教一人と修道士三人が加わった。一行は

札幌に布教の根拠地を定め修道院を建てた。そのあと毎年数人ずつの司教や修道士が来日し、布教陣は整っていったが、土地の気候はきびしく物資の欠乏と寒気の中で口に表わせない苦労をなめたらしい。ある司教は日記の中でう記している。「ここは雪が沢山あって、とても寒い。家はまったく日本風で、ほつぽつから隙間風が吹きこんでくる。クリストフ神父を暖房設備のある部屋に住ませ、私は瘦

一九一〇年になつて千島・樺太の布教にも着手したが、南樺太はもともと重罪人の流刑地で悲惨な生活の人が多く、こゝでも布教の成果はあがらなかった。

当時の宣教師は「文書と教育事業」を布教の手段として大いに活用した。とくに前者について述べると、一九一五年「光明」という週刊誌を発行し、千部印刷のうちに四百部は無料配布であったが、今ではマスコミ伝道のはしりである。光明はドイツをはじめ北欧の文学事情なども紹介する特異な宗教週刊誌であったが、三十五年つづいたあと廃刊となった。

また「神父の邦訳ミサ典書」、カトリック大辞典の共同編さん（富山房発行）、ノル神父の神秘学や要理教育の諸著作、フライン神父の独和辞典（この仕事でドイツ本国から鉄十字章を受

賞）、麥り種としては、あの映画「第三の男」で一躍有名になったチャターノ神父がおり、フーベル神父はアイヌ研究家として知られている。

聖書訳の分野では、光明社から旧約聖書の文語体全訳の出版があり、現在はフランススコ会聖書研究所から全聖書の原文批判による翻訳を進めている。北海道のフランススコ会宣教師の活動であまり知られていないのは、農業への貢献であらう。

北海道は青森県と並んでリンゴ栽培の本場であるが、このリンゴをほじめて北海道で栽培したのは、植物学者として世界に名の知れたユルバン・フォーリ神父で、今も北大理学院の一室にかれの肖像画が飾られている。ほかにカリスやグスベリなどの果実も宣教師が導入した。

創刊された『季刊創造』

キリスト者の文学者を結集

カトリックの文芸評論家として活躍している武田友寿氏を編集長として、キリスト者の作家・評論家を結集して、季刊雑誌『季刊創造』が創刊された。B5版変型の縦長の雑誌で、『小国天へのアプローチ』を特集している。

キリスト者の雑誌がこんな形で世に出るのは、わが国ではおそろしく初めて、それだけに遠藤田毅一「史譚・天正遣欧使節」北森嘉蔵「ローマ人への手紙講解1」、神吉敏三「キリスト教と美術1（受胎告知）」など。内容にも充実したものが見られる。創刊号（〇八）

師が移植したもので、蜜蜂の飼育の指導にもあたった。

九州における活動がふりについて私の手許に資料が少く、正確なことは述べられないが、一九二一年鹿児島県はカナダ管区に託され、以後十五年間布教に従事した。その間長崎市に小神学校を設立、現在その建物はフランススコ病院になっている。ちょうど二十五年前に志願院ラテン語学校小教区が福岡市高宮におかれ、志願院は十五年間その使命を遂行し、五十四人の司教の温床となった。

現在日本には十二のフランススコ会管区（八ヶ岳管区）があるが、種々の問題から日本管区として統一する動きがある。長年外国からの宣教師のお世話になつてきた日本人フランススコ会員が、ようやく自分の足で歩きはじめるところが、つよく奮起をうながされていくのを感じる。（高宮教会司教）

が、一般信徒に面白いのは「わが文学が信仰」で、とくに矢代氏の「いま言った、ぼくが四十の坂を越してからは、神にひれ伏すしかない」とは、念のため注釈をつけると、ぼくはぼろぼろに信仰があるけど、護教文学はいやなんです。そしてカトリックと自分の文学を結びつけるなら、書き加えたいな。そのため矢代は不信だと言われている、びくともしないでやりますよ。』という発言には、この人の文学と信仰に対する心構えが見られて興味深いものがある。（『季刊創造』創刊号、聖文社発行、二五二ページ、九八〇円）

建築設計監理

教会・修道院・学校・幼稚園・他

菅建築設計事務所

所長 菅 種雄

福岡市中央区警固3-11-14

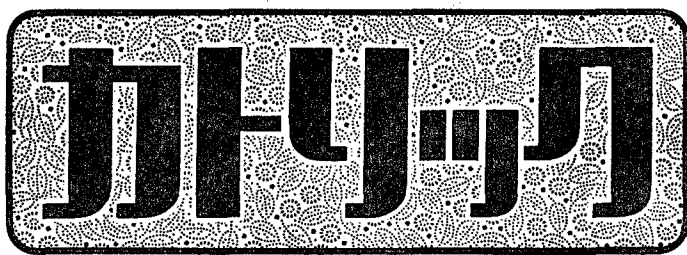
TEL 092・741・8852

吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四角

TEL 521-0568



平田 司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通
福岡司教館
兼人 深堀 敏
編集 電話092-522-5139
振替口座 福岡42981
定価 一部 20円

共同訳聖書作
成資金募集
一、募金額 五百万円
一、方法 一口五百円
一、送り先 本誌編集部

若々しい教会への展望

教区創立50年の好機を生かそう

福岡教区は来年創立五十周年をむかえる。長崎教区からの独立は昭和二年であるから、本教区は昭和の時代と歩みをとどめたことになる。この11月には天皇陛下の御在位五十周年の記念式典が国民的祝祭としておこなわれるが、私は教区誕生五十周年の区切りをまた別の心でむかえたい。

福岡教区は若い教会である。福岡・佐賀・熊本三県の総人口六百八十八万人にたいし信者数は二万五千人こそで、外部にむかつての発言力は無に等しい。邦人司祭の数も既存の小教区や宣教分野に比し余りに少なく、外国からの宣教師、それに伴う経済的援助に大きく頼らざるを得ない有様である。それにもまして根本的な弱さ

は教区民全般の信仰的伝統(あるいは信仰把握)の貧困にあると考えられる。五十年という歳月は信仰の共同体にとって十分に長いものではない。生きた信仰がこの土地にしっかりと根付くには、人間の側からの計画と活動によらざるに、時間という自然の法則に負うところが多いからである。

このような教会基盤の弱さは福岡という一教区だけのことでなく、日本の全教会の姿に他ならないとしても、私たちは自分にもっとも身近な教区ありのままの

状態、その弱さと貧しさを直視するのを怠ってはならない。

しかし若い教会であるからこそ私たちはこれを「若々しい教会」にすることも出来るのである。若さは弱さを内に含むにしても将来に大きな期待をかけることは許される。若々しい教会への願望が真剣なものであれば、今私たちが何をしなければならぬかも見えてくるのではない。そしてそれは何か具体的な行動、形あるものを生み出す努力に向う場合にも、最も高にめざすのは、これから先、いつまでも、私たちの教区が神のいのちに溢れた共同体として、この国の中に生きつづけるということである。

教区の将来の展望については聖職者やある特定の人たちが考えるのではなく、教区民ひとりひとりが共同体の立場から一緒に作り上げていきたい。教区創立五十周年記念は、ある日ある所で祝典行事に終わらせていいものではない。この年を期して、みながこの教区を「おとなの教会」へと成長させていく責任にめざめるチャンスにしたいのである。

この機会に教区広報室からお願いをしておきたい。それは各小教区、修道院その他諸施設の創立以来の歩みを、できるだけ正確に記

述する作業よりかかっていたたことである。

最近いくつかの小教区でもそういう内容のりっぱな成果が出版されている。経験ある人ならば分ることであるが、確実な資料にもとづいて過去を正しく再現するのはかなり困難な仕事で、短時日では無理である。司教館の事務室や個人宅で保存されている書き物、写真のほか、ずっと昔のことをよく知った人たちの記憶を掘り起こすことも必要である。ぜひ各小教区でしっかりと編さん責任者をきめて早急にこの仕事に着手していただきたい。この作業と併行して教区全体の歴史の編さんを進め、

明年の創立五十周年を期に教区の変遷と成長のあとをまとめることが出来れば幸いである。
(教区広報室)

移住の献金 9月12日

町通 43,860	司港 16,000
名水 15,250	門司 8,000
箱崎 5,000	司港 30,898
東島 10,902	小湯 28,101
西島 8,100	新原 39,500
吉新 15,005	戸原 31,273
大塚 8,405	若松 10,000
茶山 8,250	天神 8,000
光丘 19,902	八王 5,000
美島 10,000	黒崎 22,000
高宮 10,500	黒巻 7,000
老司 10,500	黒飯 3,650
古賀 6,369	飯塚 3,700
二日 6,000	飯田 3,530
久米 21,700	行手 10,061
今村 50,200	荒尾 42,000
小野 2,185	吉人 6,000
本郷 3,200	健人 4,100
大田 10,500	健本 10,000
牟田 7,827	渡江 4,420
馬島 7,900	水俣 12,000
呼子 5,400	大島 6,900
佐賀 10,000	水崎 8,630
伊万 3,000	島崎 32,500
武雄 4,500	池津 15,000
鳥島 3,635	代計 12,750
鹿久 1,000	715,524
多津 3,280	
唐津 6,000	

阿蘇でレジオ黙想

レジオマリエ熊本クリアの会員二十人は、体育の日の連休を利用して三日間、菊陽村リトル山荘で黙想会をおこなった。レジオがこれまで果してきた信徒徒行に、これに新しい展開をこころを中心に黙想。指導は高宮教会の伊藤隆神父。

修院長研修会

福岡教区修道女連盟主催の修院長研修会は十月四日から六日まで、二十三人が参加して福岡市の望洋荘で開かれた。イエス会の前日本管区長の林信徳神父が講話と指導に招かれ、長上の権威と奉仕、清貧と共同体、これからの共同体の三点が取り上げられ、平田司教もミサを司式した。

山口愛次郎大司教帰天

もと長崎教区長・山口愛次郎大司教は、去る九月二十四日午後十一時七分、長崎市の聖フランシスコ病院で肺炎のため帰天した。八十二歳。葬儀は二十七日午後二時から浦上天主堂で行われ、主司式で教区長を辞任、大浦の大司教、副司教の共同ミサを各教区の一室で余生を送っていた。戦前から戦後にかけての激動期に、日本教会の最高責任者のひとりとしてその歩みを指導するた山口大司教は明治二十七年長崎市橋口町に生まれ、大正十二年十二月ローマで司教叙階、長崎県下た。

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有) シオタ事務機・(株) 日本幼児社

福岡市南区大楠2丁目23-15(西田ビル2F)
TEL 521-5327 TEL 522-0988

土地と住いのコンサルタント

(有) 若葉不動産

福岡県筑紫野市本町西鉄二日市駅前
代表者 アツシジ・フランシスコ
松本 友則 09292④5833夜⑦7476

要理教師(カタキ)の課題と悩み

来年ローマで開催されるシンドス(世界代表司教会議)は「現代における教理教育、とくに児童と青少年の教理教育について」をテーマとする。すでにその準備作業が始まっているが、これは福岡教区でも見逃せない課題である。カトリック新聞十月三日号もこの問題をとり上げ「全世界が教育問題に腐心している。伝統的な教育体系では十分と見えてくる一方、新しい教育体系はまだ確立していない。教会も市民社会と同様、自らの領域、とくに新しい世代の教理教育の領域でこの不如意を感嘆している」と書いている。いまこそは子どもに信仰の教を伝えるカタキスタ(要理教師)の問題の一面を、いくつかの小教区から得た情報をもとにまとめてみよう。

要理教師の数の不足

子どもの要理教師として一番多いのは修道女、教会経営の幼稚園の先生の順、次が一般社会人(主婦、教師)ら、男女大学生で、専門のカテキスタは少ない。一方直接子どもに教えている司祭はまれで、それも子どもの集まりが土曜午後、日曜午前ミサ後に集中しているせいだ。かなり多くの教師をかかえている教会でも十分だと

いえる所はなく、都合で一人でも休まれると代用がない状態。レジオが盛んなところは会員が積極的なこの任務を果していたが、今では教師の絶対数の不足は深刻な悩みとなっている。一人で小学生全員を導いている例もある。

養成場がない

教師の大部分は自分の受洗前後に学んだことをたよりに、その乏しい知識と間に合わせの補足勉強だけで子どもに教えている。十分な養成をうけてから教師になるのではなく「しながら慣れる」ほかない。毎週平日に教師会をもち、カリキラムなどの打ち合わせをする教会もあるが、年に二、三回程度というのが普通のような。教区単位の研修会もなかなか参加できず、地区単位のものは少ない。三つ四つの教会が合同で研修する所はあるが、小教区毎のきめの細かい教師会を望まれている。しかしそれも養成をめざすよりもカリキラムや行事の検討のほうが時間がかかっている。この養成は何をめざすかについて、本年二月東京の要理教育担当者会議では次のような意見が出されている。「カタキスタが(福音の)メッセージを十分に理解できるように、例えば神学講座などを利用して教義的養成

をする必要があります。ただし」の教義的養成は抽象的なものでなく、日々の生活に結びついたものでなければなりません。また必要なのはそれが部分的知識でなく総合的な知識であることです。すなわち「基本線」の明確さ、および適当なバランスも必要だとい

わたしが勧めたいのは、まずカタキスタ同志で「分かち合い」をすることです。あの教会では月二回「教師会」をひらき、そこで自分がどうあるべきかを話し合うことにして、もう三年以上になりました。はじめは子ども達にどう教えるのか、カタキスタはどれがよくなるのかなど点にはかなり話題がむいて、もつとも大切なこと「自分は今どうあるのか」を深く考える余裕を持ちませんでした。

分かち合いの実行を

よい要理教師となるために

「信仰教育とは、教えること、おぼえさせること、しづめること、それがすべてだと思っている人はひじょうに多いようです。学校での学習のようであり、幼い時から信仰教育をうけてきた子ども達に、中学を卒業する時期にな

要理テキストの悩み
教師にとって子どもに要理テキストを持たせることは望ましいのだから。じつは殆んどどの教会が「持たせていない」と答えている。ただ初聖体準備の子どもに長崎教区発行の「神さまのこころ」がよく用いられ、また持たせている教会では同じ長崎教区の「カトリック要理」の名をあげ、過去には横浜教区の「三供のためのカトリック要理」がもっとも歓迎されてきた。

子ども勤労者は祈りの中でよくも美生活の中で神とよく出会えるかも知れません。もちろんだれにとっても祈りを度外視することは許されません。私たちの神体験は聖パウロの回心のよう、に劇的なものではありませんが、神との出会いをつみかさねることが大切なことです。そういう深い体験をすでに豊かに貯えている人を見ると、自分のほうがかたがたと、人前で口を開くのがおこがましく恥しいと感じます。でもそのように取るに足りない体験であっても、みなと分かちあふとすると積極的、単純で、素朴で、子ども達の前にカタキスタとして立つための前提条件と言えます。

ただ私には仕事にかなり関わられ、自分を失い、神との接し、必要な信仰の敏感さまで失くしてしまわないよう警戒いたしましよう。(角田武次郎、光ケ教会)

神との出会い体験

CLC九州大会

世界的な信徒の霊生運動であるCLC(キリスト教生活共同体)の第二回九州大会は、十月九日夜から十一日午後四時まで別府市の明星学園で開かれた。九州各県から約百十人の司祭・信徒・修道女が参加したが、福岡教区からは青年層を中心に約四十五人が元気な顔を見せた。

今回のテーマは「出会い」で、福音書に見られるイエスとある人たちの出会い、私たちと神との出会い、見知らぬ者同志の出会いについてグループ毎に話し、出会いを深めるに必要な心構えを求めながら祈り、黙想した。CLCは信徒が日常の社会生活の中でどのようにキリストの福音を実践するかを探していく共同体的運動で、信徒の境遇にかなった霊的生活の向上をめざす。

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23

TEL 771-3657

信託併営

大和銀行

福岡支店

福岡市博多区店屋町6番18号

電話 代表 092 (291) 3231番

片山無線

Francisco Katayama

TEL 781-2729

一致を求め感謝こめて聖体大会 今村教会で筑後地区合同の祭典

福岡県筑後地区の久留米など七ヶ市町の聖体大会は、十月二十日四日大洗町の今村教会で盛大に挙行された。地元をはじめ福岡・佐賀・熊本から約二百人の信者が、聖体のイエスのもとに一つに集って収穫のめづみを神に感謝した。

定刻一時半平田司教と十二人の司祭が入堂してミサ。大神学生を中心に全員が「一つになろう」の聖歌を斉唱、説教のなかで司教は「聖体の秘跡にましますイエスに結ばれて、みな一体となろう」との主旨の招きを、心から受け入れた。

ミサ後聖体は司教の手に奉持され、長い長い行列は部落の家並をぬい、やがて黄金色の波をうつつ田の中をゆつくり進んだ。午前中までつづいた雨も止んで澄んだ空からやわらかな日射がもれ、自然界も神を賛えるかのよう。五十分後聖堂にもどり聖体を賛美して三時半から、盛大な聖体行列は行われ、今後は信者全員が心から受け

願いが久しかりになつたという喜びがあふれた祭典であった。(写真見田のあいだを進む行列)



サンモール会の3修女 誓願50年を祝う

十一月三日午前十時から福岡サンモール修道院(中央区御所ケ谷)で修道女の誓願五十年(金祝)を祝う集いがある。金祝をむかえたのはシスターフランソワーズ(イタリア人)、マルセル・カタリン(白田の三人、東京や横浜の修院からも喜びを共にする人たちが集まり、感謝のミサがさげられる。

シスターフランソワーズは一九〇〇年十一月生まれ、イタリアで初誓願を立て、一九三三年来日、翌年福岡に学校経営のため修道院の創立と同時に当地に派遣され、今日まで祈りと奉仕によって日本の宣教一筋の生活を送っている。

シスター・マルセルは茨城県の生まれ、七十六歳。初誓願後、東京・横浜の修院を経てシスター・フランソワーズと一緒に福岡に移り、学園創立や戦争中の苦勞を身をもって体験、また戦災にあった校舎の復興に尽力した。



シスター・カタリンも茨城県出身、身七十九歳。終戦の直前に横浜修院が戦災にあい、疎開のつもりで来福して以来ずっとここに留ま

り、寡黙と柔和な受付の応待の中で、主の証人として一年一日のうちに献身している。

(写真は誓願五十年をむかえたフランソワーズ、マルセル、カタリンの三人のシスター。左から)

教会と修院で 聖体礼拝

福岡市の老司教会(主任ディキ神父)は、同市中央区小笹の師イエスス修道院と結んで毎月第一日曜午前十一時から修道院で、また第三末曜午後七時半からは老司教会で、それぞれ一時間ずつ、聖体への信心を高める祈りと黙想を実行している。師イエススの修道女は毎日一定時間を聖体礼拝にさげているが、老司は第三末曜(こに)に修道女が出勤して信者と一緒に行拝の時を持つ。まただれでもこれに参加できる。

「人権と宣教」を テーマに全国会議 日本カトリック正義平和協議会 は十月九日から十一日までの三日間、名古屋で第二回全国会議を開催した。南山大学長ヒルシユマイヤ神父の基調講演、平和のミサがあったが、福岡県大の生熊来吉氏が宮崎県土宮久の銃撃問題について発表した。同会議には福岡からは生熊氏のほかに同協議会教区担当の水波明氏(九大教授)、黒崎教会の徳山神父が参加した。

- ### 中央理の黙想会
- 17日 東田島カトリック婦人の黙想会
 - 20日・23日 青年男子のための召命黙想会
 - 27日・28日 九州地区カトリック学校長研修会
 - ◎創立記念祭
1日・4日 大牟田明光学園(二十五周年)
 - 21日 本渡カトリック聖心幼稚園(十周年)
 - ◎納骨堂慰霊ミサ
7日 熊本立田山納骨堂前で11時から、雨天の場合は手取教会で
 - ◎大草殉教祭
14日 午前11時から本渡市殉教公園でミサ、午後6時、教会から同公園までろうそく行列

会合と催し

11月のスケジュール

- ◎平田司教
3日 福岡大神で少年召出しの集い、共同ミサ。サンモール修道院で誓願金祝。名古屋で国内移住委員会(4日迄)
- 7日 八王寺教会説教
- 9日・11日 司教協議会臨時会議
- 12日 九州地区司教協議会
- 16日 司教協議会
- 17日 サンセルピス大神学院学園祭
- 21日 崎津教会説教
- 25日 美野島教会でコロンバン外宣会のお祝い
- 28日 老司教会説教
- ◎黙想の家
2日・3日 一般信徒の黙想会
- 5日・6日 レジオ・マリエ北九州クリア黙想会
- 8日・11日 佐賀地区シノ外宣会司祭黙想会
- 13日・14日 ビンセンシオ福岡

器楽演奏に拍手

今村聖母園の老人たち福岡県社会福祉協議会主催の第二回老人ホーム交歓大会は、九月十四日福岡市中央区天神の福岡市民会館で開かれ、県内各地から老人約千人が参加、ホーム代表の踊りや劇を楽しんだ。こころは県内四地区の予選を通過した二十七老人ホームが出演。市民会館大ホールで晴れ舞台で、歌に踊りに器楽演奏に、日ごろの練習の成果を披露した。

この日の舞台でとくに人気を集めたのは、三井郡大刀洗町の老人ホーム「今村聖母園」の器楽演奏。園長の糸永一神父の指揮で十八人のお年よりが、木琴、オルガン、大鼓、タンバリンを使って、カル王行進曲、森のカサ屋を奏で大喝采を上げた。このメンバーはさきごろ久留米市民芸術祭にも参加し、一流音楽家と交って見事な演奏をきかせた。

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306
52-8622

1976 カトリック 情報ハンドブック

カトリック広報委員会発行

聖パウロ書院にあります。 600円

石のパイオニア 高木石材株式会社

営業種目 {外国産石材輸入加工販売
大理石・御影石・各種石材
〒860熊本市段山本町2-21 52-2417
工場熊本市花園町41 TEL 56-0170
(夜間) 64-6781

久大線についで由布院から、あるいは豊後中村で降りて飯田高原をわたして歩く。久住山に登る人の八割は、飯田高原から久住に登り、また飯田高原から出てくる。豊後竹田から久住町を通って久住高原に出る登山者は遠回りなので少ない。飯田高原を表すのは、南の久住高原は裏山といふことになる。

こんどかつて久住郵便局長であつて久住山の宣旨と紹介に生涯を賭けていた工藤平吉翁の招きで久住に入り、はじめて久住高原といふものを見た。まさに広漠とした草原が一めんにひろがり、前面に阿蘇連峰を見、背後に久住、大船の高峰を仰ぐすばらしい景観であつた。ただし、この原始の素朴な美しさがいつまで保たれるかわかつたものではない。日本の風土の近代化につれて道路の造成地が急がれて自然の美しさが容赦なく破壊されてゆく。大草原の中に点々と残る古い小国街道の松並木や人も通らぬ峠や林道、そういったところにこそ千年の歴史が息づいていて久住高原の生命が美しく光っているのだ。赤川温泉の近くの草原の台地では柏もみぢが赤く火のように燃えていた、その美しさに思わず息をつめた。

その夜は雨で久住町にたつた一軒しかない古風な安井旅館に泊つた。ここは三百年の歴史をもつ街道の宿場の跡で、宿の向えの広い家は、床屋敷の一角で、むかし会所つまり、今の銀行のようにな仕事をしたりといふ。そう

いへば、一直線のこの町のたたずまいには、どこか古い時代の色と匂いが漂っていた。むかし、久住町は内ノ牧、宮原、瀬ノ本を経て今市、野津原、鶴坂に至る参勤交代の道路上の要地で、ここに細川氏は馬四士頭を常備させ、藩主や藩士の旅行や宿泊に備えた記録されている。

さて、この古風なわまる旅館は、天井や柱も古色蒼然とした色合ひで、造作も古く二階への階段にしても胸をつくように急だ。部屋数がむやみと多く、うす暗い電燈が灯つて暗い。

ところが、この宿のわたしが眠つた部屋に、与謝野寛夫妻、川端康成氏も一泊しているのである。白秋先生と夫人、長男隆太郎君、長女の眞子さんたちは、昭和三年八月の九州訪問芸術飛行によつて九州入りをしたとき、八月一日久住町にきて、この宿に泊らず、久住種畜場の小野場長の官舎に泊り、山の料理や牛乳を喜び、とくに、トウモロコシに高原の味覚を心ゆくまで味わつて口をきわめて賞められたといふ。そのとき、先生が久住を展望された高台が、ふつつう雨降りと呼ぶ処だ。そこに先生の歌碑をという要望に応えてそのつもりで先生は次の一首だけを残している。

久住町にて

原田種夫

草深野にこけ仰げば國の秀や久住はたかし雲を生みつつ
雨降り峠の発想である。

与謝野寛 眞子さん夫婦は、昭和六年十月にきたときにこの安井旅館の同じ部屋に泊つていて、二回目の昭和七年八月二日には女学生あつた娘の眞子さんをつれ内牧に泊つた。

大なる師にちかづくに似たかな久住の山に引かざる心 寛久住山阿蘇のさかひをする谷の外は雲さへ無き極野かな 眞子この外さへ無き久住の歌が夫婦によつて残されている。

なとき、この旅館がありやなしやそういうことを思つたのである。いま、九重久住があつて皆とまじいを生きている。これは行政上の問題で、久住町は、くちゅう町、九重町は、このまじいと詠み、全縁をつじゅう山で統一することに決まつていて、しかし与謝野寛の歌の中の「久住の山に」といふのを、「九重の山に」と書き換えて土産品の中に入れているのは奇矯だ。九重山といふのは、高山の重なりという意味である。阿蘇山といふのも、阿蘇の連山を指したもので、九重と同じく、一つの山を指す固有名詞ではない。

朽網山々ある雲の薄れ往かは吾は恋ひむ君が目を欲り
万葉の昔にうたれた朽網山といふのも、特定の山を指さず、群山を指しているのではない。心ある方にはつきりするまで追求してもらいたいと思つてゐる。

図書紹介
パウロ六世教皇書簡
オクトジェジマ・アドヴェニエンス
いわゆる社会問題に関して教皇が発表した回廊のうち、もっとも古いのは一八九一年レオ十三世による「レールム・ヴェニエム」である。この回廊は、資本家と労働者それぞれの権利と義務が、当時のマルクス主義的理論によつてゆがめられた方向をたどりつた時期に、教会としてはじめて明確に打ち出した教説であつた。

この回廊についていくつかの社会問題が公けにされ、その集大成ともいえるものが、バチカン公會議の「現代世界憲章」である。
パウロ六世教皇が、教皇庁の正義と平和委員会のローア枢機卿あての書簡形式で公表された「オクトジェジマ・アドヴェニエンス」は現代世界憲章から五年半後に出てくる（一九七一年五月）。世界のけい動きを考へるならば、この五年は決して短かいものではない。その動きに応じて教皇は新しい局面に対する問題解決をこのように探していくべきの方針を、

「ザビエルカレンダー」をどうぞ
聖フランシスコ・ザビエルの生涯を五色刷で印刷した「ザビエルカレンダー」が、鹿児島教区から発売されている。ザビエル上陸記念碑建設資金にあてるもの。月めり式十二枚綴で六百円。小教区まで送付送料が割安になる。

夜の旅
侯野衛
暮靄は
ビルの間を水のようにながれ
人は互いに背を向けて
静かに薄明の向うへあゆみ去る
そして
夕暮と私のひそかな対話に
ドイツの古い詩人が語りかける
——魂は地上にあつては見らぬものだ
やがて巷に
憂愁の赤い灯がともる
人は荒廃と不安のなかに
腐魚のように沈んでゆき
再び
私のさすらいがはじまるのだ
愛する人たちに別れ
見知らぬ魂にみちびかれてゆく夜の旅
暗い空のどこかで
ああ
死者の聲が私を呼んでいる

建築設計監理
教会・修道院・学校・幼稚園・他
菅建築設計事務所
所長 菅 種雄
福岡市中央区警固3-11-14
TEL 092・741・8852

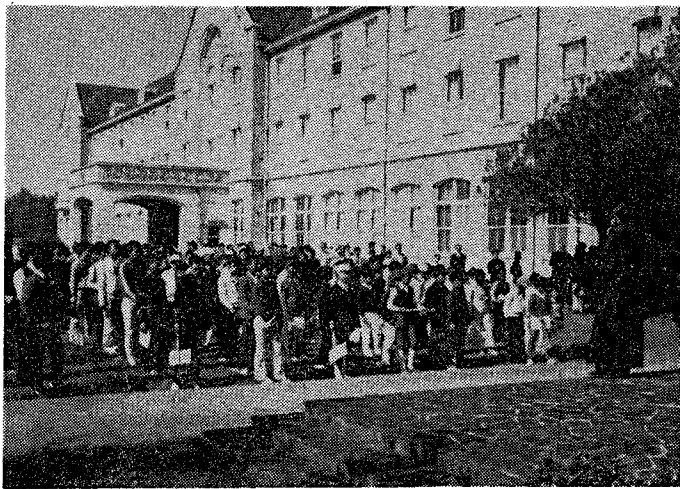
吉川病院
院長 吉川 東陽
福岡市中央区平尾四角 TEL 521-0568

カトリック

平田司教認可
發行所
福岡市中央区浄水通
福岡司教館
發行兼 深堀 敏
編集人
電話092-522-5139
振替口座 福岡42981
定価 一部 20円

共同訳聖書作
成資金募集

一、募金額 五百万円
二、方法 一口五百円
一、送り先 本誌編集部
寄付者・二万円(匿名)



ぼくも司祭になれるかな……

少年に司祭職へのあこがれ
大神学院「召命の集い」に四百人

少年たちには司祭職へのあこがれを育てようと毎年催されている「召命の集い」行事は、こししも11月3日福岡大神学院で行われた。福岡教区内の各地、長崎教区の大浦、浦上、平戸など多くの小教区から四百人を越す子どもと父兄、三十人近い司祭が参加して昨年をしのぐ盛会となった。午前中は「召命の道」と題する大神学生製作のスライドによる神学生生活の紹介、平田司教牧式による共同ミサがあり、その中で諸國清美助祭が「侍者をつとめることは神さまに奉仕することであり、司祭職を自さすわたしたちと同じ使命を果たすことになる」と説教して、みなを激励した。

午後の部では、小学生は広い運動場で風船割りや遊戯などに興味が、中・高校生は話し合い、また父兄には「家庭でどのように召出

しを育てるか」について山田成章
神父（浄水通主任）の講話があつ
た。最後に参加者全員で綱引きを
して互いに交流をふかめ、神学生
作曲のテーマソング「わたしを司
祭にしてください」を歌って散会

教皇大使来福

10月30日、大阪から長崎に向つて塗中福岡に立ちよられた駐日教皇庁大使イポリト・ロトリ大司教は、31日朝、こゝし来日二十五周年をむかへた福岡市大橋の聖心のウルスラ修道院でミサのあと、大寺院、聖パウロ、師イエズスなどの修道院を訪問され、1日諸聖人の祝日には、創立二十五周年の大牟田明光学園の記念式典で祝辞をのべ、佐賀教会で一泊のち2日長崎に山出された。

本渡市で天草
殉教祭

三百三十九年前の天草の乱で散った人々の霊を慰める本渡市の天草殉教祭（本渡市銅光協会主催）が11月14日行われた。

神式、仏式それぞれの慰霊祭につづき午後零時半からは殉教公園千人塚碑の前で、司祭五人の共同荘厳・サがあり、折からの寒風のなかで昔の殉教者の苦難をしのぐ

した。

参加者の内訳は小学生三百十八人、中学生七十一人、高校生十一人、父兄七十六人、小神学生四十余人で、このうち毎年いくたりかの少年が司祭希望を名乗りでている。父兄の中には自分の子どもが司祭職に召されるよう祈る気持で参加している人もあり、神学校に対する物珍らしさの域を脱して召命を真剣に考え、祈る集いになっているのがつかがわれた。

文部大臣表彰

小倉カトリック幼稚園の松尾静香さんは、11月16日東京虎の門ホールでおこなわれた幼稚園教育百周年記念式典で、教育功労者（勤続三十年以上）として文部大臣の表彰をつけた。

ベトナム難民援助

福岡地区信徒協会は、長崎県小長井町の聖母の騎士修道女会本部に収容されているベトナム難民にたいし、援助金をおくることを決り、別途高宮教会信徒が集めた衣料を携えて、9月24日代表が見舞に出むいた。さらに同教会で集めた冬物衣料など2トントラック一台分、援助金二十二万円を10月29日伊藤神父、坂田会長、田中会計で運び慰問した。

ことしも街頭募金

福岡、北九州、熊本の三地区では例年とおり12月に歳末扶け合いの街頭募金運動をおこなう。

福岡地区（福岡市とその周辺の市町、久留米、大牟田など十九教区）では、12月6日から26日まで会費二百万円で、この地区の村

本渡教会25周年
幼稚園10周年

熊本県本渡市大浜町のカトリック教会は、ことし創立二十五周年にあたり、11月23日9時半から感謝ミサと祝賀会をおこなった。

会福祉施設に配分する。

北九州地区（おもに北九州市）は12月末日まで。目標額九十万円。半分はカリタス・ジャパンに残りは市内の施設に。

熊本地区（熊本市）は12月4、5日、11、12日の四日間、半分はNKK扶け合い運動へ、残りはカリタス・ジャパンに。

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品

(有)シオタ事務機・(株)日本幼育社

福岡市南区大楠 2 丁目 23-15 (西田ビル 2F)
TEL 521-5327 TEL 522-0988

土地と住いのコンサルタント

(有) 若 葉 不 動 産

福岡県筑紫野市本町西鉄二日市駅前
代表者 アツシジ・フランシスコ
松本 友則 09292④5833夜②7476

現場カテキスタは訴える

本誌先月号では、子どもの要理教育、教養校の問題と悩みを、いくつかの小教区の状況からまとめてみた。今月は現場で働くカテキスタの声をじかにお伝えしたい。

子どもをどう受けとめるか

小沢 麗子

まだ洗礼を受けることを決定できないでいるときに、教会学校のリテラになるかと言われて私はびっくりしました。心が定まらず自信もなっていた私だったので、子ども達何れ何れを伝えられるのか、見当もつかず感じただけでした。ある日その感じを教会学校の子とも達にぶつけてみました。「悩みがあってもいいじゃないですか。」「子ども達にいいのかもしれない。」「子ども達

子どもに聞くことが先決

松室 淑子

11月のお母さんの集りの時に出た話です。1年生の恵ちゃんに教会の集りから帰ってきたので、かきすおばあちゃん「何の勉強をしたの」と聞くと、面倒くさそうに「リテラ、リテラ」と答えた。ただ、「まあ、この子は何を学んできたやら、困ったものだ」

の反応は、私にはとても新鮮で、落した種のように鳥に食べられてしまつてしまつた。しかし「心に思いめぐらす」姿勢があれば、聖霊のお働きを確実に受けとめ、その実りを他の人と共に希望し、喜びを分かち合うことができるのである。子どもに対する親、先生、大人の態度は、キリストのみことばに細心の注意を払って耳を傾ける者のようにあらねばならないと思えます。なぜならキリストは、子どもと天の国のものだとおっしゃったではありませんか。

子ども達の集りの中で教えられることは多く、おかげで主と交わる時間、もたんだん重なるようになってきた。もちろんめざましい霊的進歩があるわけでありませんが、子ども達が真剣にぶつかつてくるとき、それをしっかり受けとめ、その状態になりたいと願っています。そしてそのための難しさもしみじみ味わっている今日この頃です。日曜日の集りで、子ども達も自分なりに新しく主を発見されればとか、何か残るものをつかんでくれればとか思い、私としてはう手助けができるのかと考えているのですが、日曜の忙しさに加えて、努力が十分でないのを反省しています。(光ヶ丘教会)

神を体験させたいが……

天神町一教師

天神町教会では、小学1年生から中学3年生まで併せて三十四人の生徒です。その中で毎週の土曜日要理クラスに平均して出席する子どもは二十八人程度で、出席率はわるくないと思えます。生徒数が少ないので、学年別クラスは編成は不可能で、小学校低学年、高学年、中学生の三クラスに分けています。初聖体準備の低学年クラスのカリキュラムは、2年生を対象に組んでいます。従って初聖体をまされた子どもにとっては重複は免がれないし、新1年生には理解のむづかしい部分もあるし、デコボコが生じるといつ欠

私たちは神の国を建てるのに子どもに聞かれないのです。来年のシンドス(世界代表司教会議)を前に最近アジアプロテスタントに使用された日本のレポートに、子ども達の声が聞かれています。子ども達の現場のカテキスタであれば、子どもに教えることより、かれらから教わることを心がけ、どんなに多くあるかに驚嘆させられている……。将来の教会の展望は、子ども達に聞くことから、親、カテキスタ、司祭、全人、全教会、そして、今こそ一回心を必要がありま。

(小倉教会)

指導者がいなくなる

牧野百合子

点があります。犠牲になっている子どもがかわいそうです。1年生の子ともについては、補足として親に手伝ってもらっています。初聖体の準備のためには、父母の会を開いて両親との話し合いを持ち、教会から出す「初聖体のしおり」のプリントを参考に、家庭でも子どもと一緒に準備をしてあげよう、と、両親に呼びかけています。

小学高学年のクラスの子ともには、教義だけを教えるよりも、いかにして神に出会わせるかが課題で、かれらの生活体験を具体的に発表させ、福音との結びつきを分けていける、子ども達の心理や気持ちを汲みとりながら、その日その日の生活体験を上手に引き出すこと、みことばとの結びつき

をさせることは、本心にむづかしと感じます。合併クラスには欠点もありますが、反対にいい面は、子ども達がお互いによく知り合い、何事もまどまりが早く、仲よく遊び、よいふんいきをつくってくれます。教師の側からも、一人ひとりとのふれ合いができ、かくれた面も発見して、喜びを感じます。

また親との接触も、家庭訪問を通してその家庭の状況が分り、少しでも深く子どもを知ることができ、話し合いができます。これからは親と協力して子どもの信仰を育てていきたいと願っています。

ボーイスカウトを採用

桑野 武芳

昭和45年ころ、主任司祭「小学生はよく教会にくるが、中学生になると減る。どうしたらいいかな」。担任司祭「近頃の子どもは遊びを知らないね、野原にいてもボーケツとしている。なんとかならんかな」。毎日嘆息ばかり、どう解決したらいいかと頭をひねつたあけく、ボーイスカウトを取入れることに決定。早速青年有志が指導者講習会へ、そして47年秋に発団式。翌年カテキスタの翌年カテキスタカテキスタ。発団から三年間は、年々入団して来る子ども達をどのように要理教育のクラスとミサ参加に向けさせるかに、指導者は努力の限りをつくした。隊員はこの二つが義務になっているから、竹棒を持ってミサに与ったこともある。編成は九クラスで百二十人。ちょっとした学校なみである。

布教の効果の面からいえば、確かに自費に値するものがあるが、苦勞も少なくない。教師が用件でクラスを担当できない日は、合同クラスで切りぬける手はあるが、教師の補充と養成は気が抜けない。いつも新しい人の準備を考えていなければならない。そのため教師の研修会も開いて精一杯努力はしている。(高宮教会)

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 52-3306
52-86221976 カトリック
情報ハンドブック

カトリック広報委員会発行

聖パウロ書院にあります。600円

石のパイオニア
高木石材株式会社営業種目 {外国産石材輸入加工販売
大理石・御影石・各種石材

〒860熊本市段山本町2-21TEL52-2417

工場熊本市花園町41 TEL56-0170

(夜間) 64-6781

天皇・皇后両陛下

佐賀ロザリオの園を訪問

佐賀園に臨席のため同市においでになった天皇・皇后両陛下は、10月23日午前10時34分、佐賀郡大和町の特別養護老人ホーム「ロザリオの園」(祖母の騎士聖フランシスコ会運営)を訪問になった。

正面玄関の聖母像の前にお立ちになった両陛下は、秋晴れの青嶺山系に目をむけられたと、岩崎園長の案内で施設をのぞきになったが、リハビリテーション室では三十人の老人がこの日のために一生懸命に練習した「聖母讃歌」と天然の美の二曲を音楽で合奏。他に寝たきりの老人のいる九部屋を二分すお廻りになって「みなさん、いっまでもお元気で」と

『日本26聖人』を巡回上映

佐賀地区信徒協では映画『日本二十六聖人』を10月26日から県下八ヶ所の教会で上映した。この映画はまた無声映画時代の昭和6年、長崎出身の信徒平山政十氏(故人)が私財三十万円を投じて製作したもので、当時の生活の有名なスターがずらり顔をそろえた傑作。今回の巡回上映は佐賀県内

熊本ボーイスカウト発団式

熊本市手取教会(主任クリフ・ン神父)で11月28日午後1時からボーイスカウト発団式がおこなわれた。

発団式をしたのは日本ボーイスカウト熊本第三団で、ボーイは小学生5・6年生12人とカブ(2・3年生)19人で、隊長は大久保敏朗さん、副隊長はカブの副隊長として他は緒方孝子、橋本久子さん二人がつく。団長は岩元昭治さん、育成会長はオッカロル神父。毎日曜日ミサ後の10時半から訓育があるが、未信者のボ

イのミサ参加は自由。ボーイスカウトの設置については、この5月から野田義さんらが中心になって推進し、信徒使徒活動の一環として教会周囲の社会とつながるパイプとなるようめざしている。同教会には十数年前にもボーイスカウト四十人がいて、とくに昭和28年の大水害のときは率先して奉仕活動を行ない、市民から深く感謝された。その後中止のままだが、たが今回の再出発で、これから活動が大いに期待されている。

佐賀教会に真正キリシタン灯ろう贈る

全国に数個しかないといわれる真正キリシタン灯ろう一基が、このほど佐賀市のカトリック教会に寄贈された。贈った人は広島県大竹市の会社社長藤沢慶成さんで自宅にあったもの。高さ一・四メートル。上から宝珠、かき、灯袋、中台、さおと揃い、島原産の砂岩で出来ている。灯袋にはキリストが万物をつつた象徴として、月、太陽、星を形どった彫りがあり、脚部にあたるときの下方には、前後に縦二十五センチ、横十センチの「十字」がくっきり彫りこんである。島原市内の旧家から買いとって、前島取民俗美術館長松田雄雄さんが「四百年前、キリスト布教を認めた織田信長時代の天文年間(一五三二―一五五四年)につくられた真正キリシタン灯ろうだ」と折り紙をつけた貴重な資料。

藤沢さんの父親政司さんが「しかるべきところに安置させたい」と

言して死去したため、藤沢さんは父がかけて相談していた同業の先輩、梶原景光さん(佐賀板根相談役)に労を頼み、梶原さんが所属する佐賀教会の信徒に譲りあげることになった。

納骨堂ミサ

福岡市南区和田のカトリック納骨堂では10月31日、熊本市電出山の納骨堂は11月7日、合同慰霊ミサがあった。

会合と催し

12月のスケジュール
◎平田司教 7日 司教月例集會



地の塩

福岡老司教会 吉川ますさん

とにかく少しのかけりもない、明るく人である。七十歳という年齢を感じさせない若々しさ。吉川ますさん、生まれは夫の橋立に近い京都府宮津市。そのカトリック系学校に通った「カトリックが大好き」でプロテスタントになった。二人の子をもかかえ主人が大病でどの医者からも見放された。「もしイエスが人間のためにこの世にいられたらというのが本心なら、主人を死なせないでください」と、生まれはじめて必死に祈った。その病の奇跡的な治癒、地元赤野伊之助さんという信者の熱心な導きですべてを失い、東京から宮津に

- 8日 福岡小神学校のお祝い
老司教会保護者祝日ミサ
- 24日 大名町教会でミサ(午後9時)
- ◎黙想の家
4日・5日 レジオ・マリエ福岡セナートス黙想会
- 11日・12日 一般信徒のための黙想会、テーマ「生活の中の愛」ウオード、内山阿神父指導
- 14日カトリック宣教師の集い。
- 13日・15日 プロテスタント宣教師の集い。
- 17日・18日 西南学院大生集い。
- 22日・25日 福岡大学生英語ゼミナール。
- 26日・27日 福岡雙葉学園高校生黙想会
- ◎市民クリスマス
20日 熊本市鶴屋パークト午後6時半開演、熊本市キリスト教連合主催、田中澄江さん講演
- ◎記念音楽会
11日 大牟田明光学園創立二十五周年記念、九響巡回演奏会、大牟田市民会館、午後六時
- ◎大名町司教座聖堂
クリスマス夜のミサは6時と9時(司教司式)、25日朝ミサは9時、元日ミサは9時(司教司式)おねがい12月19日から25日までクリスマス用の事以外で教会に電話をなさる方は、781-1375番におねがいします。

信託併営
大和銀行
福岡支店
福岡市博多区店屋町6番18号
電話 代表 092 (291) 3231番

片山無線
Francisco Katayama
TEL 781-2729

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長 松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1-4-23
TEL 771-3657

外国の汽車ははじめてのことで、やや興奮氣味だったので、喫煙爐勢に入つたところ、子供づれの若い夫人に禁煙のサインを指示され赤面をした。親切な夫人に感謝の意を表したところ、子供とあつた近づきになり、途中の駅で下車するさいに、なんども振り返りながら手をふつて別れてくれたので救われた。

やがて汽車はジャフハゼンの駅に着いたが、それからさらにバ

高地ラインに古い町を訪ねて

る。古城をとり囲んでいる古い空堀に、豚ノミと動物を飼っているのを奇異に思った。去り難い心をおさえ、次の予定地であるシユタイン・アム・ラインへ向つた。

二二では、ライン河がボーデン湖からワントー湖を経て再び西方に向つて流れ出し、スイスとドイツとの国境附近を離れてスイス国内をゆるやかに流れる。水鳥も遊び、「ラインの石」という街の名前からいへば、なんとなく魅力的で

蔵 賢 山 福

体が薄になっているので、水量はものすごく豊富であり、左岸の岩壁上の古城より下りた、水際に設けられた見晴らし台附近で、渾そのものから感ずる迫力はすばらしく、水煙の中天にかかる様はまことに壮観である。

森の中の古城には土産店もあり、昼なお暗く灯をともしたレストラン

こゝはラインの河流が、シヤフハウゼンの町の西寄りのはずれにあつたので、滝になつてゐるところであつた。滝は河床は露出して三疊紀——白亜紀（？）の岩盤に懸つてゐると思ふ。河幅全部が滝になっているのであつて、私達のいふゆる滝といふイメージとはまったく違つた感じが、あり、激流といつてもよいかもしれぬ。落差は僅か十五——二十米位に過ぎな

聊齋志異漫談

侯
野
衛

中国の古い書物に『聊齋志異』れうさいしぎという小説がある。『志異』といふのは日本語の『怪談』にあたる。『聊齋志異』は、聊齋が誌した怪談といふほどの意味である。著者の聊齋は姓を蒲、諱を松齡しょうりやうといひ、山東淄川の人である。明朝の崇禎十三年に生まれ、清朝の康熙五十四年、七十六歳で歿し、『志異』のほかに『聊齋文集』、『聊齋詩集』などの著書がある。『志異』がいつの書かはじめでないが、諸家の説を綜合すると十歳台に書きはじめ、死ぬまで書きつづけたとするのが妥当のように思われる。

『志異』は全十六卷、四百四十篇の小説を収め、内容は人間の

ほかに神女、仙人、狐などの登場する怪異譚である。全体に濃艶な情話が多いが、神女、仙人、狐など、この世ならぬものの登場によつて、もの語りは神韻漂渺とした雰囲気や漂よせ、濃艶はいつそゝ濃艶を加えている。

『志異』は、わが国でも戦争前に、柴田天馬という人の訳によつて出版されたことがある。この訳はやや通俗的で、当時はエロチックを説物として評判になり、いまもそう思っている人がいるが、当時の燐情な説物に比べると、ほとんど問題にならぬ程度のものである。

この『志異』は私が座右に置いて愛読する、数少し本のひとつで、私がこれを愛読する所以は、そのエ

繪圖的なムードにあふれている町である。小さな駅は人影も少なく淋しいが、美しい。駅を出て丘陵上の古城を左手に見ながら、舗装工事中の道路を十分位歩けば、ライン河にかかる橋上に出る。大人がけつりあひた一匹の川魚をぶらさげて連る。橋を渡りきると、そこがシュタイン・アム・ラインのオールドタウンである。

一歩町へ入れば、小さな広場のまわりの建物は、その壁面すべてを画で飾り、かわいらしい出窓の飾りや、花で飾られた噴泉等すべてに世の雰囲気の色濃く残したて

『聊斎志異』

圖書紹介

キリスト教入信
式のしおり

（典禮司教委員會監修）

今年始めの『幼児洗礼式』がついて3月には『成人のキリスト教入信式』が公刊された。両者ともローマから出たラテン語規範をもとにして、日本の典範司教會議が中心になり多くの専門家の意見を集めて、日本への順応版として出来上ったもの。こんど出版された『しおり』はこの『入信式』を信徒用に編集している。

成人の洗礼式は入信式といふ多称になり、キリストと結ばれて神

式、洗礼、聖體などの新しい用語
が使用されるので、求道者はもちろ
ろ年代父母やその他の信者も、綿
密に研究する必要がある。とくに
復活祭をめざして入信式を準備し
ている志願者がいる教会では、全
信者がこのしおりを手にするのが
望ましい。

(あかし書房、二百二十円)

お知らせ 福岡市老司教会には
12月中に電話がつく予定です。
(092・566・2323)

の民に加えられるための三つの秘跡、洗礼・堅信・聖体を含む。従つてこれまでの幼児洗礼式ともまったく違つし、また成人洗礼式とも全面的に違つた形式のものとな

ロチンズムではなく、そこに登場する人物の中に、人間の姿がみこ
とに捉えられている点にある。

楊万国という秀才と、悍婦の妻
尹氏のことを書いた『馬介甫』に
は、万国の父を虐待して追いだし、
弟が井戸に飛び込んで自殺するとい
う事態まで招いた尹氏を、抑さ
さうけることも、離別すること
できず、むしろ恋々としている万
国の姿に、人間の弱さや愚かさが
生き生きと描きだされている。

柴田大馬氏は『志異の序言』に
『上は王侯から下はこじきにお
よぶまで、社会各階級の人物を網
羅して、老若、男女、貧富、賢愚、善
悪、美醜等が、残るところなく全
ちまう』と描写のめざておられます。

と書いて、わがこ

と誌しているが、それ以上に、
まゝ現代という小説といふもの、
小説の考え方のなかつた時代に
現代の小説と同じに人間を描き、
現代の小説と同じに人間を描き、
しかも現代の小説以上に、人間を
握り下けている著者の眼力と手腕
の下には驚き以上のものを感じる
のである。

『志異』については、碩学主瀧
洋に次のような詩がある。

しばしば^{しばしば}哀^{かな}りに之を言ひ哀^{かな}りに
之を聴く。

豆棚瓜架雨余の如し、
料るにまことに人間の語を作すを
厭^{いと}いて、秋墳鬼唱の詩を愛聴す

建築設計監理

教會・修道院・學校・幼稚園・他

營建築設計事務所

所 長 菅 種 雄

福岡市中央区警固 3-11-14

TEL 092 • 741 • 8852

吉川病院

院 長 吉 川 東 陽

福岡市中央区平尾四角

TEL 521—0568